

【2022年度～2025年度】 4年間の主な事業

－市長公約に関連する事業工程表－

2026年1月
戸田市

市長公約 取組事業一覧

		担当部局	関連部局
01 命と健康を守りコロナ克服へ			
コロナ克服			
1	迅速かつ安全な新型コロナワクチン接種の推進	健康福祉部	
2	市民医療センターにおける検査・処方・後遺症ケアの推進	市民医療センター	
3	臨機応変な対応による感染拡大防止と社会経済活動の支援	健康福祉部	環境経済部
安心の保健医療			
4	こども医療費・ひとり親家庭等医療費の現物給付を県内他市へ拡大	こども健やか部	
5-1	認知症対策・がん対策を推進する条例の制定と施策の推進	健康福祉部	
5-2	認知症対策・がん対策を推進する条例の制定と施策の推進	健康福祉部	
6	糖尿病・慢性腎臓病予防やCOPD等の生活習慣病対策の推進	健康福祉部	
健康増進			
7	健康な生活に向けた「スマートウェルネス推進プラン」の策定	健康福祉部	都市整備部
8	健康を支える食育の推進と若者や子どものヘルスケアの充実	健康福祉部	教育委員会事務局
9	引きこもり支援や自殺予防等の心の健康・孤立対策の推進	健康福祉部	こども健やか部、教育委員会事務局
02 共に支え合う優しいまち			
一生涯の安心			
10	人生100年を豊かにする「シニア社会参加推進プラン」の策定	健康福祉部	市民生活部、環境経済部、教育委員会事務局
11	2040年問題を見据えた地域包括ケアシステムの充実	健康福祉部	
12	介護ロボットやAI等の導入による介護テックの推進	健康福祉部	
共生のまち			
13	差別をなくし認め合う共生社会を推進する条例の制定と施策の推進	健康福祉部	
14	児童発達支援センターの充実による発達障がい支援の推進	健康福祉部	こども健やか部
15	企業や学校との連携による障がい者の雇用機会の創出	健康福祉部	環境経済部、教育委員会事務局
多様性の尊重			
16	障がい者アート展の実施やパラスポーツに触れる機会の創出	健康福祉部	市民生活部
17	性的マイノリティの方を対象とする「パートナーシップ宣誓制度」の策定	市民生活部	
18	外国人市民との新たな交流の場創出による多文化共生の推進	市民生活部	

市長公約 取組事業一覧

		担当部局	関連部局
03災害に強く安全なまち			
治水の徹底			
19	北大通りへの雨水貯留施設整備や下水道敷設・更新による浸水対策	水安全部	
20	国県と連携した笠目川の水門整備やポートコースを活用した治水の推進	水安全部	
21	3D都市モデルの整備による街の立体地図化と浸水対策の推進	都市整備部	水安全部、危機管理防災課
いのち最優先			
22-1	消防東部分署の建替えと危機管理防災センター設置の検討	消防	企画財政部
22-2	消防東部分署の建替えと危機管理防災センター設置の検討	危機管理防災課	企画財政部、総務部
23	実践的な防災訓練の実施と中学生防災士の育成	危機管理防災課	教育委員会事務局
24	福祉避難所の増設とペット同行避難支援の推進	危機管理防災課	健康福祉部、環境経済部
市民を守る			
25	見守り防犯カメラやボランティアによる子ども見守り体制の構築	市民生活部、教育委員会事務局	
26	特殊詐欺対策やインターネット人権侵害対策の推進	市民生活部	
27	ゾーン30増設や通学路整備などの交通安全対策の推進	都市整備部	教育委員会事務局
04子育て支援の充実			
子育ての安心			
28	全妊婦への面談・産後ケアの実施と不妊治療助成の拡大	こども健やか部	
29	第3子以降の学校給食費の完全無償化(所得制限なし)の実施	教育委員会事務局	
30	「待機児童ゼロ」継続に向けた保育園と学童保育のさらなる充実	こども健やか部	
子ども全力応援			
31	地域で子育て支援を推進する条例の制定と施策の推進	こども健やか部	市民生活部、健康福祉部、教育委員会事務局
32	子ども食堂等の居場所づくり支援を全小学校区で推進	こども健やか部	市民生活部、健康福祉部、教育委員会事務局
33	ヤングケアラーの支援を推進する条例の制定と施策の推進	健康福祉部	こども健やか部、教育委員会事務局
子どもを守る			
34	ひとり親家庭が養育費を確実に受け取れる保証料補助制度の創設	こども健やか部	
35-1	医療的ケアが必要な子どもに対応できる保育・教育環境の整備	こども健やか部	
35-2	医療的ケアが必要な子どもに対応できる保育・教育環境の整備	教育委員会事務局	
36-1	総合的な児童虐待対策の推進と配偶者暴力相談支援センターの設置	こども健やか部	
36-2	総合的な児童虐待対策の推進と配偶者暴力相談支援センターの設置	市民生活部	

市長公約 取組事業一覧

		担当部局	関連部局
05誰一人取り残さない教育			
教育日本一			
37	児童生徒の発達段階を踏まえた個別最適で協働的学びの推進	教育委員会事務局	
38	自然体験活動等の充実と豊かな人間性や生きる力を育む教育の推進	教育委員会事務局	
39	STEAM教育やPBL・教育データの利活用等による教育改革	教育委員会事務局	企画財政部、こども健やか部
学校の安心			
40	教育ニーズに対応した学校増改築の着実な実施	教育委員会事務局	企画財政部
41	不登校の児童生徒が安心して通える校内サポートルームの設置	教育委員会事務局	こども健やか部
42	多様な学習機会確保のため全学校への特別支援学級の設置	教育委員会事務局	
豊かな社会教育			
43	郷土博物館のリニューアルとアートミュージアム設置の検討	教育委員会事務局、市民生活部	
44	産官学民連携による市民大学のDX化やリカレント教育の推進	教育委員会事務局	
45	図書館の居場所機能の充実やデジタル化の推進	教育委員会事務局	
06地域の誇りを高める			
感動の創出			
46	文化芸術・スポーツを推進する条例の制定と施策の推進	市民生活部	
47	スポーツ振興に資する戸田市スポーツセンター建て替えの検討	市民生活部	企画財政部
48	戸田市文化会館を活用した市民が誇れる音楽イベントの実施	市民生活部	
地域資源の発掘			
49	地域活性化に向けた「ボートのまちづくりコンソーシアム」の設置	市民生活部	
50	著名人やアーティスト・スポーツチーム等との連携による魅力発信	市長公室	市民生活部
51	ふるさと納税を活用した地域の商品やサービスの魅力発信	環境経済部	市長公室
対話する市政			
52	公民館や町会会館へのWi-Fi環境整備による多世代交流の推進	市民生活部	教育委員会事務局、健康福祉部
53	子ども一日市長体験や市長ダイアログ(対話)の実施	市長公室	
54	地域担当職員制度の全市展開による地域活性化の推進	市民生活部	

市長公約 取組事業一覧

		担当部局	関連部局
07環境と経済の好循環			
持続可能な未来			
55	SDGs推進企業を認証する「とだSDGsパートナー制度」の創設	環境経済部	
56	循環型社会に向けたプラごみや食品ロスの削減と3Rの推進	環境経済部	
57	2050年CO2実質排出ゼロに向けた「ゼロカーボンシティ宣言」表明	環境経済部	
経済の好循環			
58	事業者のデジタル化支援や人材確保等ニーズに応じた施策の推進	環境経済部	
59	商工会との連携によるプレミアム商品券の発行の検討	環境経済部	
60	公共事業の発注・施工時期の平準化による地元企業の受注機会確保	総務部	
緑と自然を守る			
61	人と動物の共生を推進する条例の制定と動物愛護施策の推進	環境経済部	
62	「市の鳥」制定や新たな里地保全の推進による生物多様性確保の推進	環境経済部	
63	「サクラソウプロジェクト」等の花と緑を守り育てる施策の推進	環境経済部	
08豊かな住環境づくり			
快適な街並み			
64	「戸田市バイシクルシティ推進プラン」の策定と自転車まちづくりの推進	都市整備部	環境経済部
65	バリアフリー基本構想による市内3駅周辺のバリアフリー化の推進	都市整備部	
66	新曾土地区画整理事業の効率的な推進と北戸田駅西口駅前の整備	都市整備部	企画財政部
公園の魅力向上			
67	彩湖・道満グリーンパークの大規模リニューアルによるにぎわい創出	環境経済部	
68	子どもが歩いて行ける場所にボール遊びができる拠点の設置	環境経済部	こども健やか部、教育委員会事務局、市民生活部
69	市民ニーズを踏まえた公園リニューアル計画の推進	環境経済部	
水辺の再生			
70	上戸田川・さくら川や水路の着実な整備と水辺再生の推進	水安全部	
71	彩湖自然学習センターを拠点とした新たな水辺環境エコツアーコースの創設	教育委員会事務局	環境経済部
72	荒川や市内河川空間のオープン化による水辺のにぎわい創出	環境経済部	水安全部

市長公約 取組事業一覧

		担当部局	関連部局
09未来志向の行政			
デジタル市役所			
73	原則すべての行政手続きをスマートフォンで完結させるデジタル化	企画財政部	
74	原則すべての使用料や手数料の支払いをキャッシュレス化	企画財政部	
75	AI・RPA導入等の徹底的なDXによる改革とデータ駆動行政の推進	企画財政部	全ての部局
公民連携			
76	公民連携によるまちづくり実践フィールド「(仮)とだラボ」の設置	企画財政部	
77	新たな社会課題解決手法のコレクティブ・インパクトやSIB導入の検討	企画財政部	
78	「戸田市SDGs共創基金」の活用による市民活動・NPO活動の活性化	市民生活部	
行政改革			
79	一人一改善運動や業務棚卸しによる不断の市役所改革の推進	企画財政部	
80	公共施設等総合管理計画と公共施設再編プランの見直し	企画財政部	
81	市出資法人の統合・連携・活用に関する方針の策定	企画財政部	

01命と健康を守りコロナ克服へ

No.	事業名		担当部局		関連部局		
I	迅速かつ安全な新型コロナワクチン接種の推進			健康福祉部			
評価指標	実施項目			2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
希望する市民が安全にワクチン接種できる環境整備	個別接種（医療機関）・集団接種を連動させた接種体制の確保			➡			
	市民が安全・安心にワクチン接種を受けられる環境の整備			➡			
達成予定年度	達成状況						
2022年度	達成						
2022年度 進捗状況				2023年度 進捗状況			
<p>・医師会・医療機関と連携し、最大約50医療機関の個別接種体制を確保し、迅速な接種を推進するとともに、7月・8月には接種率が低い若者を主な対象とした接種促進キャンペーン（「週末の特別予約枠」の設定等）を実施した。</p> <p>・対象者数が増大するオミクロン株対応ワクチン接種の開始に合わせ、11月・12月には集団接種（福祉保健センター・スポーツセンター）を実施し、後半は「予約なし」でも接種を受けられるようにした。</p> <p>・対象者の年齢や接種回数によって使用可能ワクチンが異なるなど、ワクチン接種が日々複雑になってきていることから、市独自に「年齢区分別使用可能なワクチン一覧」、「接種予約における電話予約受付フロー」、「高齢者施設等の接種チェックシート」を作成し関係機関に送付するなど、間違い接種防止に努め、安全・安心な接種環境を整備できた。</p>				<p>・国から個別接種中心の接種体制構築が求められていたことから、医師会と調整の上、「令和5年春開始接種」、「令和5年秋開始接種」、「初回接種」において、それぞれ年齢区分毎に個別医療機関のみで対応可能な接種体制を確保した。</p> <p>・間違い接種防止の観点から、令和5年度の接種プログラムに沿った「年齢区分別対象者確認フロー」を市独自で作成し接種医療機関に配布したほか、医療機関とのワクチン配達に使用する様式を見直し、各医療機関の在庫ワクチン管理を徹底することで、安心・安全な接種環境を整備した。</p> <p>※新型コロナワクチンの特例臨時接種は2023年度末で終了し、2024年度からは高齢者インフルエンザ同様の制度（B類疾病の定期接種）へと移行</p>			
2024年度 進捗状況				2025年度 事業内容（案）			

01命と健康を守りコロナ克服へ

No.	事業名		担当部局		関連部局						
2	市民医療センターにおける検査・処方・後遺症ケアの推進		市民医療センター								
評価指標	実施項目			2022年度	2023年度	2024年度	2025年度				
コロナアフターケア外来の開設	迅速PCR検査及び抗原検査の実施からモルヌピラビル等の処方			→							
	投薬、リハビリや生活改善指導など後遺症患者へ適切な対処療法を実施			→							
達成予定年度	達成状況										
2022年度	達成										
2022年度 進捗状況				2023年度 進捗状況							
<p>・迅速PCR検査及び抗原検査については、発熱外来において医師の指示のもと実施しており、必要に応じてモルヌピラビル等の投薬治療を行っている。</p> <p>・コロナ・アフターケア外来を開設し投薬等の治療を行っており、令和5年3月末現在で112件程度の患者が受診している。その中でコロナ由来のフレイルの対応についても、リハビリ機能を拡充する等、後遺症で悩む市民のニーズに応えている。</p>				<p>・令和5年5月に5類へ移行したが、引き続き感染対策を講じ、多くの方が受診できるように発熱外来を行った。また、PCR検査及び抗原検査の実施及びモルヌピラビル等の処方も継続的に行なった。</p> <p>・令和5年度はコロナ・アフターケア外来では59件程度の患者が継続し、投薬、リハビリや生活改善指導など後遺症患者への適切な対処療法を行うことができた。</p>							
2024年度 事業内容				2025年度 進捗状況(案)							
<p>・発熱外来については、発熱患者待機場所を確保し感染予防に努めつつ、時間を限定せず、通常外来診療内で診療を実施した。また、PCR検査及び抗原検査の実施及び抗ウイルス剤の処方を継続して行った。</p> <p>・コロナ・アフターケア外来は延べ30名程度の患者に対し、コロナ罹患以前の生活が送れるように、投薬、リハビリ、生活改善指導など対処療法を行った。</p> <p>・247名に予防接種を実施した。</p>				<p>・コロナ・アフターケア外来は継続し、投薬、リハビリ、生活改善指導などの対処療法を実施している。</p> <p>・発熱症状がある患者は感染予防対策として待機場所を確保のうえ、通常の外来にて診療を実施している。患者に対し、抗原検査の実施及び抗ウイルス剤の処方を行っている。</p> <p>・新型コロナワクチンは65歳以上の方などを対象とした定期接種を実施するとともに、希望者には任意接種を実施し、重症化予防に取り組んでいる。</p>							

01命と健康を守りコロナ克服へ

No.	事業名	担当部局	関連部局			
3	臨機応変な対応による感染拡大防止と社会経済活動の支援	健康福祉部	環境経済部			
評価指標	実施項目	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
状況に応じた感染予防対策及び支援	迅速で適切な感染状況の収集を行い、国、県と連動した市民への正確な情報提供の実施	→				
状況に応じた社会経済活動の支援	タイムリーな感染予防対策の普及啓発及び自宅療養者等や市内事業者への支援の実施	→				
	感染状況に応じた必要かつ適切な市内団体・事業者等への社会経済活動の支援	→				
達成予定年度	達成状況					
2025年度	達成					
2022年度 進捗状況		2023年度 進捗状況				
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスに関する国や県の対応などの情報を収集するとともに、新型コロナウイルス対策本部会議を開催し、公共施設における対応等についての戸田市の方針や国・県の対応に応じた市の対応の決定、戸田市における感染状況や県の対策本部会議などの情報共有を行った。 ・県の感染対策に係る協力要請などの情報を発信し、感染予防対策の普及啓発に努めるとともに、自宅療養のための食料およびパルスオキシメーターの配達や事業者や市民への抗原検査キットの配付を行うなど、感染状況に応じた対応を行った。 ・新型コロナウイルスや物価高騰の影響下において、市内消費の活性化を通じた事業者支援を図るために、キャッシュレス決済ポイント還元事業を実施した。 		<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスに関する国や県の対応などの情報の収集を行い、国・県の対応に連動して市の対応を決定し、確定した正しい情報を市民に提供した。 ・新型コロナウイルス感染症の2類相当から5類への位置づけ変更による国・県の感染予防対策、各種変更点などの情報を、市民に速やかに提供した。 <p>※新型コロナウイルス感染症における感染症法上の位置づけの5類感染症への変更後においては、通常の対応に移行。</p>				
2024年度 進捗状況		2025年度 事業内容(案)				

01命と健康を守りコロナ克服へ

No.	事業名		担当部局		関連部局		
4	こども医療費・ひとり親家庭等医療費の現物給付を県内他市へ拡大		こども健やか部				
評価指標	実施項目			2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
こども医療費の現物給付化	システム改修、各種団体・市民への周知、新受給者証の発行等の実施			➡			
ひとり親家庭等医療費の現物給付化	こども医療費の埼玉県内における現物給付の実施			➡			
	ひとり親家庭等医療費の埼玉県内における現物給付の実施			➡			
達成予定年度	達成状況						
2022年度	達成						
2022年度 進捗状況				2023年度 進捗状況			
<ul style="list-style-type: none"> 埼玉県内現物給付化に向け、システム改修、ポスター・個別通知による各種団体・市民への周知、新受給者証の発行を行った。 こども医療費については令和4年10月診療分から、ひとり親家庭等医療費については令和5年1月診療分から埼玉県内における現物給付を開始した。 こども医療費・ひとり親家庭等医療費に係る改正条例の施行とともに、システム改修等を実施したことにより、給付事務体制の整備が完了した。 							
2024年度 進捗状況				2025年度 事業内容(案)			

01命と健康を守りコロナ克服へ

No.	事業名		担当部局		関連部局		
5-1	認知症対策・がん対策を推進する条例の制定と施策の推進		健康福祉部				
評価指標	実施項目			2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
認知症対策を推進する条例の制定	先進自治体等の調査及び研究並びに関係機関等との調整			➡			
	関係機関等との調整を含め、認知症対策を推進する条例の制定				➡		
	条例に基づく、施策の推進					➡	
達成予定年度	達成状況						
2023年度	達成						
2022年度 進捗状況				2023年度 進捗状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・先進自治体等の条例の調査及び研究並びに関係機関等との調整を実施した。 				<ul style="list-style-type: none"> ・市民、学識経験者、介護福祉事業従事者などで構成する「戸田市総合介護福祉市民協議会」や、認知症本人への支援として開催している認知症本人ミーティングの場などで、委員や本人とその家族から意見を伺い、それらを踏まえながら条例の内容を検討し、パブリック・コメントを経て「戸田市認知症とともに生きるあたたかいまちづくり条例」を制定した。 			
2024年度 進捗状況				2025年度 事業内容(案)			
<ul style="list-style-type: none"> ・認知症対策を推進する具体的取り組みとして、「補聴器購入費用の一部助成」制度を4月1日から実施し112件の申請があった(R7.3.21現在)。 ・認知症に関する正しい知識の普及及び理解の促進のための取組として、4月広報特集記事で新しい認知症観を周知啓発し、また9月号広報特集記事では認知症月間にに関する啓発を実施した。また、9月21日の認知症の日(世界アルツハイマーデー)を中心とし、9月4日から9月30日までの期間に12か所の市内公共施設及び46か所市内協力事業所等にて啓発展示等を実施。 ・市職員に対する認知症サポーター養成講座を実施し、51名が受講した。 ・市民等に向けて、若年性認知症と診断された方の実話をもとに描かれた映画「オレンジ・ランプ」の上映会を実施し、155名が鑑賞した。 ・認知症の当事者が集い、自らの体験や希望、必要としていることを語り合い、これからよりよい暮らし、暮らしやすい地域の在り方と一緒に話し合う場となる本人ミーティングを2回開催した。 				<ul style="list-style-type: none"> ・認知症対策を推進する具体的取り組みとして、「補聴器購入費用の一部助成」制度を引き続き実施する。 ・認知症に関する正しい知識の普及及び理解の促進のための取組として、広報特集記事や認知症月間において民間企業、関係機関等と連携した啓発事業(展示やその他イベント)を実施する。 ・幅広い年齢層(若年層を含め)に対して認知症サポーター養成講座を実施する。 ・市民等に向けて、認知症と診断された方の実話をもとに描かれた映画の上映会を実施する。 ・認知症の当事者が集い、自らの体験や希望、必要としていることを語り合い、これからよりよい暮らし、暮らしやすい地域の在り方と一緒に話し合う場となる本人ミーティングを開催する。 			

01命と健康を守りコロナ克服へ

No.	事業名		担当部局		関連部局		
5-2	認知症対策・がん対策を推進する条例の制定と施策の推進		健康福祉部				
評価指標		実施項目		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
がん対策を推進する条例の制定		戸田市がん対策推進のための具体的な取り組みの検討・研究		➡			
		がん対策を推進する条例の制定		➡			
		条例に基づく、施策の推進			➡		
達成予定年度	達成状況						
2022年度	達成						
2022年度 進捗状況				2023年度 進捗状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・さいたま市の「さいたま市がん対策の総合的かつ計画的な推進に関する条例」や事業の取組みなどを参考に具体的な取り組みの検討・研究を行った。 ・がん対策を総合的に推進するため、がん対策推進条例を3月に制定した。 ・がん対策推進条例の制定に併せて、新たに「がん患者医療用補正具購入費補助金」及び「戸田市若年がん患者ターミナルケア在宅療養生活支援補助金」の2つの補助金制度を創設した。 				<ul style="list-style-type: none"> ・がん対策推進の具体的取り組みとして、「がん患者医療用補正具購入費補助金」及び「戸田市若年がん患者ターミナルケア在宅療養生活支援補助金」制度を4月1日から実施した。 ・がんの知識や予防、生活や就労など各種支援制度を盛り込んだがんに関する総合的な冊子を作成し、医療機関や公共施設に配架し啓発を行った。 ・市民への普及啓発として、がんに対する取組や対応などを学ぶための講演会を開催した。 			
2024年度 進捗状況				2025年度 事業内容(案)			
<ul style="list-style-type: none"> ・「がん患者医療用補正具購入費補助金」及び「戸田市若年がん患者ターミナルケア在宅療養生活支援補助金」制度について、医療機関や介護事業所に対し周知を行った。 ・がん治療と就労の両立等について啓発するため、11月にがん講演会を実施した。また、広く市民へ啓発するため、ソーシャルメディアで講演動画を配信中。 ・包括連携協定事業者と協力し、2023年度に作成したがんに関する冊子やがん検診受診勧奨チラシを配布した。 ・健康福祉の杜まつりにおいて、がんに関するパネル展示やクイズラリーの実施、大腸トンネルを設置するなど、広く啓発を行った。 ・厚生労働省における「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」が令和6年2月14日に改正されたことに基づき、現行の子宮頸がん検診の見直しについて、国が主催する説明会を受講したほか、医師会や医療機関と情報共有を図った。 				<ul style="list-style-type: none"> ・胃内視鏡検査について、国の指針に基づき、対象年齢を現行の60歳以上から50歳以上へ、定員を750名から1,000名へ拡大する。 ・「がん患者医療用補正具購入費補助金」及び「戸田市若年がん患者ターミナルケア在宅療養生活支援補助金」制度について、必要とする市民へ情報が行き届くよう、引き続き医療機関や介護事業所へ周知を行う。 ・子宮頸がん検診の実施方法の見直しについては、引き続き情報収集を進めると共に、医師会や医療機関と細やかな情報共有を図る。 			

01命と健康を守りコロナ克服へ

No.	事業名		担当部局		関連部局		
6	糖尿病・慢性腎臓病予防やCOPD等など生活習慣病対策の推進		健康福祉部				
評価指標		実施項目		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
生活習慣改善のための教室及び講座等の推進		包括連携協定締結団体等の民間との連携等による生活習慣改善に係る対策の検討及び実施		→			
生活習慣病について周知啓発及び対策の推進		COPDをはじめとした生活習慣病全般の予防等における周知及び対策		→			
達成予定年度	達成状況						
2025年度	達成						
2022年度 進捗状況				2023年度 進捗状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣改善教室において、蕨戸田市医師会及び第一生命保険株式会社との共催で生活習慣病の予防改善のための講義を行った。 ・健康教育として、市民の健康への関心を更に高めるため明治安田生命保険相互会社と連携して「健康情報ステーション健康講座」や、住友生命保険相互会社との共催で後谷公園において青空ヨガや食育の講義を行った。 ・アストラゼネカ株式会社と連携し、COPDにおける予防啓発として肺の健康チェックシートを公共施設に配架し周知を行った。 				<ul style="list-style-type: none"> ・蕨戸田医師会、戸田中央総合病院と連携し、CKD(慢性腎不全)をテーマに生活習慣改善教室を現地・オンデマンド方式で開催した。 ・包括連携に基づいた講座の実施として、住友生命保険相互会社と連携し、「健康情報ステーション健康講座」を実施した。内容について、「健康長寿センター養成講座」、「血管年齢測定」、「野菜量測定」、「ストレスチェック」、「血圧測定」などを実施し、メニューの充実を図った。 ・また、受動喫煙防止(COPD)のための周知啓発として、市内2か所の健康情報ステーション内で受動喫煙防止・COPDの周知に関するパネル、ポスター展示を実施した。同趣旨にて、市内11か所の公共施設などにおいてもチラシと歯周病と喫煙に関するラベルを添付した啓発用マスクを各窓口に配架した。チラシについては、アストラゼネカ社からの協力による「COPDチェックリスト」を活用し、COPDの認知度の向上を図った。 			
2024年度 進捗状況				2025年度 事業内容(案)			
<ul style="list-style-type: none"> ・受動喫煙防止、COPDの周知のため、市役所2階ロビーにおいて、普及啓発のブースを設け、パネル展示と包括連携協定締結団体である住友生命保険相互会社と連携し、血管年齢測定を実施した。 ・蕨戸田医師会と連携し、CKD(慢性腎臓病)の原因となることが多い糖尿病をテーマに生活習慣改善教室を実施した。教室の内容については後日動画公開も行った。 ・包括連携に基づいた講座の実施として、健康情報ステーション健康講座、フレイル予防講座においては日本生命保険相互会社と連携、女性の健康週間イベントにおいては、明治安田生命保険相互会社と連携し、血管年齢や野菜量測定を実施した。 				<ul style="list-style-type: none"> ・新規に禁煙チャレンジ教室において、COPDや生活習慣病予防の啓発を実施する。 ・COPDの周知、禁煙チャレンジ教室の周知として、令和6年度肺がん検診受診者のうち喫煙指数が200以上の人(40~50代)に個別通知を行う。 ・新規にコバトン栄養健康アプリを利用し、各種健康教育事業参加者への継続支援を行う。 ・生活習慣改善教室において、糖尿病や慢性腎臓病予防をテーマに実施する。 ・各種健康教育事業において、包括連携に基づいた講座を実施する。 			

01命と健康を守りコロナ克服へ

No.	事業名		担当部局		関連部局		
7	健康な生活に向けた「スマートウェルネス推進プラン」の策定		健康福祉部		都市整備部		
評価指標	実施項目			2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
スマートウェルネス推進プランの策定		第4次健康増進計画・第3次食育推進計画策定と連携した市民アンケート調査の実施・集計			➡		
		ウォーカブルシティ構想の具現化や産学官との連携等をとり入れたスマートウェルネス推進プランの策定			➡		
		スマートウェルネス推進プランに基づく各種施策の推進及び進捗管理				➡	
達成予定年度	達成状況	SWC「キッズ健幸アンバサダー養成講座」による運動の習慣化			➡		
2023年度	達成						
2022年度 進捗状況				2023年度 進捗状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・20歳から79歳の市民3000名を無作為で抽出し、戸田市健康づくりに関する市民アンケート調査を実施。有効回収率は47.5%。 ・戸田市健康なまちづくり推進庁内会議及び戸田市保健対策推進協議会において、計画策定に向けた情報共有を行った。 ・令和4年12月1日に戸田南小学校4年生126人を対象に、オリンピアン白井健三さん及びパラリンピアン辻沙絵さんの実技指導や健康における運動の大切さを学ぶキッズ健幸アンバサダー養成講座を開催し、子どもたちが健康における運動の大切さを学ぶとともに、それをメッセージ動画として地域の高齢者に発信し、運動の習慣化や健康リテラシーの向上を図った。 				<ul style="list-style-type: none"> ・専門家の監修のもと、保健対策推進協議会や庁内関係各課での検討を行い、健康に関する各分野を包括した総合的な計画として、スマートウェルネスシティ推進プランを令和6年3月に策定した。 ・「キッズ健幸アンバサダー養成講座」を市内小学校5校に拡大して開催し、子どもたちから父・母・祖父母及び地域の高齢者等に健康における運動の大切さを伝える取組みを実施した。児童、保護者、地域の高齢者に運動の習慣化及び健康リテラシーの向上を図った。 			
2024年度 進捗状況				2025年度 事業内容(案)			
<ul style="list-style-type: none"> ・スマートウェルネスシティの実現に向けて、健康・福祉分野の関連計画、各種施策を整合・連携して実施するとともに、都市整備分野における関連事業との連携を図る。 ・令和6年度は市内小学校6校に対して昨年度に引き続き拡大実施し、子どもたちから父・母・祖父母及び地域の高齢者等に健康における運動の大切さを伝えることで運動の習慣化及び健康リテラシーの向上を図る。また、3年間の事業効果や評価を行う。 				<ul style="list-style-type: none"> ・スマートウェルネスシティ推進プランを令和6年3月に策定し1年が経過したことから、令和6年度事業について関連所属に照会のうえ、事業の進捗管理を行い、「健康なまちづくり推進庁内会議」及び「保健対策推進協議会」の中で報告を行っていく。 ・令和4年度から令和6年度までの3年間で実施した「キッズ健幸アンバサダー養成講座」に代わり、新たに「健幸アンバサダー養成講座」を実施し、特に年齢の若い層や健康に関心のない層に向けて、アンバサダーが必要な健康情報を地域で広げていくことで、市民のヘルスリテラシーの向上、将来的な介護予防、および健康寿命の延伸を図る。 			

01命と健康を守りコロナ克服へ

No.	事業名		担当部局		関連部局		
8	健康を支える食育の推進と若者や子どものヘルスケアの充実		健康福祉部		教育委員会事務局		
評価指標		実施項目		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
第3次戸田市食育推進計画策定		第4次健康増進計画と連携した市民アンケート調査の実施・集計			→		
朝食を食べる若い世代の割合（目標87%）		第3次戸田市食育推進計画策定			→		
		包括連携協定締結団体等の民間団体や関係機関と連携した食育の推進			→		
達成予定年度	達成状況	包括連携協定締結団体等の民間団体や関係機関と連携した若者や子どもの健康に関する施策の推進			→		
2025年度	達成						
2022年度 進捗状況				2023年度 進捗状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・第3次戸田市食育推進計画の計画策定に伴い市民アンケートによる「食」の実態調査を実施した。 ・包括連携協定締結団体等の民間団体や関係機関と連携した食育の推進として①とだPR大使の美味しいレシピの動画発信による食への興味関心の向上、②女子栄養大学学生考案によるバランス弁当の開発販売、③日本薬科大学による薬膳についての情報発信など産学官連携の取り組みを計画し、PR大使、大学、企業と調整を行った。 ・イベントでの食育の発信については、3年ぶりに開催した健康福祉の社まつりにおいて、食育推進計画第3章「こころをつなぐ食」の食文化の伝承に焦点を当て、埼玉県の郷土料理のパネル展示の他、行事食・郷土料理などのアンケートを実施した。 ・子どもの健康に関する施策については、小・中学校の依頼歯科事業時に、朝食欠食や生活リズムの改善についての講話を実施した。 				<ul style="list-style-type: none"> ・第3次戸田市食育推進計画を策定した。 ・包括連携協定締結団体等の民間団体や関係機関と連携した食育の推進として①女子栄養大学学生考案による「すこやかTODA弁当」（全4種）を市内2店舗で販売、②日本薬科大学との連携による「薬膳による健康づくり」の啓発（薬膳レシピブック作成・配布）を行った。 ・福祉作業所ゆうゆうと連携し、薬膳を取り入れたお菓子（生姜黒半月）を開発し、健康福祉の社まつりで配布した。 ・食育月間や、健康福祉の社まつりにおいて、食育啓発を行った。 ・若者の健康づくりの推進については、高校生や大学生などに有効な情報発信の方法として、包括連携協定先のコンビニエンスストアで食育推進ポップによる『野菜摂取』『朝食摂取』の啓発を行った。 			
2024年度 進捗状況				2025年度 事業内容（案）			
<ul style="list-style-type: none"> ・包括連携協定締結団体等の民間団体や関係機関と連携した食育の推進として、女子栄養大学学生考案による①市内店舗で「すこやかTODA弁当」（全1種）、②戸田市文化会館レストランで「すこやかTODA定食」（全4種）のメニューの開発・販売を行った。また、当該メニューについて、スマートミール申請のサポートを行った。 ・子どもや若者の健康づくりについては、「朝ごはん親子料理教室」、「朝ごはんレシピコンテスト」を実施し、服部学園 服部幸應校長による講演会（オンデマンド配信）を開催した。 ・食育月間や、健康福祉の社まつりにおいて、食育啓発を行った。 ・市内各小・中学校においては、食育に関する調査研究を継続し研究紀要を発行するとともに、家庭及び児童生徒向けの食育だよりの発行やゲストティーチャーを招聘した講演会を実施した。また、毎年食育にかかる授業研究会を実施し、教職員の資質向上に努めた。 				<ul style="list-style-type: none"> ・健康推進事業者と事業協定を締結し、食育関連のコンテンツ配信を実施 ・保健師の地区活動において、データに基づく食生活改善や食育の啓発の実施 ・「朝ごはん親子料理教室」「戸田市朝食レシピコンテスト」「幼児食講習会」の開催 ・包括連携協定締結団体の民間団体や関係機関と連携した食育の推進として、女子栄養大学学生と食育の啓発活動を実施 ・スマートミール※の普及啓発・申請サポート ※健康づくりに役立つ栄養バランスのとれた美味しい食事のこと ・市内各小・中学校においては、食育に関する調査研究を継続し研究紀要を発行するとともに、家庭及び児童生徒向けの食育だよりの発行やゲストティーチャーを招聘した講演会を実施した。また、毎年食育にかかる授業研究会を実施し、教職員の資質向上に努めた。 			

01命と健康を守りコロナ克服へ

No.	事業名		担当部局		関連部局		
9	引きこもり支援や自殺予防等の心の健康・孤立対策の推進		健康福祉部		こども健やか部、教育委員会事務局		
評価指標		実施項目		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
こころの健康・孤立対策の推進	引きこもり・こころの健康相談の充実及びプラットフォーム活用による関係部署との連携			➡			
ひきこもり・自殺予防対策の充実	国・県の取り組みを踏まえて、本市の取り組みを検討及び充実			➡			
相談支援事業の周知の充実	戸田市公式LINE機能を利用した24時間電話相談連絡先、相談窓口の情報発信			➡			
達成予定年度	達成状況						
2025年度	達成						
2022年度 進捗状況				2023年度 進捗状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・関係部局による情報共有と、支援体制や支援策の構築を進めていくため戸田市ひきこもり支援対策意見交換会議を設置した。 ・これまでの教員に向けた研修に加え、地域の気づきと見守りを促進するため、民生委員・児童委員を対象としたゲートキーパー研修を行った。 				<ul style="list-style-type: none"> ・戸田市公式LINE機能やAI総合案内サービスを利用し、ひきこもり相談窓口や自殺予防等において情報発信を行った。 ・ひきこもり支援体制の整備として、国・県の取組みを踏まえて「ひきこもり支援対策意見交換会議」を実施し、ひきこもり支援施策について検討した。また、南部保健所が開催していた「ひきこもり相談担当者勉強会」を今年度から、戸田市の事業として開催した。今後、両輪にて市のひきこもりプラットフォームを運営していく体制の充実を図った。 ・ゲートキーパー研修は対象を拡大し、市職員、地域に関わる福祉職等に実施した。 			
2024年度 進捗状況				2025年度 事業内容(案)			
<ul style="list-style-type: none"> ・義務教育終了後の切れ目のない相談支援や相談窓口の拡充として、臨床心理士相談事業を開始した。 ・教育センターと連携を図り、義務教育が終了する中学3年生とその保護者に対し、こころの相談窓口の周知を実施した。 ・「ひきこもるこころ」の理解を促進するため、ひきこもり経験者を講師に招き、こころの健康講演会を実施した。 ・新たに、市職員向けゲートキーパー研修(中級編)を実施した。 ・自殺対策強化月間・自殺予防週間にあわせ、ヤクルトレビンズ戸田や戸田中央メディックス埼玉、JR東日本等と協力し市内3駅で駅頭啓発活動を実施した。 				<ul style="list-style-type: none"> ・新たに、ひきこもり状態にある方や生きづらさを感じている方、またその家族を対象に、とまり木サロンを社会福祉協議会と共に2か月に1回開催する。 ・市職員・市教職員向けゲートキーパー研修を継続して実施するとともに、市民向けのゲートキーパー研修を新たに実施する。 ・市民や支援者がひきこもりに対する偏見等をなくし、「ひきこもるこころ」の理解をさらに促進させるために、こころの健康講演会の実施回数を年2回に増やす。 			

02共に支え合う優しいまち

No.	事業名		担当部局		関連部局			
10	人生100年を豊かにする「シニア社会参加推進プラン」の策定		健康福祉部		市民生活部、環境経済部、教育委員会事務局			
評価指標		実施項目		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
シニア社会参加推進プランの策定		シニア社会参加推進プラン策定に係る検討・調整		➡				
		シニア社会参加推進プラン策定検討委員会の設置		➡				
		シニア社会参加推進プランの策定			➡			
達成予定年度	達成状況							
2023年度	達成							
2022年度 進捗状況				2023年度 進捗状況				
<ul style="list-style-type: none"> 組織横断的な検討体制として「戸田市シニア社会参加推進プラン策定検討委員会」を設置し、プランの方向性について議論するとともに、各部局の事業について情報共有を行った。 3年に一度実施する高齢者実態把握調査について、シニアの社会参加に係る質問項目を追加し、実施した。 				<ul style="list-style-type: none"> 戸田市シニア社会参加推進プラン策定検討委員会及び戸田市総合介護福祉市民協議会の議論を経て、「就労」、「地域活動」、「学習」、「健康」など、シニア世代の社会参加につながる取組を整理し、多様な社会参加を提案する「戸田市シニア社会参加推進プラン」を策定するとともに、その概要版として「アクティブシニア・サポート・ナビ」を作成し、市ホームページをはじめ、町会・自治会への回覧により市民への周知を行った。 				
2024年度 進捗状況				2025年度 事業内容(案)				
<ul style="list-style-type: none"> 市ホームページにおいて、シニアの社会参加に関する「アクティブシニア応援サイト」を開設し、多様なメニューを集約するとともに、随時情報発信を行った。 継続したシニア向け就労セミナーを開催するとともに、ハローワーク川口と連携し、シニア世代も対象となる介護・医療就職面接会・説明会を実施した。 				<ul style="list-style-type: none"> 「アクティブシニア応援サイト」の管理・更新。 				

02共に支え合う優しいまち

No.	事業名	担当部局	関連部局			
II	2040年問題を見据えた地域包括ケアシステムの充実	健康福祉部				
評価指標	実施項目	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
住民主体のつどいの場の創出・情報発信	TODA元気体操や高齢者サロンなどの住民主体のつどいの場の増設と活動支援	→				
リンクワーカーの育成	住民主体のつどいの場等の地域資源に関する情報発信等により高齢者の社会参加を促進	→				
	高齢者の増加や多様なニーズに対応する地域包括支援センターの機能強化	→				
達成予定年度	達成状況	認知症サポーターの養成等による認知症高齢者や家族を見守る体制の構築				
2025年度	一部達成					
2022年度 進捗状況			2023年度 進捗状況			
<ul style="list-style-type: none"> 理学療法士を派遣し、TODA元気体操会場（教室）の新規立上げ支援を行い9会場新たに立ち上げるとともに、コロナ禍において活動を休止していた会場に活動再開支援、活動中の会場に対しては活動支援として体力測定等を実施した。また、介護予防リーダー養成講座を公募で実施し、31人の介護予防リーダーを養成した。 地域資源マップ・リストを更新、改訂するため、生活支援コーディネーターとともに調査、研究を行った。 地域包括支援センターで対応する個別案件事例の検討を通して、地域の課題を把握し、多職種協働による支援づくりを進めた。また、それぞれの圏域においてネットワーク構築型の地域ケア会議を行い、町会、民生委員、老人会等との協力関係構築を図った。自立支援型地域ケア会議を実施し、ケアマネジメントの質の向上を図った。 認知症サポーター養成講座はキャラバンメイト（講師）の協力により1回開催され、認知症についての正しい知識の啓発を行い、新たに認知症サポーター303人を養成した。また、これまでに認知症サポーター養成講座を受講している方を対象に、実際の支援活動に必要となる認知症に関する知識や地域での活動事例等を題材としたステップアップ研修を実施した。 公平病院との実証実験を踏まえ、リンクワーカーの活用に向け、調査、研究を行った。 				<ul style="list-style-type: none"> 理学療法士を派遣し、TODA元気体操会場（教室）の新規立上げ支援を行い4会場新たに立ち上げるとともに、コロナ禍において活動を休止していた会場に活動再開支援、活動中の会場に対しては活動支援として体力測定等を実施した。また、介護予防リーダー養成講座を公募により実施したところ、27人の新たな介護予防リーダーを養成した。 地域資源マップ・リストを更新、改訂するため、生活支援コーディネーターとともに調査、研究を行い、マップとリストを更改した。 地域包括支援センターで対応する個別案件事例の検討を通して、地域の課題を把握し、多職種協働による支援づくりを進めた。また、それぞれの圏域においてネットワーク構築型の地域ケア会議を行い、町会、民生委員、老人会等との協力関係構築を図った。自立支援型地域ケア会議を実施し、ケアマネジメントの質の向上を図った。 認知症サポーター養成講座はキャラバンメイト（講師）の協力により1回開催され、認知症についての正しい知識の啓発を行い、新たに認知症サポーター303人を養成した。また、これまでに認知症サポーター養成講座を受講している方を対象に、実際の支援活動に必要となる認知症に関する知識や地域での活動事例等を題材とした認知症サポーターステップアップ研修を実施したところ、29人の受講があった。 市地域包括支援センター及び市社会福祉協議会に対し、社会的処方の取組に関するリンクワーカーの役割の説明を行うとともに、蕨戸市医師会に対する社会的処方の取組説明会の場で、医師とリンクワーカーとの顔合わせを行った。また、全市に取組を拡大することに賛同いただいた医療機関に対し、個別に説明を行うとともに、医療機関に対し、地域資源マップ・リストの配布を行った。 		
2024年度 進捗状況			2025年度 事業内容（案）			
<ul style="list-style-type: none"> 地域住民や関係機関と協力し、公共施設や福祉センターなどを活用して、年齢や心身の状況、所属コミュニティに関わらず、容易に誰もが通えるTODA元気体操教室（会場）の整備を行った結果、所属するコミュニティなどの属性を問うことのない新たな会場（教室）が3箇所立ち上がった。 TODA元気体操教室（会場）の活動促進のため、リハビリテーション専門職を派遣する等の継続支援を行い延べ138名の理学療法士を派遣した。TODA元気体操教室（会場）及び介護予防リーダー間の連携強化と互助体制の強化に資する取組として「介護予防リーダー情報交換会」等を開催し、各教室（会場）独自の健康への取組等に係る情報交換の機会を創出した。 地域住民や民間事業者等を含めた多様な主体と地域ニーズ等を共有し、検討した結果、生活支援コーディネーターとともに「自由に誰もが参加できる集いの場」として「ラジオ体操に取り組む集い場」の創出を図り、1箇所新規立上げに至った。 個別ケース、課題を検討する「地域ケア個別会議」を10回開催し、地域包括支援センター圏域内の関係機関のネットワークづくり、新たな地域資源の創出、地域課題の解決の検討を行う「地域ケア圏域会議」を10回開催し、地域包括支援センターの機能強化を図った。 認知症サポーター養成講座を18回開催し、416名の認知症サポーターを要請した。また、認知症サポーター同士の交流会をプログラムに含む「認知症サポーターステップアップ研修」を2日間に分けて開催し、31名の認知症サポーターが受講した。 社会的処方の取組に係るリンクワーカーへの相談件数等を把握し、地域包括支援センター会議で状況を共有し、リンクワーカーからの意見を収集した。 				<ul style="list-style-type: none"> 地域住民や関係機関と協力し、公共施設や福祉センターなどを活用して、年齢や心身の状況、所属コミュニティに関わらず、容易に誰もが通えるTODA元気体操教室（会場）の整備を行う。 TODA元気体操教室（会場）の活動促進のため、リハビリテーション専門職を派遣する等の継続支援を行い、TODA元気体操教室（会場）及び介護予防リーダー間の連携強化と互助体制の強化に資する取組を実施する。 地域住民や民間事業者等を含めた多様な主体と地域ニーズ等を共有し、検討することで、既存の地域資源を適切に活用し、ニーズに沿った新たな地域資源の創出や既存サービス等とのマッチングを図る。 個別ケース、課題を検討する「地域ケア個別会議」、地域包括支援センター圏域内の関係機関のネットワークづくり、新たな地域資源の創出、地域課題の解決の検討を行う「地域ケア圏域会議」の開催を重ねることで地域包括支援センターの機能強化を図る。 認知症サポーター養成講座を開催し、正しい知識や理解の普及を促進するとともに、認知症サポーターステップアップ研修を開催し、認知症サポーターの活躍促進を図る。 社会的処方の取組に係るリンクワーカー（地域包括支援センター及びコミュニティソーシャルワーカー）への相談件数等を把握するとともに、地域包括支援センターと社会的処方の取組協力医療機関との連携強化を図る。 		

02共に支え合う優しいまち

No.	事業名		担当部局		関連部局		
12	介護ロボットやAI等の導入による介護テックの推進		健康福祉部				
評価指標		実施項目		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
介護ロボットなどの導入に係る補助制度の策定		県の実施した事業の調査・研究や介護事業者のニーズ調査		➡			
		介護ロボットなどの導入に係る補助制度の策定		➡			
達成予定年度	達成状況						
2023年度	達成						
2022年度 進捗状況				2023年度 進捗状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・県が策定した「埼玉県介護ロボット普及促進事業費等補助金交付要綱」の調査、研究を行った。 ・他自治体における同趣旨の補助金等の調査、研究を行った。 ・市内の全146事業所に対して、「介護ロボット及びAIに関するアンケート調査」を行った。55の事業所から回答があった。 				<ul style="list-style-type: none"> ・県が策定した「埼玉県介護ロボット普及促進事業費等補助金交付要綱」の認知度が低いので、市内事業所に対して周知を行った。 ・アンケート調査を踏まえ、本市における補助制度のあり方（補助金の金額や交付対象とする介護ロボット及びAI技術の範囲、申請期間等）を検討し、補助制度を策定した。 			
2024年度 進捗状況				2025年度 事業内容（案）			
<ul style="list-style-type: none"> ・市内の介護サービス事業所に対して、市の補助制度を市HPや集団指導、メールによる通知などによって周知、啓発を行った。 ・埼玉県介護ロボット普及促進事業を市HPなどを活用して、周知した。 ・市内の介護サービス事業所のうち、4事業所に対し、介護ロボットに加え、ICT機器の導入に係る費用の補助を実施した。 				<ul style="list-style-type: none"> ・市内の介護サービス事業所に対して、市HPや集団指導、メールなどを活用し、市の補助制度の周知、啓発を図る。 ・埼玉県介護ロボット普及促進事業を市HPなどを活用して、周知を行う。 ・市内の介護サービス事業所に対し、介護ロボットに加え、ICT機器の導入に係る費用の補助を引き続き実施する。 			

02共に支え合う優しいまち

No.	事業名		担当部局		関連部局		
13	差別をなくし認め合う共生社会を推進する条例の制定と施策の推進		健康福祉部				
評価指標		実施項目		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
共生社会を推進する条例の制定		条例制定に向けた調査研究(他自治体への調査等)・検討		➡			
		条例の制定			➡		
		障害者差別解消法の周知・啓発				➡	
達成予定年度	達成状況						
2023年度	達成						
2022年度 進捗状況				2023年度 進捗状況			
<ul style="list-style-type: none"> 共生社会を推進する条例を制定している先進市の状況等の情報を収集し研究を行った。 他市の状況等をもとに戸田市地域自立支援協議会から意見聴取を実施した。 ホームページや窓口でポスターを掲示し、障害者差別解消法について周知した。 				<ul style="list-style-type: none"> 条例の制定に向けて、他市の状況や障害福祉サービス事業従事者などで構成する「戸田市地域自立支援協議会」から意見等を参考に、共生社会を推進する条例骨子(案)を作成した。その後、市民、学識経験者、障害者本人、医療関係機関職員などで構成する「戸田市障害者施策推進協議会」において、意見を伺い条例骨子(最終案)を作成した。パブリック・コメントでいただいたご意見も参考に条例名を「戸田市障がいを理由とする差別のない共生社会づくり条例」として、3月議会に上程、制定した。 ホームページや窓口でポスターを掲示し、障害者差別解消法について周知した(通年)。 			
2024年度 進捗状況				2025年度 事業内容(案)			
<ul style="list-style-type: none"> 共生社会についての周知を目的に、東京家政大学人文学部教育福祉学科田中ゼミの学生にパンフレットの作成協力を依頼し、パンフレットを作成した。 障害者週間(12月3日から9日まで)に合わせて12月7日に【あなたならどうする?~障害を理由とする差別のない共生社会を目指して~】と題し、講師に東京家政大学の田中恵美子教授(映像出演)及び仮面女子 猪狩ともか氏を招き、人権講演会を実施した。 ホームページや窓口でポスターを掲示し、障害者差別解消法について周知した(通年)。 				<ul style="list-style-type: none"> 2024年度に作成した、条例周知用パンフレットを用いて、共生社会について周知する。 戸田市手話言語条例が施行後5年周年の節目であることから、更なる周知と手話及びろう者等への正しい理解を深めるための取り組みを行う。 3市(川口市、蕨市、戸田市)合同による民間事業者向けの障害平等研修を開催する。 ホームページや窓口でポスターを掲示し、障害者差別解消法について周知する(通年)。 			

02共に支え合う優しいまち

No.	事業名		担当部局		関連部局		
14	児童発達支援センターの充実による発達障がい支援の推進		健康福祉部		こども健やか部		
評価指標		実施項目		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
新たな個別療育の導入		新たに個々の児童の個性や強みを活かす個別療育の検討・試行		➡			
		新たな個別療育の導入と発達障がい支援の推進			➡		
		ホームページの充実等による関係団体や利用者（保護者）への支援情報の発信の強化		➡			
達成予定年度	達成状況						
2023年度	達成						
2022年度 進捗状況				2023年度 進捗状況			
<p>・児童発達支援センターにおいて、個々の児童に応じた個性や強みを活かし、多面的な指導の展開を工夫するための個別療育を試行的に実施。</p>				<ul style="list-style-type: none"> ・各児童毎に作成している各児童を総合的に把握した個別支援計画に加えて、個性や強みを活かした小集団による多面的な指導の展開を工夫するため、個別療育プログラムの作成（4～6月）をした。 ・個別療育プログラムを導入し、個別支援計画をより実行的に推進した。（通年）。 ・児童発達支援センターのホームページを、関係団体や保護者等へ情報をより分かりやすく発信するためのリニューアルを行った（4月）。 			
2024年度 進捗状況				2025年度 事業内容（案）			
<p>・昨年度と同様、生活（排泄・食事着脱など）、遊び（揺れ遊びなどの感覚的遊び、玩具や教材の操作的遊びなど）、運動（走る、飛び上がる、よじ登る、駆け降りる、駆け上るなどのダイナミックな粗大運動 紐通し、ビーズ拾い、型はめなどの微細運動）などの児童個々の個別支援計画を土台に、児童個々の強みや興味に活かす「個別療育プログラム」を作成した。それをもとに、言語聴覚士による個別遊びを実施すると共に、親子通園時の親子遊びの充実を支援した。</p>				<p>・これまでと同様に、生活（排泄・食事着脱など）、遊び（揺れ遊びなどの感覚的遊び、玩具や教材の操作的遊びなど）、運動（走る、飛び上がる、よじ登る、駆け降りる、駆け上るなどのダイナミックな粗大運動 紐通し、ビーズ拾い、型はめなどの微細運動）などの児童個々の個別支援計画を土台に、児童個々の強みや興味に活かす「個別療育プログラム」を作成する。それをもとに、言語聴覚士による個別遊びを実施すると共に、親子通園時の親子遊びの充実を支援していく。</p>			

02共に支え合う優しいまち

No.	事業名		担当部局		関連部局		
15	企業や学校との連携による障がい者の雇用機会の創出		健康福祉部		環境経済部、教育委員会事務局		
評価指標		実施項目		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
福祉的就労を含む就労支援の推進		企業や学校等との連携による雇用機会創出に係る支援策の検討		→			
		企業や学校等と連携し、就労訓練や情報提供等の支援策の実施		→			
		特別支援学校「戸田かけはし」等と連携し、学校相談会等など支援策の推進		→			
達成予定年度	達成状況	障害者就労推進部会にて福祉的就労を含む就労支援に向けた施策の推進		→			
2023年度	達成						
2022年度 進捗状況			2023年度 進捗状況				
<ul style="list-style-type: none"> ・障害者の一般就労の雇用創出のため、就労支援センターと連携し、商工会に働きかけ障害者雇用についての支援策を検討するためアンケートを実施した(3月)。 ・埼玉県立戸田かけはし高等特別支援学校と連携し、障害者の福祉的就労の推進に向け、学校相談会に参加した(6月、1月)。 ・商工会を通した事業所向けアンケートの実施結果を踏まえ、事業所同士の交流の場を設置するための調整をした。 ・障害者就労推進部会は障害者就労全般に関して議論する場であるが、更なる支援策として一般就労及び福祉的就労に特化して議論し、その結果を共有するため、令和5年度における部会の組織を次のとおり再編成することとした。 令和4年度の組織　障害者就労推進部会 令和5年度の新組織 ①障害者就労推進部会 (②③を開催後、障害者就労全般に関して情報共有・意見交換を実施し、障害者の支援策を推進する。) ②就労推進連絡会(一般就労に関して情報共有・意見交換を実施する。) ③通所事業所連絡会(福祉的就労に関して情報共有・意見交換を実施する。) 			<ul style="list-style-type: none"> ・障害者の一般就労の雇用創出のため、就労支援センターと連携し、雇用ニーズの収集や就労実態の把握するため、商工会を通した事業所同士の交流の場として、戸田市企業情報交換会を実施した(11月21日(火)、参加企業数21者)。 ・埼玉県立戸田かけはし高等特別支援学校、和光特別支援学校、和光南特別支援学校と連携し、障害者の福祉的就労の推進を含む卒業後の支援について理解を図る説明会に参加した(4月26日(水)、6月21日(水)、1月18日(木))。 ・一般就労に関する就労推進連絡会及び福祉的就労に関する通所事業所連絡会並びに障害者就労全般に関する障害者就労推進部会において、福祉的就労における工賃向上や新たな作業内容の創出及び一般就労と障害福祉サービスの併用を認めた事例を紹介し、障害者の就労支援を推進した。 				
2024年度 進捗状況			2025年度 事業内容(案)				
<ul style="list-style-type: none"> ・障害者の一般就労の雇用創出のため、引き続き就労支援センターと連携し、雇用ニーズや就労実態に応じた情報を提供するため、商工会を通した事業所同士の交流の場として、戸田市企業情報交換会を実施した(11月18(月)参加企業数18社、参加者28名)。 ・埼玉県立戸田かけはし高等特別支援学校、和光特別支援学校、和光南特別支援学校と連携し、障害者の福祉的就労の推進を含む卒業後の支援について理解を図る説明会に参加した(4月24日)。 ・一般就労に関する就労推進連絡会及び福祉的就労に関する通所事業所連絡会並びに障害者就労全般に関する障害者就労推進部会において、福祉的就労を含む障害者の支援策を推進した。 			<ul style="list-style-type: none"> ・障害者の一般就労の雇用創出のため、引き続き就労支援センターと連携し、雇用ニーズや就労実態に応じた情報を提供するため、商工会を通した事業所同士の交流の場として、戸田市企業情報交換会を実施する。 ・埼玉県立戸田かけはし高等特別支援学校、和光特別支援学校、和光南特別支援学校と連携し、障害者の福祉的就労の推進を含む卒業後の支援について理解を図る説明会に参加する。 ・一般就労に関する就労推進連絡会及び福祉的就労に関する通所事業所連絡会並びに障害者就労全般に関する障害者就労推進部会において、福祉的就労を含む障害者の支援策を推進する。 				

02共に支え合う優しいまち

No.	事業名		担当部局		関連部局				
16	障がい者アート展の実施やパラスポーツに触れる機会の創出		健康福祉部		市民生活部				
評価指標		実施項目		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度		
参加者を拡充した障がい者アート展の開催		障がい者アート展の参加者を既存の成人施設単位から一般公募、児童施設単位にも拡大して実施		➡					
パラスポーツ選手の支援推進		包括連携締結団体又は協力団体と連携した障がい者スポーツ教室の開催		➡					
		パラ種目を含めたスポーツフェスタの開催		➡					
達成予定年度	達成状況	パラスポーツ選手の支援		➡					
2025年度	達成								
2022年度 進捗状況				2023年度 進捗状況					
<ul style="list-style-type: none"> 戸田市心身障害者福祉センターにおいて、包括連携締結団体又は協力団体と連携し、障害者を対象にしたスポーツ教室を実施。 12月に、パラ種目を含めたスポーツフェスタの開催を予定していたが、会場である戸田市スポーツセンターが新型コロナウイルス感染症のワクチン接種会場となつたため中止となった。 パラスポーツ選手に対して、大会出場に伴う経費の一部助成を実施した。 				<ul style="list-style-type: none"> 既存の芸術・文化作品展示（作業所作品）の参加者を拡大（埼玉県立戸田かけはし高等特別支援学校・児童・一般を含め）し、戸田市障がい者アート展を次の通り実施した。 概要 出展者数：108者、来場者数：延べ1,662人 <ul style="list-style-type: none"> 戸田市立郷土博物館3階ロビー及び特別展示室 令和5年12月3日（日）～10日（日） 戸田市役所2階ロビー（市民課前） 令和5年12月3日（日）～8日（金） 戸田市心身障害者福祉センターにおいて、包括連携締結団体又は協力団体と連携し、障害者を対象にしたスポーツ教室（体操、フライングディスク、ボッチャ）を開催した。 スポーツセンターでパラ種目を含めたスポーツフェスタを開催し、車いすラグビー体験やボッチャ体験を実施した。 パラスポーツ選手に対して、大会出場に伴う経費の一部助成を実施した。 					
2024年度 進捗状況				2025年度 事業内容（案）					
<ul style="list-style-type: none"> 戸田市障がい者アート展について、障害者週間（12月3日から9日まで）に合わせて実施し、今年度は従来の市役所ロビー及び郷土博物館に加え12月7日に開催した人権講演会に併せて文化会館においても実施した。 摘要：出展者数85者 <ul style="list-style-type: none"> 戸田市役所2階ロビー（会計課前） 来場者：2,899人（参考値） 戸田市立郷土博物館特別展示室及び3階ロビー 来場者：311人 戸田市文化会館301会議室 来場者：集計なし 戸田市心身障害者福祉センターにおいて、包括連携締結団体又は協力団体と連携し、障害者を対象にしたスポーツ教室（体操、フライングディスク、ボッチャ等）を開催した。 スポーツセンターでパラ種目を含めたスポーツフェスタを開催し、車いすラグビー及びデフバドミントン体験会を実施した。 パラスポーツ選手に対して、大会出場に伴う経費の一部助成を実施した。 				<ul style="list-style-type: none"> 戸田市障がい者アート展について、障害者週間（12月3日から9日まで）に合わせて実施する。 戸田市心身障害者福祉センターにおいて、包括連携締結団体又は協力団体と連携し、障害者を対象にしたスポーツ教室（体操、フライングディスク、ボッチャ等）を開催する。 スポーツセンターでパラ種目を含めたスポーツフェスタを実施する。 パラスポーツ選手を含めた大会出場に伴う経費の一部助成について、引き続き実施する。 					

02共に支え合う優しいまち

No.	事業名		担当部局		関連部局		
17	性的マイノリティの方を対象とする「パートナーシップ宣誓制度」の策定		市民生活部				
評価指標		実施項目		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
パートナーシップ宣誓制度の制定		各種団体との調整や制度の検討を行い、パートナーシップ宣誓制度を制定		➡			
		パートナーシップ宣誓制度の周知や改善内容を検討しつつ、同制度を実施			➡		
達成予定年度	達成状況						
2022年度	達成						
2022年度 進捗状況				2023年度 進捗状況			
<ul style="list-style-type: none"> 制度設計のため、当事者団体との意見交換、男女共同参画推進委員会や男女共同参画庁内検討会議での検討を行った。パブリック・コメントを7月に実施し、要綱、手引き等を整備し、10月11日から「戸田市パートナーシップ・ファミリーシップ制度」を開始した。 男女共同参画情報誌「つばさ」や広報戸田市、広報動画、市ホームページ等で周知・啓発を進めている。 				<ul style="list-style-type: none"> LGBTQ支援等の現状について、当事者団体との意見交換を行った。 男女共同参画庁内検討会議で制度の現状について報告した。 庁内に対しパートナーシップ・ファミリーシップ届出制度で対象となるサービスの照会を行った。 医師会、宅建協会、男女共同参画拠点あいパル等での周知啓発を行った。 			
2024年度 進捗状況				2025年度 事業内容(案)			
<ul style="list-style-type: none"> パートナーシップ制度において、埼玉県63市町村が協定を締結し、住所異動に伴う制度利用者の負担軽減及び利便性の向上を図った。併せて、大阪府主導による自治体間連携ネットワークに加入し、広域的な連携を推進した。 LGBTQ支援等の現状について当事者団体と意見交換を行った。 パートナーシップ・ファミリーシップ届出制度利用者が利用できる行政サービスの拡充に向けて検討を行った。 				<ul style="list-style-type: none"> LGBTQ支援等の現状について当事者団体と意見交換を行う。 パートナーシップ・ファミリーシップ届出制度利用者が利用できる行政サービスの拡充に向けて引き続き検討を行う。 自身の意思表示が困難の際、パートナーが家族として取り扱ってもらうよう、パートナーシップ・ファミリーシップ届出受理証明カードの見直しを行う。 			

02共に支え合う優しいまち

No.	事業名		担当部局		関連部局		
18	外国人市民との新たな交流の場創出による多文化共生の推進		市民生活部				
評価指標		実施項目		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
国際交流協会ボランティアに係る委員会の再編		多文化共生推進のための体制の強化		➡			
多文化共生の推進		企画の検討・事業の予算化		➡			
		新たな交流の場に係る事業の実施			➡		
達成予定年度	達成状況						
2025年度	達成						
2022年度 進捗状況				2023年度 進捗状況			
<ul style="list-style-type: none"> 戸田市国際交流協会にて、ボランティア委員会再編の議論を開始した。 戸田市多文化共生推進市民会議にて、防災や教育などをテーマに、外国人市民が戸田市で暮らすなかでの困りごとやこうなったらいいなど、アイディアを出し合った。 埼玉県南部地域振興センターと外国人コミュニティを対象とした情報発信方法について協議した。 				<ul style="list-style-type: none"> 戸田市国際交流協会におけるボランティア委員会再編について、令和6年度から多文化共生や国際交流など5つの委員会とすることで、交流事業の実施に向けた体制を整えた。 戸田市多文化共生推進市民会議にて、ワークショップを実施し、2年間の任期で防災をテーマに取り組むこととした。 埼玉県南部地域振興センター及び近隣市と連携し、微博(ウェイバー)を活用した情報発信を検討した。 			
2024年度 進捗状況				2025年度 事業内容(案)			
<ul style="list-style-type: none"> 戸田市国際交流協会の新体制となった各ボランティア委員会にて、新たに音楽を使った外国語講座や、ワークショップ形式の「ことばのひろば」など、交流の場を創設し、事業を実施した。 「戸田市共創のまちづくり補助金」を活用する市民活動団体に対し、交流事業の実施を支援した。 戸田市多文化共生推進市民会議において、国籍を問わず誰にでも身近な防災をテーマに掲げて議論を深め、当会議からの意見を取り入れた「外国人防災訓練」を実施した。 				<ul style="list-style-type: none"> 各ボランティア委員会にて設置した、新たな交流の場の事業を継続しながら、さらなる充実を図る。 「戸田市共創のまちづくり補助金」を活用する市民活動団体に対し、交流事業の実施を支援する。 戸田市多文化共生推進市民会議において、「言葉とコミュニケーション」をテーマに掲げて議論を深め、当会議からの意見を取り入れた取り組みを実施する。 			

03災害に強く安全なまち

No.	事業名	担当部局	関連部局			
19	北大通りへの雨水貯留施設整備や下水道敷設・更新による浸水対策	水安全部				
評価指標	実施項目	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
北大通り雨水貯留施設の整備	雨水貯留管建設工事の実施			→		
	下水道（雨水）函渠の敷設			→		
	下水道管渠の調査・更新			→		
達成予定年度	達成状況					
2024年度	達成					
2022年度 進捗状況		2023年度 進捗状況				
<ul style="list-style-type: none"> ・雨水貯留管については、発進立坑の整備及びシールド機製作を実施中。 ・下水道（雨水）函渠については、約300mの敷設工事を令和5年度への繰越工事で実施中。完了すれば雨水整備率は72.4%となる。 ・下水道管渠の調査・更新については、約30kmの調査及び前年度調査済み路線における更新予定箇所の設計業務を実施した。 		<ul style="list-style-type: none"> ・雨水貯留管については、シールドマシンでの掘進作業を開始とともに、到達立坑の築造工事に着手。 ・下水道（雨水）函渠については、約290mの敷設を令和6年度への繰越工事で実施中。完了すれば雨水整備率は72.47%となる。 ・下水道管渠の調査・更新については、約470mの更新工事が完了。約270mの更新を令和6年度への繰越工事で実施中。 				
2024年度 進捗状況		2025年度 事業内容（案）				
<ul style="list-style-type: none"> ・雨水貯留管については、シールドマシンでの掘進作業が完了し、分水人孔の設置に着手。令和6年度末に完成予定であったが、入札不落による遅延、技術者及び資材不足、現場条件の差異に伴う工法変更により、令和8年3月末となる。 ・下水道（雨水）函渠については、約230mの敷設を令和7年度への繰越工事で実施中。完了すれば雨水整備率は72.52%となる。 ・下水道管渠の調査・更新については、約1340mの更新を令和7年度への繰越工事で実施中。 		<ul style="list-style-type: none"> ・雨水貯留管については、分水人孔5箇所の設置、管理用人孔及びマンホールポンプ室の工事並びにポンプ施設の設置などを進め完成となる。 ・下水道（雨水）函渠については、約70mの敷設を実施する。完了すれば雨水整備率は72.53%となる。 ・下水道管渠の調査・更新については、約500mの更新工事を実施する。 				

03災害に強く安全なまち

No.	事業名		担当部局		関連部局						
20	国県と連携した笹目川の水門整備やポートコースを活用した治水の推進		水安全部								
評価指標	実施項目			2022年度	2023年度	2024年度	2025年度				
国県への要望活動	県との協議実施			→							
	国との協議実施			→							
	ポートコースを活用した予備放流訓練の実施			→							
達成予定年度	達成状況										
2025年度	達成										
2022年度 進捗状況				2023年度 進捗状況							
<ul style="list-style-type: none"> ・県との協議については、年度初めに情報共有と意見交換を行ったほか、個別案件ごとの協議も随時実施した。また、県が開催した笹目川の今後の整備に関する地元説明会において、円滑に進められるよう準備段階から協力した。治水の推進や地元への丁寧な対応などを協議の場で要望した。 ・国との協議については、荒川上流河川事務所、荒川調節池工事事務所、荒川下流河川事務所とそれぞれ年度初めに情報共有と意見交換を行ったほか、9月には荒川下流河川事務所と事業連絡会を実施し、改めて意見交換と要望を行った。 ・ポートコースを活用した予備放流訓練を5月に実施した。 				<ul style="list-style-type: none"> ・県との協議については、年度初めに情報共有と意見交換を行ったほか、年間を通して、個別案件ごとの協議も随時実施した。また、笹目川の整備に関しては地元への丁寧な説明を要望しており、6月と11月に県が開催した地元説明会においては、円滑に進められるよう市としても準備段階から協力した。 ・国との協議については、荒川上流河川事務所、荒川調節池工事事務所、荒川下流河川事務所とそれぞれ年度初めに情報共有と意見交換を行ったほか、国が実施する流域治水対策プロジェクトや減災対策協議会に参加し、意見交換や要望を行った。 ・ポートコースの予備放流に関する伝達訓練を7月に実施した。 							
2024年度 進捗状況				2025年度 事業内容(案)							
<ul style="list-style-type: none"> ・国県と年度初めの情報共有・意見交換を実施し、治水の推進に向けた要望活動を継続して実施した。 ・出水に備え、ポートコースを活用した予備放流に関する覚書を4月に変更。目標水位をさらに10cm下げることで貯水容量を拡大。 ・予備放流に関する情報伝達訓練を実施した。 				<ul style="list-style-type: none"> ・国県と年間を通じて情報共有・意見交換を実施し、治水の推進に向けた要望活動を引き続き実施する。 ・出水に備え、ポートコースを活用した予備放流訓練を実施する。 ・ポートコースを活用した、さらなる貯水容量の確保のために、目標水位低下に向け、関係者と協議を実施する。 							

03災害に強く安全なまち

No.	事業名		担当部局		関連部局		
21	3D都市モデルの整備による街の立体地図化と浸水対策の推進		都市整備部		水安全部、危機管理防災課		
評価指標		実施項目		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
3D都市モデル整備による水害リスクの可視化		3D都市モデルシステム導入、水害リスク情報の可視化		→			
防災まちづくり指針の策定		オープンデータによる周知啓発			→		
		関連部局と連携した庁内検討委員会の設置・開催、浸水3Dデータの活用、指針の策定（立地適正化計画改定）		→			
達成予定年度	達成状況						
2025年度	達成						
2022年度 進捗状況				2023年度 進捗状況			
<ul style="list-style-type: none"> 建物等を3次元化した「3D都市モデル」を整備した。都市計画情報と防災情報を重ね合わせ、外水はん濫（荒川）による市内全域の水害リスクを可視化するとともに、垂直避難可能建物についても抽出、可視化することができた。 市HPや国のサイトを通じてオープンデータ化を進めた。 				<ul style="list-style-type: none"> 国のオープンデータサイトへ3D都市モデル及び水害リスク情報のデータを提供し、併せて市HPで広く周知し市民の防災意識の向上を図った。また、埼玉県GISの3D化への情報提供を行った。 3D都市モデルにより可視化した水害リスク情報を、当年度策定した立地適正化計画防災指針に反映した。 			
2024年度 進捗状況				2025年度 事業内容（案）			
<ul style="list-style-type: none"> 国のオープンデータサイトを通じた本市の3D都市モデル及び水害リスク情報を公開し、併せて市HPで周知した。 国の3D都市モデル「建物振動シミュレーションシステム」実証実験に参加した。また、本市3D都市モデルに個別事業（ユースケース）として、システム及びデータを構築した。 				<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、国のオープンデータサイトを通じた本市の3D都市モデル及び水害リスク情報を公開し、市HPで周知する。 国の3D都市モデル「建物振動シミュレーションシステム」実証実験に参加する。また、本市3D都市モデルの個別事業（ユースケース）として、機能向上のためにシステム及びデータの更新を図る。 防災フェア及びまちづくり出前講座において、想定水害シミュレーション動画を示し参加者の防災意識向上を図る。 			

03災害に強く安全なまち

No.	事業名		担当部局		関連部局				
22-1	消防東部分署の建替えと危機管理防災センター設置の検討		消防		企画財政部				
評価指標		実施項目		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度		
東部分署建替え工事実施		東部分署建替えに関する基本計画策定		➡					
		東部分署建替え基本設計実施		➡					
		東部分署建替え実施設計実施			➡				
達成予定年度	達成状況	東部分署建替え工事実施					➡		
2024年度	達成								
2022年度 進捗状況				2023年度 進捗状況					
<ul style="list-style-type: none"> 戸田市消防署東部分署を建て替えることに関し必要な調査及び検討を行うため、「東部分署建て替え準備委員会」を2022年5月に設置した。本員会で、抱える課題や要望の整理、近隣消防施設の視察などを実施し、2022年11月末に今後の設計や工事を進めるまでの基本的な考え方を定めた「戸田市消防署東部分署建て替え基本計画」を策定した。 また、本基本計画に基づき、基本的な設計の検討や概算工事費の積算などを行い、2023年3月末に「戸田市消防署東部分署建て替え基本設計」を策定した。 				<ul style="list-style-type: none"> 「戸田市消防署東部分署建て替え基本計画及び基本設計」に基づき、工事費概算内訳書の作成、実施設計図書等の作成などを実施する「戸田市消防署東部分署建て替え実施設計業務」を実施し、この実施設計に基づき予算計上を行った。 令和6年度着工予定の建て替え工事の振動等による近隣建物への影響の有無を調査するため、「家屋調査（事前調査）」を実施した。 事業概要や設計内容、工事スケジュールについて、近隣住民を対象とする説明会を7月と2月に実施した。 					
2024年度 進捗状況				2025年度 事業内容（案）					
<ul style="list-style-type: none"> 「戸田市消防署東部分署建て替え実施設計」に基づいて、車庫解体工事を実施するため、入札、議会及び契約等の事務を行った。 庁舎改築工事の入札が不調となり、事業期間の見直しを実施した。また、車庫の解体工事を進めると緊急車両の消耗が懸念され、業務に支障をきたす恐れがあることから、契約内容の変更を実施した。 庁舎改築工事については、車庫の解体工事の追加及び物価上昇見込み等を工事費に反映させ、工事費を再積算して予算額を増額し、令和7年1月に入札執行、令和7年3月に仮契約を締結した。 				<ul style="list-style-type: none"> 庁舎改築工事を計画的に実施するため、議会及び契約等の事務、工事の進捗管理を行う。 建て替え工事は、既存庁舎で業務を継続しながら敷地内に新庁舎を建設し、新庁舎の完成後に既存庁舎の解体を行う。事業期間は令和7年度から9年度まで。 令和7年7月から、既存車庫の解体工事を実施し、令和7年10月から、庁舎新築工事を開始する。 					

03災害に強く安全なまち

No.	事業名	担当部局	関連部局							
22-2	消防東部分署の建替えと危機管理防災センター設置の検討	危機管理防災課	企画財政部、総務部							
評価指標		実施項目	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度				
基本構想及び基本計画の策定		センター設置に向けた調査研究(他自治体への調査・視察等)	→							
		センター整備の基本的な考え方・役割・機能・規模の整理	→							
		センター整備基本構想及び基本計画の作成	→							
達成予定年度	達成状況									
2025年度	達成									
2022年度 進捗状況				2023年度 進捗状況						
<ul style="list-style-type: none"> 危機管理防災センターの機能等について、導入自治体の調査・研究を行った。 近隣自治体の映像情報共有システムを視察した。 				<ul style="list-style-type: none"> 危機管理防災センター及び付帯システム整備の方向性の調査・検討を行った。 デジタル技術を活用した情報整理迅速化の検討を行った。 危機管理防災センターの設置は、当面の間は施設整備ではなく機能付与で対応する方針となったことから、基本的な考え方・役割・機能・規模の整理は完了した。 						
2024年度 進捗状況				2025年度 事業内容(案)						
<ul style="list-style-type: none"> 現場からの写真・動画が送信可能な移動系無線端末を導入した。 災害対策本部と離れた拠点との災害情報を共有するための電子黒板を導入した。 機器導入後、運用方法を検討し、災害対策本部訓練にて検証を実施した。 				<ul style="list-style-type: none"> センター機能追加に伴い導入した移動系無線端末及び電子黒板の運用の確立 						

03災害に強く安全なまち

No.	事業名		担当部局		関連部局		
23	実践的な防災訓練の実施と中学生防災士の育成		危機管理防災課		教育委員会事務局		
評価指標	実施項目			2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
防災訓練メニューの拡充	防災訓練メニュー拡充に向けた調査・検討			→			
中学生防災士の増員	新たに設けた訓練内容の実践・見直し				→		
	中学生が防災士資格を取得しやすい環境の整備			→			
達成予定年度	達成状況	児童・生徒を対象とする防災教育の継続実施			→		
2025年度	達成						
2022年度 進捗状況			2023年度 進捗状況				
<ul style="list-style-type: none"> ・総合防災訓練の内容を現実に即した内容に刷新した。 ○訓練会場を避難所となる小学校へ変更 ○訓練項目を避難所の開設・運営及び感染症対策を主眼とした内容へ変更 ・次年度訓練の充実を図るため、事前避難所運営委員会を早期開催した。 ・避難所運営のシミュレーションや防災施設の稼働を通じた災害時に行動できる防災教育を実施した。 ・戸田市中学生防災士資格取得支援補助金交付要綱を制定した。 			<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練体系の見直しを実施した。 ・事前避難所運営委員会主体の避難所開設・運営訓練を実施した。 ・ブラックアウト訓練など現実に即した防災訓練を実施した。 ・AR(拡張現実)を活用した浸水被害疑似体験機会を提供した。 ・中学生社会体験チャレンジを通じた『自助・共助』に関する知識向上・体験の機会を提供了。 ・中学生防災士資格の紹介・広報・啓発を実施した。 ・中学生(保護者)への防災士資格取得費用の補助金を交付した。 				
2024年度 進捗状況			2025年度 事業内容(案)				
<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練の内容をより実践的なメニューとなるよう検討した。 ・自主防災組織連絡協議会と協議し、訓練を実践した。 ・AR(拡張現実)を活用した浸水被害疑似体験機会を提供をした。 ・中学生防災士資格の紹介及び資格取得費用の補助を実施した。 ・小中学生への『共助』に関する防災授業を実施した。 			<ul style="list-style-type: none"> ・各種防災訓練内容を見直し、内容の充実と発災後の状況を想定した訓練の実施 ・中学生の防災士資格取得支援 ・児童・生徒を対象とする防災教育の継続実施 				

03災害に強く安全なまち

No.	事業名		担当部局		関連部局	
24	福祉避難所の増設とペット同行避難支援の推進		危機管理防災課		健康福祉部、環境経済部	
評価指標	実施項目			2022年度	2023年度	2024年度
福祉避難所の増設	福祉避難所を必要とする人数の推計			→		
ペット同行避難訓練の実施	社会福祉施設等への協力依頼の継続実施			→		
	ペット同行避難訓練の実施			→		
達成予定年度	達成状況	避難所運営委員会とのペットの取り扱いに係る継続協議			→	
2025年度	達成	有識者を交えた避難所におけるペットの取り扱いに係る懇話会の実施			→	
2022年度 進捗状況			2023年度 進捗状況			
<ul style="list-style-type: none"> 荒川氾濫を想定した避難所収容能力を整理し、避難行動要支援者数に対する垂直避難可能人数を把握した。 避難行動要支援者避難支援制度リーフレットの全世帯配布を実施した。 公益社団法人埼玉県獣医師会南支部と災害時応援協定を締結した。 ペット同行避難訓練を実施した。 ペット同行避難についての指針(案)を作成した。 			<ul style="list-style-type: none"> 協定候補となる社会福祉施設を抽出した。 災害時応援協定等締結に向けた内容検討や課題整理を実施した。 ペット同行避難訓練を実施した。 事前避難所委員会にてペット同行避難の考え方や飼養スペースの確保について調整した。 有識者を交えたペット同行避難に関する連絡調整会議を設置し・協議を行ったことから、懇話会の実施は完了した。 			
2024年度 進捗状況			2025年度 事業内容(案)			
<ul style="list-style-type: none"> 福祉避難所を必要とする人数の推計を実施した。 協定候補となる社会福祉施設の抽出を実施した。 災害時応援協定等締結(社会福祉法人ぱる)により福祉避難所を1か所増設した。 ペット同行避難訓練を実施した。 事前避難所委員会にてペット同行避難の考え方や飼養スペースの確保について調整した。 			<ul style="list-style-type: none"> 福祉避難所を必要とする人数の推計 社会福祉施設等への協力依頼の継続実施 ペット同行避難訓練の実施 避難所運営委員会とのペットの取り扱いに係る継続協議 			

03災害に強く安全なまち

No.	事業名		担当部局		関連部局						
25	見守り防犯カメラやボランティアによる子ども見守り体制の構築		市民生活部、教育委員会事務局								
評価指標	実施項目			2022年度	2023年度	2024年度	2025年度				
市の見守り防犯カメラの強化	町会防犯カメラを順次移管するとともに、町会、民間事業者のパトロールを強化			→							
ボランティアによる見守り体制の強化	学校への情報提供及びシルバー人材センター等との連携			→							
達成予定年度	達成状況										
2025年度	達成										
2022年度 進捗状況				2023年度 進捗状況							
<p>・町会防犯カメラ73台の移管に向け、各町会に対する意向確認や実地調査等を実施するとともに、各種手続を行った(73台全てを移管する方向で調整)。</p> <p>・町会パトロールの随行支援を実施するとともに、自主防犯活動団体等に対する防犯講習会やパトロール用品の支給等を行い、パトロール活動の強化を図った。</p> <p>・シルバー人材センターを管理職が訪問し、通学時間帯における通学路の見守りについて学校との連携状況を確認した。なお、通学路においてボランティアによる見守り体制が難しい箇所については、業務委託による交通指導員を教育委員会が配置している。また、各学校から交通指導員の新規配置要望があつた地点については、教育委員会が直接現地を確認するなどして対応を検討した上で、安全管理上必要と考えられる地点への配置を実施するために、実施に必要な予算を計上した。</p>				<p>・町会防犯カメラ73台を移管し、適正に管理・運用するとともに、新たに移管が可能となる町会防犯カメラ18台の移管に向けた各種調査及び手続を行った。</p> <p>・引き続き、町会パトロールの随行支援、自主防犯活動団体等に対する防犯講習会、パトロール用品の支給等を行い、パトロール活動のさらなる強化を図った。</p> <p>・市内のパトロール活動(青色回転灯搭載車両、自転車等)において、市内各小中学校の周囲を巡回コースに入れて、パトロールした。</p> <p>・児童生徒登下校時の見守りボランティア実施に係る、シルバー人材センターと学校との連携について、引き続き協力を得られるよう調整を行い、学校を支援した。</p> <p>・教育委員会が業務委託により実施している、児童生徒の登下校に係る交通指導員配置事業について、対象地点の客観的なリスクを分析・把握するための「評価指標」の作成に着手した。</p>							
2024年度 進捗状況				2025年度 事業内容(案)							
<p>・町会カメラ7台の移管に向けた各種調査及び手続きを行い、町会防犯カメラ98台全ての町会防犯カメラの移管が完了した。見守り防犯カメラ4台のスポット増設を行った。</p> <p>・引き続き、町会パトロールの随行支援、自主防犯活動団体等に対する防犯講習会、パトロール用品の支給等を行い、パトロール活動のさらなる強化を図った。</p> <p>・市内のパトロール活動(青色回転灯搭載車両、自転車等)において、引き続き市内各小中学校の周囲を巡回コースに入れて、パトロールを実施した。</p> <p>・児童生徒登下校時の見守りボランティア実施に係る、シルバー人材センターと学校との連携について、引き続き協力を得られるよう、学校を支援した。</p> <p>・教育委員会が業務委託により実施している、児童生徒の登下校に係る交通指導員配置事業の対象地点について、「評価指標」を活用して客観的なリスクの分析と把握に努めた。</p>				<p>・移管手続きが完了した町会カメラ98台の適正運用に努め、さらに新たに見守り防犯カメラのスポット増設を行う。</p> <p>・引き続き、町会パトロールの随行支援、自主防犯活動団体等に対する防犯講習会、パトロール用品の支給等を行い、パトロール活動のさらなる強化を図る。</p> <p>・令和7年10月から委託警備業の青バトを日中(平日のみ)1車増車、下校時の児童に対する警戒活動を強化する。</p> <p>・児童生徒登下校時の見守りボランティア実施に係る、シルバー人材センターと学校との連携について、引き続き協力を得られるよう、学校を支援していく。</p> <p>・教育委員会が業務委託により実施している、児童生徒の登下校に係る交通指導員配置事業の対象地点について、「評価指標」を活用して客観的なリスクの分析と把握に努める。</p> <p>・歩道橋撤去に伴う大規模交差点の安全確保を図るよう、交通指導員の適正配置を図る。</p>							

03災害に強く安全なまち

No.	事業名		担当部局		関連部局		
26	特殊詐欺対策やインターネット人権侵害対策の推進		市民生活部				
評価指標	実施項目			2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
インターネット人権侵害対策に係る条例の制定	条例の制定に向けた調査、研究			→			
特殊詐欺対策の推進	インターネットによる人権侵害等に関する条例(仮)の制定			→			
	条例等を受けて、専門家等による講演会など市民が被害者・加害者にならないための教育・啓発				→		
達成予定年度	達成状況	特殊詐欺の被害に遭わないための市民等への啓発、警察等と連携した防犯講習会等の開催			→		
2025年度	達成						
2022年度 進捗状況			2023年度 進捗状況				
<ul style="list-style-type: none"> 条例制定に向け先行自治体等の調査、研究を進めた。 実務経験豊かな専門家(弁護士)に相談した。 条例設置検討委員会の立ち上げに向け準備を進め、構成委員の調整を実施した。 特殊詐欺の発生状況を地区別に分析した資料(特殊詐欺アラート)及び手口を川柳風にまとめた資料(特殊詐欺川柳)をホームページに掲載した。 警察と連携して特殊詐欺の予兆電話に関する情報をタイムリーに配信した。 防犯講習会や出前講座に埼玉県警察防犯指導班『ひまわり』を要請し、警察と連携したわかりやすい講習を実施した。 			<ul style="list-style-type: none"> 12月26日に「戸田市インターネットの誹謗中傷等の防止に関する条例」を施行した。 2月21日、新曾北小学校の5・6年生の児童と保護者を対象に、専門の弁護士によるインターネットリテラシー教育に関する講演会を開催した。 講演会の内容を市公式YouTubeで公開した。 特殊詐欺アラートを毎月更新し、ホームページに継続掲載した。 特殊詐欺川柳のポスター、クリアファイル、ステッカー等を作成し、町会掲示板への掲出やキャンペーンにて蕨警察署と連携し、配布等を行い、市民等への啓発を行った。 警察等と連携し、特殊詐欺の予兆電話に関する情報配信や講習等を継続実施した。 				
2024年度 進捗状況			2025年度 事業内容(案)				
<ul style="list-style-type: none"> インターネット上の誹謗中傷等専門法律相談を4月から毎週金曜日に実施した。 市内中学校6校で専門の弁護士によるインターネットリテラシー教育に関する講演会を開催した。 周知啓発のためチラシを作成し、関係部署及び商工会に配架した。 特殊詐欺アラートを毎月更新し、ホームページに継続掲載した。 特殊詐欺被害予防のためのポスター、クリアファイル、ステッカー等啓発品を作成し、町会掲示板への掲出やキャンペーンにて配布等を行い、市民等への啓発を実施した。 警察等と連携し、特殊詐欺の予兆電話に関する情報配信や講習等を継続実施した。 			<ul style="list-style-type: none"> 毎週金曜日にインターネット誹謗中傷等に関する専門法律相談を継続実施する。 市内中学校の生徒を対象に、専門の弁護士によるインターネットリテラシー教育に関するより実践的な講演会を実施する。 周知啓発のためのチラシを関係部署等に配布し、理解促進を図る。 特殊詐欺アラートを更新し、ホームページに継続掲載する。 特殊詐欺被害予防のためのポスター、クリアファイル、ステッカー等啓発品を作成し、町会掲示板への掲出やキャンペーンにて配布等を行い、市民等への行う。 警察等と連携し、特殊詐欺の予兆電話に関する情報配信や講習等を継続実施する。 警告アンウンス付き自動通話録音機の無料貸出事業を新たに開始し、高齢者の特殊詐欺被害減少を目指す。 				

03災害に強く安全なまち

No.	事業名		担当部局		関連部局		
27	ゾーン30増設や通学路整備などの交通安全対策の推進		都市整備部		教育委員会事務局		
評価指標	実施項目			2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
整備箇所数(第5期埼玉県通学路整備計画)(60箇所)	第5期埼玉県通学路整備計画に基づく道路施設整備(こども通学路安全対策事業)			→			
	ゾーン30対策工事(こども通学路安全対策事業)			→			
	民間企業などと連携した交通安全啓発事業				→		
達成予定年度	達成状況						
2024年度	達成						
2022年度 進捗状況				2023年度 進捗状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・第5期埼玉県通学路整備計画に基づき、23箇所で交通安全対策を実施した。 ・美女木小学校周辺20haで、ゾーン30プラスの整備を実施し、狭さくを3箇所設置した。 ・さいたま県土整備事務所管内地区の通学路安全検討委員会等関連会議に出席するとともに、関係する市内小中学校へ情報提供を実施した。 				<ul style="list-style-type: none"> ・第5期埼玉県通学路整備計画に基づき、34箇所で交通安全対策を実施した。 ・交通安全フェア2023において、民間企業と連携して、子どものための自転車教室や自転車の点検整備、ワークショップ等のイベントを開催し、交通安全に関する普及・浸透を図ることができた。 ・さいたま県土整備事務所管内地区の通学路安全検討委員会等関連会議に出席し、関係小中学校に対し必要な情報提供を行った。 			
2024年度 進捗状況				2025年度 事業内容(案)			
<ul style="list-style-type: none"> ・第5期埼玉県通学路整備計画に基づき、3箇所の交通安全対策を実施した。2022年度からの3箇年で計60箇所の対策を完了した。(計画としては2021年度から全129箇所を実施) ・交通安全フェア2024において民間企業と連携して、子どものための自転車教室や自転車の点検整備、ワークショップ等を開催し、交通安全に関する普及・浸透を図った。 ・さいたま県土整備事務所管内地区の通学路安全検討委員会等関連会議に出席し、関係小中学校に対し必要な情報提供を行った。 ・前年度に引き続き、関連会議に出席して美女木小学校長及び地元町会長と情報共有を図り、美女木小学校の保護者に必要な情報提供を行った。 				<ul style="list-style-type: none"> ・民間企業と連携し、子どものための自転車教室など交通安全PRイベントを実施する。 ・前年度に引き続き、関連会議に出席し、関係小学校の保護者に必要な情報提供を行っていく。 			

04子育て支援の充実

No.	事業名		担当部局		関連部局		
28	全妊婦への面談・産後ケアの実施と不妊治療助成の拡大		こども健やか部				
評価指標	実施項目			2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
妊婦面談率 100%	全妊婦への面談実施			→			
不妊治療自己負担額の軽減	ハイリスク妊婦の早期発見・早期支援の実施			→			
	アウトリー型の産後ケア事業の開始			→			
達成予定年度	達成状況	産後ケア事業の推進			→		
2025年度	達成	不妊治療助成事業の見直し			→		
2022年度 進捗状況				2023年度 進捗状況			
<ul style="list-style-type: none"> 妊娠届出は予約制とし、妊婦と、個別面談を実施し、妊娠経過や育児サポート状況の確認を行い相談に対応した。代理人が妊娠届出をした場合は、後日、妊婦本人と面談を実施した。 妊娠届出時の面談内容および受診先（妊婦健診）からの連絡により、ハイリスク妊婦の早期発見、早期支援を実施している。令和4年7月1日からアウトリー型の産後ケア事業を市内助産所2か所に委託し開始した。産後ケア事業の充実に向けて利用後のアンケート調査を実施した。 令和4年4月1日から、これまで治療費の助成を行ってきた基本的な不妊治療に保険が適用されたことに伴い、保険が適用されていない先進医療に係る不妊治療を助成対象とする制度の見直しを行い、不妊治療のさらなる促進を図った。 				<ul style="list-style-type: none"> 妊娠届出時の全妊婦との面談を実施した。 妊娠期から出産、産後にわたり切れ目ない支援、ハイリスク妊婦の早期発見・早期支援を実施した。 育児手技や授乳方法の獲得、産婦の休息等の支援を目的に、全ての産婦及び乳児を対象とし、令和6年度から「短期入所型（宿泊型）」及び「通所型」の産後ケア事業導入に向け、関係医療機関（産院・助産所）と調整を行った。 産後ケア事業の拡大の他、産婦のニーズに合わせた本市独自のサービスを提供するため、産後サポートプログラムの新規導入について検討を行った。 保険が適用されていない先進医療に係る不妊治療を助成対象とする制度を実施し、不妊治療の促進を図った。 			
2024年度 進捗状況				2025年度 事業内容（案）			
<ul style="list-style-type: none"> 妊娠届出時に保健師が妊婦と面談を実施し、代理人が妊娠届出をした場合は、後日、妊婦本人と面談を行った。併せて、面談した妊婦に対して、リスクアセスメントを実施し、ハイリスク妊婦の早期発見に努めた。また、9月から、「孕育てアシリとだミ」にて妊娠届出の事前申請を開始。記載時間が無くなり、面談時間の確保につながった。 妊娠届出時の面談内容や受診医療機関からの情報に基づき妊婦会議を開催し、ハイリスク妊婦等の早期発見を図った。また、ハイリスク妊婦会議にて、こども家庭相談担当と情報の共有を図りながら支援を実施することにより、ハイリスク妊婦等に対する早期支援を行った。 産後ケア事業は、全ての産婦および乳児を対象とし、「居宅訪問型」に加え、「短期入所型」と「通所型」を導入し、10事業所にて事業を委託して実施した。 保険が適用されていない先進医療に係る不妊治療を助成対象とする制度を継続して実施し、不妊治療の促進を図った。 				<ul style="list-style-type: none"> 妊娠届出時の全妊婦との面談を継続して実施する。 妊娠中から出産後に至る支援を切れ目なく行う観点から、親子保健担当だけでなく、こども家庭相談担当や他関係機関との連絡調整と連携を図り、必要な支援につなげるなど、ハイリスク妊婦及び特定妊婦の早期発見・早期支援を継続して実施する。 産後ケア事業について、「居宅訪問型」については無料化し、「宿泊型」は、1回につき2,500円、「通所型」は、1回につき2,000円に、自己負担額を減額することにより、経済的負担の軽減を図り、産後ケア事業の利用を促進することで、心身に不安を感じる産婦のサポートを強化する。また、母子が安心してサービスを利用することができるよう、事業所に対して本市「安全管理のためのガイドライン」の周知徹底を図る。 保険が適用されていない先進医療に係る不妊治療を助成対象とする制度を継続して実施し、不妊治療の促進を図る。 			

04子育て支援の充実

No.	事業名		担当部局		関連部局		
29	第3子以降の学校給食費の完全無償化(所得制限なし)の実施		教育委員会事務局				
評価指標	実施項目			2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
免除に移行するための条例等の整備	補助金に関する条例施行規則等の一部改正(令和4年4月1日施行) 補助制度の変更に関する保護者への周知及び事務の実施 給食費免除に関する条例等の一部改正(令和4年9月議会にて条例改正・令和5年4月1日施行)			➡			
達成予定年度	達成状況	免除制度に変更する保護者への周知及び事務の実施			➡		
2022年度	達成						
2022年度 進捗状況			2023年度 進捗状況				
<ul style="list-style-type: none"> 補助金に関する条例施行規則等を一部改正(令和4年4月1日施行)し、補助制度の変更について保護者へ周知するとともに事務を実施した。 ①半額補助から全額補助へ ②児童手当受給世帯対象から所得制限なしへ ③申請期間を「6月から9月まで」から「7月から11月まで」へ拡大し支給を年1回へ ・給食費免除に関する条例等の一部改正(令和4年12月議会にて条例改正・令和5年1月1日施行)をし、免除制度への変更について周知するとともに事務を実施した。 ・国の交付金を活用し、市内小・中学校に通う全児童生徒を対象に令和5年1月から3月までの給食費を免除した。 			<ul style="list-style-type: none"> 対象保護者の納付負担を軽減するため、給食費免除に関する条例等の一部改正(令和4年9月議会にて条例改正・令和5年1月1日施行)をし、補助制度から免除制度へ移行した。 ・申請期間は令和5年1月4日から令和5年3月3日まで。 ・国の交付金を活用し、食料品等の物価高騰支援として、子育て世帯の経済的な負担軽減を図るため、戸田市の全児童生徒の保護者を対象に、令和5年10月から令和6年3月までの学校給食費の無償化を実施するとともに、市内在住で戸田市以外の小中学校に通学されている児童生徒の保護者やアレルギー等により学校給食の提供を受けていない児童生徒の保護者に対しては、戸田市の学校給食費相当額を助成した。 				
2024年度 進捗状況			2025年度 事業内容(案)				
<ul style="list-style-type: none"> 第3子以降の学校給食費の免除制度について周知するとともに事務を実施した。 			<ul style="list-style-type: none"> ・第3子以降の学校給食費の免除制度について周知するとともに事務を実施する。 ・事業を拡大し、令和7年度から市内中学校に通う全生徒の学校給食費無償化を実施する。併せて、市内中学校に通う生徒のうち、アレルギー等により学校給食の提供を受けていない生徒及び市内在住で特別支援学校中学部に在籍している生徒の保護者に対し、市の学校給食費相当額を助成する。 ・小学校の学校給食費無償化について、現在、国が令和8年度の実施に向けて検討中であることから、国の動向を注視していく。 				

04子育て支援の充実

No.	事業名		担当部局		関連部局						
30	「待機児童ゼロ」継続に向けた保育園と学童保育のさらなる充実		こども健やか部								
評価指標		実施項目		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度				
保育園の待機児童数0人		保育利用状況の動向を注視し、保育園の入所定員の見直し		→							
学童保育室の定員拡大		研修の充実や巡回指導等による保育の質の向上		→							
		新曾小第3学童保育室の新築		→							
達成予定年度	達成状況	戸田第一小学校の第一学童保育室の建替え				→					
2025年度	一部達成	芦原小に民間学童保育室の誘致		→							
2022年度 進捗状況				2023年度 進捗状況							
<ul style="list-style-type: none"> 保育園の入所状況等を把握して入所定員の見直しを行い、令和4年4月1日現在で待機児童数0人を達成した。 市内保育施設に勤務する保育士等に対して、各種研修会（安全管理、保健衛生、虐待 等）を開催して参加していくとき、保育士の資質の向上に努めた。また、専門職（保育士、看護師）による保育施設の巡回指導を定期的に実施し、安全管理や衛生面等の改善指導等を行った。 研修会については、コロナ禍ということもありwebによる研修を実施したところ、これまで人員配置等の都合で参加出来なかった保育士が研修会に参加することが出来た。 新曾小学校第3学童保育室については定員を拡大して新築し、待機児童の出でた芦原小学校付近には民間学童保育室を誘致した。 学童保育室では特別な配慮を要する児童への保育内容を改善するため、巡回支援や講座を実施した。また、指導員等に対し、おやつの質向上を目指す講座等を実施した。 				<ul style="list-style-type: none"> 保育園の入所状況等を把握して入所定員の見直しを行い、前年度に続き、令和5年4月1日現在で待機児童数0人を達成した。 市内の民間保育施設の保育士にも、各種研修会（安全管理、保健衛生、虐待 等）に参加していくことと、公立のほか民間保育施設の保育士の資質の向上に努めた。また、専門職（保育士、看護師）による保育施設の巡回指導を定期的に実施し、安全管理や衛生面等の改善指導等を行った。 研修会については、感染症等の感染状況を見ながら対面で9回開催し、公立保育園と民間保育園との情報交換、情報共有を行い、他園での良い取組を各園で取り組んだ。また、コロナ禍の経験を活かしwebによる参加も継続することで、人員配置等の都合で参加出来なかつた保育士にも参加の機会を設けた。 学童保育室の1人当たりのおやつの予算額を引き上げ、おやつの質の向上を図った。 公立学童保育室の慢性的な人材不足の解消及び民間ノウハウの活用を目的とし、特に人材確保が困難な美谷本小学校学童保育室の保育業務を委託するため、業者選定（プロポーザル）を行い、令和6年3月に並行稼働を行った。 特性のある児童への接し方について、公認心理師・臨床心理士の資格を有するアドバイザーに、年間を通して指導方法等を学び、指導員・補助員の質向上を図った。 児童の入退室を保護者へ知らせる入退室管理システムを導入するなどICT化を進め、保護者及び現場スタッフの利便性の向上を図った。 							
2024年度 進捗状況				2025年度 事業内容（案）							
<ul style="list-style-type: none"> 保育園の入所状況等の動向を把握して入所定員の見直しを行い、令和6年4月1日現在、3年連続待機児童数0人を達成した。 令和6年度に立ち上げた公民連携のプラットフォームでは、実際に、保育現場で困っていることや今後の課題解決に必要な取組などをテーマに、実効性のある事業を展開するための検討を始めた。 プラットフォームでは、現場の保育士が知りたい、聞きたい、学びたいことを中心に研修内容を見直すとともに、より多くの保育士が研修に参加するため、参加方法についても見直すことで、市内の保育士の資質の向上に向けた取組を進めた。 働きたい保育園を増やすため、専門職（保育士、看護師）による保育施設の定期的な巡回指導を継続し、安全管理や衛生面等の改善指導等を行った。 公立学童保育室においては、戸田第一小学校第1学童保育室の建て替え及び芦原小学校第2学童保育室の新設を行い、令和7年度からの定員は55名となる。 美谷本小学校学童保育室の保育業務の委託が本稼働し、人材不足の解消及び民間事業者のノウハウの活用につながった。 夏休み期間中、需要の高い学童保育室の補完として、とだっこサマークラブを実施した。 				<ul style="list-style-type: none"> 引き続き保育園の入所状況等の動向を把握して入所定員の見直しを行い、待機児童数0人を継続していく。 令和6年度に立ち上げた公民連携のプラットフォームで検討した、保育現場で困っていることや今後の課題の解決に必要な取組など、実効性のある事業を展開するため、アクションプランを策定し、市内保育施設の保育の質・魅力向上を図り、選ばれる園を増やす。 プラットフォームで検討した、現場の保育士が知りたい、聞きたい、学びたいことを中心とした研修を、より多くの保育士が参加しやすいように参加方法を工夫し実施することで、市内の保育士の資質の向上を図る。 専門職（保育士、看護師）による保育施設の定期的な巡回指導を継続し、安全管理や衛生面等の改善指導等を行い、働きたい保育園を増やす。 民間学童保育室に対し、施設借り上げ料の増額、キャリアアップ待遇改善及び医療的ケア児受け入れに関する補助金の拡充を行う。 各小学校及び美女木小学校の学童保育室の保育業務を民間事業者に委託し、人材不足の解消を行いつつ、民間事業者のノウハウを他の公立学童保育室へ水平展開する。令和8年度の本稼働に向け、令和7年度中に並行稼働を行い、スムーズな移行を目指す。 特に配慮を要する児童への保育について、巡回支援アドバイザーが継続的な現場指導を行い、全体研修会を実施する。 特に配慮を要する児童の保育への理解を深めるための研修を指導員が受講する。 							

04子育て支援の充実

No.	事業名		担当部局		関連部局		
31 地域で子育て支援を推進する条例の制定と施策の推進	こども健やか部			市民生活部、健康福祉部、教育委員会事務局			
評価指標	実施項目			2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
地域で子育て支援を推進する条例の制定	条例の制定に向けた調査、研究			→			
	地域で子育て支援を推進する条例の制定			→			
	条例に基づく、施策の推進				→		
達成予定年度	達成状況						
2023年度	達成						
2022年度 進捗状況				2023年度 進捗状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・子ども家庭庁の取組や子ども基本法等について、調査及び研究を実施した。 ・関係部局や関係団体による助言会議を実施し、専門家からの助言をいただくとともに、条例の制定に向けて、各部局との連携の確認を行った。 ・条例の素案を作成し、戸田市児童福祉審議会への諮問を行った。 				<ul style="list-style-type: none"> ・戸田市児童福祉審議会での審議や、専門家の助言の下、条例案の作成を行うとともに、子どもなどの意見も聴きつつ、パブリックコメントを実施し、令和6年4月1日の施行に向けて条例を制定した。 児童福祉審議会での審議、答申（5月～11月） ●関係機関との協議、説明、役割等調整（地域、学校、企業、社協等） ●子どもの意見聴取、アンケート等の実施 ●パブリックコメントの実施（11月） ●条例の制定（3月） 			
2024年度 進捗状況				2025年度 事業内容（案）			
<ul style="list-style-type: none"> ・戸田市地域で子育て支援を推進する条例の内容を各世代別にわかりやすく説明したリーフレットを作成し、公共施設等において、配布する。（5月） ・子ども施策についての庁内照会（8月） ・戸子連と連携し開催した「戸田こども未来会議」において、子どもの意見聴取（7月）※翌年度、子どもの意見反映状況をフィードバック ・インターネットを活用した子ども版パブリックコメントの実施（9月） ・子ども版パブリックコメントの結果を各部局へフィードバック（1月） ・子ども版パブリックコメントの結果・意見反映状況をフィードバック（2月） 				<ul style="list-style-type: none"> ・戸田市児童福祉審議会条例の一部改正（戸田市こども・子育て会議へ改組、10/1施行） ・戸子連と連携し開催した「こども・わかもの意見ミーティング」において、子どもの意見聴取（9月） ・子ども施策についての庁内照会（7月） ・戸田市こども・子育て会議委嘱（10/1） ・インターネットを活用した「こども・わかもの意見ポスト」の実施（8月～9月） ・子ども版パブリックコメントの結果を各部局へフィードバック（10月） ・戸田市こども・子育て会議開催（10月・3月） ・子ども版パブリックコメント「こども・わかもの意見ポスト及びこども・わかもの意見ミーティング」の結果・意見反映状況をフィードバック（3月） 			

04子育て支援の充実

No.	事業名		担当部局		関連部局						
32	子ども食堂等の居場所づくり支援を全小学校区で推進		こども健やか部		市民生活部、健康福祉部、教育委員会事務局						
評価指標	実施項目			2022年度	2023年度	2024年度	2025年度				
地域における新たな居場所の創出	市民団体への支援等による新たな居場所の創出			→							
子どもの居場所ネットワークの構築	子どもの居場所に関わる団体、関係機関等をつなぐネットワークの構築			→							
子どもの居場所の見える化	子どもの居場所サイトの開設と情報発信の推進			→							
達成予定年度	達成状況										
2024年度	達成										
2022年度 進捗状況			2023年度 進捗状況								
<ul style="list-style-type: none"> 子どもの居場所づくりセミナーや交流会を3回開催し、活動の担い手の増加を図るとともに、ネットワークの構築に向けて、関係団体との調整を行った。 既存の子育て支援団体への活動支援として、食料品等の提供を行った。 子どもの居場所サイトの構築に向けて、関係機関との調整を行った。 			<ul style="list-style-type: none"> 子どもの居場所づくりセミナーや交流会の開催により、関心がある人と活動している人がつながる機会を提供するとともに、活動の担い手の増加を図った。 社会福祉協議会と連携し、関係機関との調整を行い、ネットワークの構築を行った。 子どもの居場所サイトを構築し、情報発信の強化を行った。 子どもの居場所のロゴの作成や啓発物の作成を行った。 								
2024年度 進捗状況			2025年度 事業内容(案)								
<ul style="list-style-type: none"> 子どもの居場所ロゴマークの啓発品の配付(4月) 子どもの居場所ネットワーク運営会議の開催(6月、11月、2月) テーマ性を持った子どもの居場所セミナーの開催(10月～12月) 子どもの居場所サイト、マップの拡充、ネットワークの運営支援を通して、団体の活動状況を周知し、新たな居場所の創出を図る。(4月～3月) 埼玉県スーパー・シティプロジェクトモデル事業による新たな子ども支援活動拠点の整備(10月～3月) 			<ul style="list-style-type: none"> 新小1の児童へ子どもの居場所ロゴマーク(キーホルダー)の啓発品の配付(7月) テーマ性を持った子どもの居場所ネットワーク運営会議の開催(7月、2月) ネットワークの運営支援を通して、新たな居場所の創出を図る。(4月～3月) 子どもの居場所サイト、マップの拡充(4月～3月) 子育て支援情報をわかりやすく集約した「次世代応援ポータルサイトTocoToco」を構築し、市民のニーズに応える情報を分かりやすく提供(11月) 								

04子育て支援の充実

No.	事業名		担当部局		関連部局		
33	ヤングケアラーの支援を推進する条例の制定と施策の推進		健康福祉部		こども健やか部、教育委員会事務局		
評価指標	実施項目			2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
ヤングケアラーの支援を推進する条例の制定	ヤングケアラーの支援を推進する条例の制定			➡			
	支援が必要なヤングケアラーをいち早く把握できる機関の設置			➡			
	ヤングケアラーやその親への支援及び各関係機関との連携強化			➡			
達成予定年度	達成状況	条例に基づくヤングケアラーの支援を推進する施策の実施			➡	➡	➡
2022年度	達成						
2022年度 進捗状況			2023年度 進捗状況				
・戸田市福祉施策審議会の審議を経て、11月にパブリック・コメントを実施した「戸田市ケアラー支援条例」が3月議会で可決され、ヤングケアラーを含むケアラーを支援するための条例として制定することができた。			・戸田市ケアラー支援条例に基づくケアラー支援調整連絡会を立ち上げ、関係各課及び戸田市社会福祉協議会によるケアラー、ヤングケアラー支援施策に関する情報共有や多機関で連携した事例報告等を行った。 ・ケアラー、ヤングケアラーが利用できる支援の一覧表をHPに掲載した。 ・ケアラー支援の啓発を行うためポスターを作成して、公共施設、学校、町会等へ掲示の依頼を行った。 ・11月のケアラー支援月間にあわせ、専門家を講師に招きケアラー研修会を実施した。 ・4月からこども家庭センターを設置し、一体的な相談支援を行う体制を確立した。 ・こども家庭センターにヤングケアラーコーディネーターを配置し、関係機関と連携を図り、ヤングケアラーや家族への支援を行った。				
2024年度 進捗状況			2025年度 事業内容(案)				
・こども家庭センターが本格稼働し、要保護児童対策地域協議会の実務者会議にて、ヤングケアラーの支援の方針等の検討を行った。 ・11月のケアラー月間に、広報にて支援が必要なヤングケアラーについて記事を掲載し、市内保育園・幼稚園、小中学校にポスター掲示を依頼して周知啓発を行った。 ・こども家庭センターに配置されたヤングケアラーコーディネーターが、学校訪問を行って連携を図り、ヤングケアラーの発見や家族への支援を行った。 ・ケアラー支援調整連絡会において、関係各課及び社会福祉協議会と連携してケアラー支援施策に関する情報共有を行った。 ・専門家による研修会に参加して、ケアラー支援の理解や普及啓発を図った。			・引き続き、こども家庭センターを中心として、要保護児童対策地域協議会の実務者会議を実施し、ヤングケアラーの支援の方針等の検討を行っていく。 ・11月のケアラー月間に、広報にて支援が必要なヤングケアラーについて記事を掲載し、市内保育園・幼稚園、小中学校にポスター掲示を依頼して周知啓発を行っていく。 ・こども家庭センターに配置されたヤングケアラーコーディネーターが、学校訪問をとおして連携を図り、ヤングケアラーの発見や家族への支援を行っていく。 ・ケアラー支援調整連絡会において、関係各課及び社会福祉協議会と連携してケアラー支援施策に関する情報共有を行っていく。 ・専門家による研修会に参加して、ケアラー支援の理解や普及啓発を図っていく。				

04子育て支援の充実

No.	事業名		担当部局		関連部局		
34	ひとり親家庭が養育費を確実に受け取れる保証料補助制度の創設		こども健やか部				
評価指標	実施項目			2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
養育費の保証促進補助金交付の実施	ひとり親家庭が養育費を確実に受け取るための、保証会社への保証料の補助			➡			
	養育費の保証促進補助制度を広報・ホームページ等での周知・啓発			➡			
達成予定年度	達成状況						
2022年度	達成						
2022年度 進捗状況				2023年度 進捗状況			
<ul style="list-style-type: none"> ひとり親家庭が養育費を確実に受け取るための、保証会社への保証料の補助を開始した。 養育費の保証促進補助制度を広報・ホームページ等での周知・啓発した。 				<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、養育費の保証促進補助制度を広報・ホームページ等での周知・啓発を実施した。 			
2024年度 進捗状況				2025年度 事業内容(案)			
<ul style="list-style-type: none"> 養育費の保証促進補助制度を広報・ホームページ等での周知・啓発を実施した。 公正証書等作成促進補助金の給付を開始し、申請を受け補助金の給付を行った。 まちづくり出前講座の新メニューとして【離婚前後及びひとり親家庭等への支援】を追加した。実績はないが引き続き周知を図った。 				<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、養育費の保証促進補助制度を広報・ホームページ等での周知・啓発を実施していく。 公正証書等作成促進補助金の給付を実施していく。 まちづくり出前講座の新メニューとして【離婚前後及びひとり親家庭等への支援】を追加。市民の要望に合わせて講座を開催していく。 			

04子育て支援の充実

No.	事業名		担当部局		関連部局		
35-1	医療的ケアが必要な子どもに対応できる保育・教育環境の整備		こども健やか部				
評価指標	実施項目			2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
医療的ケア児の受け入れの継続	保育施設において、医療的ケア児を受け入れ出来る体制整備の推進			→			
達成予定年度	達成状況						
2025年度	達成						
2022年度 進捗状況				2023年度 進捗状況			
<ul style="list-style-type: none"> 市内公立保育園1園において医療的ケア児1名を受け入れ、看護師による医療的ケアを日常的に実施し、子どもが安全かつ安心して保育園で生活できる環境等を整備することが出来た。 看護師及び保育士が保護者と定期的に面談を実施し、お子さんの状況に合わせた適切なケアを実施した。 看護師及び保育士が医療的ケア児に関する研修を受け、支援に対する資質の向上及び情報共有を図った。 				<ul style="list-style-type: none"> 昨年度から市内公立保育園1園における医療的ケア児1名の受け入れを継続し、新たに小規模保育施設においても1名を受入れ、看護師による医療的ケアを日常的に実施し、子どもは安全かつ安心して保育園で生活できた。 看護師及び保育士は、保護者と定期的に面談を実施し、お子さんの状況に合わせた適切なケアを実施するとともに、医療的ケア児に関する研修を受け、支援に対する資質の向上及び情報共有を図った。 実際に医療的ケア児を受け入れた経験から、より現場に即した実効性のあるガイドラインに改訂し、受け入れ体制の充実を図った。 			
2024年度 進捗状況				2025年度 事業内容(案)			
<ul style="list-style-type: none"> 公立保育園1園における在園中の医療的ケア児1名の支援を継続し、新たに医療的ケア児を1名受け入れた。看護師による医療的ケアを日常的に実施し、子どもは安全かつ安心した保育園生活ができた。 看護師及び保育士は、保護者と定期的に面談を実施し、お子さんの状況に合わせた適切なケアを実施するとともに、医療的ケア児に関する研修を受け、支援に対する資質の向上及び情報共有を図った。 				<ul style="list-style-type: none"> 医療的ケア児への支援を継続的に行い、新たに医療的ケア児を受け入れる保育施設に対して体制整備等の支援を行う。 新たな医療的ケア児の受け入れに向け、保育施設に対して医療的ケア児に関する情報提供のほか、研修会の開催等受け入れ施設の拡大に努める。 			

04子育て支援の充実

No.	事業名		担当部局		関連部局						
35-2	医療的ケアが必要な子どもに対応できる保育・教育環境の整備		教育委員会事務局								
評価指標	実施項目			2022年度	2023年度	2024年度	2025年度				
対象学校のバリアフリー対応	学校のバリアフリー対応			→							
	学校施設において、医療的ケア児を受け入れる体制整備の調査研究			→							
達成予定年度	達成状況										
2025年度	達成										
2022年度 進捗状況				2023年度 進捗状況							
<ul style="list-style-type: none"> ・国の整備目標に基づき、学校のバリアフリー改修における設計業務委託の仕様を固め、予算化した。 ・戸田市立小中学校に通学する医療的ケア児の在籍はなかった。 				<ul style="list-style-type: none"> ・小学校9校、中学校6校のバリアフリー改修に係る設計を実施した。(バリアフリー整備済みの戸田第一小学校、戸田東小学校、芦原小学校を除く全小中学校) ・学校における医療的ケア児受け入れのためのガイドライン作成に向け、他市町のガイドラインに関する情報を収集した。 ・看護師等の専門職を配置すべく予算措置並びに人員措置、受け入れ実施体制を検討した。 							
2024年度 進捗状況				2025年度 事業内容(案)							
<ul style="list-style-type: none"> ・喜沢中学校、新曽中学校、笹目中学校のバリアフリー改修工事を実施した。 ・市内在住の医療的ケア児について、園訪問等を通して、健康状態等実態把握を行った。 ・戸田市内小・中学校への就学を見据え、学校における医療的ケア児受け入れのためのガイドラインを作成した。 ・関係部局と連携し、医療的ケア児の受け入れ体制整備を検討した。 				<ul style="list-style-type: none"> ・小学校9校、中学校3校のバリアフリー改修工事を実施する。(バリアフリー整備済みの戸田第一小学校、戸田東小学校、芦原小学校、喜沢中学校、新曽中学校、笹目中学校を除く全小中学校) ・市内在住の医療的ケア児について、健康状態等実態把握を行う。 ・関係部局と連携し、医療的ケア児の受け入れ体制整備を推進する。 							

04子育て支援の充実

No.	事業名		担当部局		関連部局		
36-1	総合的な児童虐待対策の推進と配偶者暴力相談支援センターの設置		こども健やか部				
評価指標	実施項目			2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
児童虐待防止対策の推進	「こども家庭センター（仮称）」の設置による子育て世帯への包括的・一体的な支援の推進						➡
こども家庭センター（仮称）の設置	統括支援員、ヤングケアラーコーディネーター等の配置による体制強化						➡
	学校訪問、保育園訪問等による各関係機関との連携強化						➡
達成予定年度	達成状況	迅速な児童虐待通告対応、要保護児童対策地域協議会の運営					➡
2025年度	達成						
2022年度 進捗状況			2023年度 進捗状況				
<ul style="list-style-type: none"> ・統括支援員、ヤングケアラーコーディネーター等の配置のための人員要望・予算要望を実施した。 ・学校訪問、保育園訪問等を実施する中で、支援を必要とする子どもに関する情報共有を行うなど、各関係機関と連携を強化した。 ・迅速な児童虐待通告対応、要保護児童対策地域協議会の運営を実施した。 			<ul style="list-style-type: none"> ・「こども家庭センター」を設置し、子育て世帯への包括的・一体的な支援を推進した。 ・統括支援員、ヤングケアラーコーディネーター、スーパーバイザー等の配置による体制強化を図った。 ・学校訪問、保育園訪問等による各関係機関との連携を強化した。 ・迅速な児童虐待通告対応、要保護児童対策地域協議会の運営を実施した。 ・要保護児童対策協議会代表者会議にて、ヤングケアラー支援の講演会を実施した。 ・ケアラー支援調整連絡会にて、ヤングケアラーのケース検討を行った。 				
2024年度 進捗状況			2025年度 事業内容（案）				
<ul style="list-style-type: none"> ・こども家庭センターが本格稼働し、合同ケース会議した。母子保健部門と児童福祉部門の連携を強化するために、支援方針等を共同で検討した。 ・学校訪問（年2回）、保育園訪問（年1回）等を実施し、児童虐待対応に関する周知と困難ケースに関する情報共有を行った。 ・サポートプランの作成（9月～）、ペアレントトレーニング（10月～1月）、子育て世帯訪問支援事業を実施し、支援体制の強化を図った。 ・要保護児童対策地域協議会代表者会議（7月）にて、児童虐待の共通認識、講演会をとおして関係機関の連携の必要性を周知した。 			<ul style="list-style-type: none"> ・こども家庭センターにて合同ケース会議の開催など母子保健部門と児童福祉部門の連携を強化し、切れ目ない支援の推進を図っていく。 ・学校訪問（年3回）、保育園訪問（年1回）等を実施し、児童虐待対応に関する周知と困難ケースに関する情報共有を行っていく。 ・サポートプランの作成、ペアレントトレーニング、子育て世帯訪問支援事業の実施などにより、支援体制の強化を図っていく。 ・要保護児童対策地域協議会代表者会議にて、講演会をとおして児童虐待対応について共通認識を図るとともに、関係機関の連携の必要性を周知していく。 				

04子育て支援の充実

No.	事業名		担当部局		関連部局		
36-2	総合的な児童虐待対策の推進と配偶者暴力相談支援センターの設置		市民生活部				
評価指標	実施項目			2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
配偶センターの設置	関係機関と連携し、配偶センターの機能を最大限生かした対応の実施			➡			
	配偶センターのスキル向上と周知を図るとともに、庁内連携の強化			➡			
達成予定年度	達成状況						
2022年度	達成						
2022年度 進捗状況				2023年度 進捗状況			
<ul style="list-style-type: none"> 配偶者暴力を受けた被害者が相談しやすい環境や迅速な支援を行う体制を整備した。 配偶者暴力相談支援センターについて広報戸田市やホームページに掲載したほか、名刺サイズのカード型チラシを庁内トイレや公共施設等に配架し周知した。 犯罪被害者等支援庁内会議を開催し、DV被害者支援における各課の役割分担や連携体制を確認した。 児童虐待対応ネットワークである要保護児童対策地域協議会の実務者会議に参加した。 				<ul style="list-style-type: none"> 相談または相談機関の紹介、被害者及び同伴者の安全確保、被害者の自立生活促進のための情報提供、そのほかの援助等を行い、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護を図った。 困難な問題を抱える女性への支援に関する法律(令和6年4月1日施行)、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律の一部を改正する法律(令和6年4月1日施行)について国の動向を注視するとともに、情報収集を行った。 犯罪被害者等支援庁内会議を開催し、DV被害者支援対応マニュアルの見直しを実施した。 			
2024年度 進捗状況				2025年度 事業内容(案)			
<ul style="list-style-type: none"> 相談または相談機関の紹介、被害者及び同伴者の安全確保、被害者の自立生活促進のための情報提供、そのほかの援助等を行い、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護を図った。 困難な問題を抱える女性への支援に関する法律(令和6年4月1日施行)、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律の一部を改正する法律(令和6年4月1日施行)について市ホームページにて周知するとともに、市LINE公式アカウントによる情報発信を行った。 犯罪被害者支援庁内会議を開催し、DV被害者支援対応マニュアルの見直しを実施した。また情報共有と共通認識を深め連携体制を強化した。 				<ul style="list-style-type: none"> 相談または相談機関の紹介、被害者及び同伴者の安全確保、被害者の自立生活促進のための情報提供、そのほかの援助等を行い、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護を図る。 犯罪被害者支援庁内会議を活用し、DV被害者支援における関連各課の役割分担や連携体制の再確認を行うとともに、関連法案や具体的事例などの情報共有と共通認識を深め、対応力の強化を図る。 			

05誰一人取り残さない教育

No.	事業名		担当部局		関連部局		
37	児童生徒の発達段階を踏まえた個別最適で協働的学びの推進		教育委員会事務局				
評価指標	実施項目			2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
誰一人取り残されないための授業改善	産官学と連携した一人一台貸与タブレットPCやICT等を効果的に活用する多様な教職員研修の実施			→			
達成予定年度	達成状況						
2025年度	達成						
2022年度 進捗状況				2023年度 進捗状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・戸田市SEEPプロジェクトや戸田型オルタナティブ・プランを実現するため、Google、Intel等のEdTech企業をはじめ、大学、NPO法人など多様な事業者と連携した教職員研修（夏季専門研修7研修122名参加）、その他多数実施した。 ・また、各学校の校内研修に全国の第一線で活躍する講師を派遣した。 				<ul style="list-style-type: none"> ・2022年度の研修をブラッシュアップし、夏季専門研修、教科等指導法研修会を加えて実施した。（夏季専門研修182名、教科等指導法研修229名参加）あわせて、各学校の校内研修へ産官学と連携した講師派遣を行った。 ・新たにリーディングスキルテストを全校実施し、結果を個票にして各校に配付し、指導の参考とした。リーディングスキルテストを活用した授業改善に向けた研修会等を実施した。 			
2024年度 進捗状況				2025年度 事業内容（案）			
<ul style="list-style-type: none"> ・市内各校の実態やニーズをもとに、これまでの研修をさらに充実させるとともに、各学校の校内研修へ産官学と連携した講師派遣を行った。 ・誰一人取り残されない教育の実現に向け、教員を対象とした研修や会計年度任用職員を対象とした研修を実施した。 ・全小・中学校でリーディングスキルテストを実施し、その結果を活用した授業改善に向け、年2回の研修会を実施した。 				<ul style="list-style-type: none"> ・市内各校の実態やニーズをもとに、これまでの研修をさらに充実させるとともに、引き続き各学校の校内研修へ産官学と連携した講師派遣を行う。 ・誰一人取り残されない教育の実現に向け、教員を対象とした授業づくりを中心とした研修会に加えて、会計年度任用職員の研修を充実させることで、チーム学校として児童生徒一人ひとりに目を向けることができるようとする。 ・全小・中学校でリーディングスキルテストやWEBQUを実施し、その結果を活用した授業改善や学級づくりに向けた研修会を実施する。 			

05誰一人取り残さない教育

No.	事業名		担当部局		関連部局						
38	自然体験活動等の充実と豊かな人間性や生きる力を育む教育の推進		教育委員会事務局								
評価指標	実施項目			2022年度	2023年度	2024年度	2025年度				
校外学習等の実施状況	多様な自然体験活動を通したSDGsの目標達成の一助となる探究的な学びの推進			→							
彩湖自然学習センター（彩湖含む）の活用状況	彩湖自然学習センターを活用した理科教育を主とする自然体験活動の充実			→							
彩湖自然学習センターサイエンスサポートプログラムの充実	彩湖自然学習センター活用検討委員会を通じ、学校と連携した、更なるプログラムの充実			→							
達成予定年度	達成状況										
2025年度	達成										
2022年度 進捗状況				2023年度 進捗状況							
<ul style="list-style-type: none"> 彩湖自然学習センターにて、周辺の自然を活用したセンター授業を市内全小学校の3年生全クラスを対象に3年ぶりに実施した。 彩湖自然学習センター活用検討委員会を年間3回実施し、サイエンスサポートプログラムを学校がより利用しやすい形のプログラムの改訂を実施した。 				<ul style="list-style-type: none"> 彩湖自然学習センターにて、周辺の自然を活用した小学校3年生センター授業を市内全小学校全クラスを対象に実施した。 彩湖自然学習センター活用検討委員会で検討したプログラムをもとに、出張授業形式等、様々な形のサイエンスサポートプログラムを実施した。 							
2024年度 進捗状況				2025年度 事業内容（案）							
<ul style="list-style-type: none"> 彩湖自然学習センターにて、周辺の自然を活用した小学校3年生センター授業を市内全小学校全クラスを対象に実施した。 彩湖自然学習センター活用検討委員会で検討したプログラムをもとに、学校全体への周知と連携を図りながら、出張授業において幅広い学年でのサイエンスサポートプログラムを実施した。 				<ul style="list-style-type: none"> 彩湖自然学習センターにて、周辺の自然を活用した小学校3年生センター授業を市内全小学校全クラスを対象に実施する。 彩湖自然学習センター活用検討委員会で検討した学校への周知と連携を図りながら、様々な形でのサイエンスサポートプログラムを実施する。 							

05誰一人取り残さない教育

No.	事業名		担当部局		関連部局					
39	STEAM教育やPBL・教育データの利活用等による教育改革		教育委員会事務局		企画財政部・こども健やか部					
評価指標		実施項目		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度			
PBL(課題解決型学習)の推進		PBLやプレゼンテーション大会に関する教職員研修の充実			→					
教育データ利活用の推進		教育総合データベースの構築			→					
		教育総合データベースの充実			→					
達成予定年度	達成状況									
2025年度	達成									
2022年度 進捗状況				2023年度 進捗状況						
<ul style="list-style-type: none"> 令和4年4月27日にプレゼンテーション研修を開催し、18校27名が参加。プレゼンのポイント、大会の概要、ルーブリック等の説明、指導方法等の協議を行った。 令和4年8月4日にPBL研修を開催し、18校20名が参加。戸田型PBLの概要、小・中学校の実践報告の後、簡易的なプロジェクト作成ワークを実施した。 教育総合データベースのシステム構築、データ分析による不登校予測モデル構築と要因分析を行った。 学校と協力してプッシュ型支援の試行を行った。 学校カルテを用いた学校へのフィードバックやアンケート調査を行い、学校におけるデータ利活用の課題を把握した。 				<ul style="list-style-type: none"> 令和5年4月にプレゼンテーション研修を開催し、24名が参加。前年度プレゼン大会の反省を踏まえて、さらなるルーブリックの理解や活用を図った。 令和5年10月にPBL研修を開催し、前年度PBLの実践事例や反省点を踏まえて、PBLの理解を深めることを目的に授業研究会を実施した。 教育総合データベースのシステム構築を行い、学校現場での活用・実践を進めながら課題の洗い出しを行った。 学校と協力してプッシュ型支援の試行を行った。 学校カルテを用いた学校へのフィードバックやアンケート調査を行い、学校におけるデータ利活用の課題を把握した。 						
2024年度 進捗状況				2025年度 事業内容(案)						
<ul style="list-style-type: none"> 令和6年4月に「プレゼンテーション研修」を開催し、小中学校教員23名が参加した。PBLの進め方やプレゼンの作成、ルーブリックの活用について等、指導のポイントについて理解を深めた。 令和6年夏に「PBL研修」を初級・中級と2回開催し、小中学校教員43名が参加した。PBLについて深い知見を持つ講師を招聘し、単元構成や具体的な実践について御指導いただいた。 令和6年12月と2月に「インテル Skills for Innovation研修会」を開催した。小中学校教員25名が参加し、テクノロジーを活用したPBLの実践を持ち寄り、協議した。インテルからの指導者を招聘し御指導いただいた。 教育総合データベースに学校のニーズを加え、学校現場でのダッシュボードの運用をさらに推進した。活用・実践を進めながら課題の洗い出しを行った。 				<ul style="list-style-type: none"> これまで実施してきているPBLやプレゼンテーション大会に関する教職員研修をより一層充実する。 「インテル Skills for Innovation研修会」を引き続き実施し、創造性とリーダーシップを発揮し、新しい教育モデルを推進するための人材育成を推進する。 教育総合データベースについて、教職員による普段使いを促進するために、改良を実施する。 データの利活用を前提とした学校における業務の見直しについて検討を行う。 						

05誰一人取り残さない教育

No.	事業名		担当部局		関連部局		
40	教育ニーズに対応した学校増改築の着実な実施		教育委員会事務局		企画財政部		
評価指標	実施項目			2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
増改築工事に伴う新校舎の完成		戸田第一小学校改築工事の実施			→		
		新曾小学校増築等工事の実施			→		
		芦原小学校増築工事の実施			→		
達成予定年度	達成状況	戸田南小学校増築工事設計業務及び工事の実施			→		
2025年度	達成						
2022年度 進捗状況				2023年度 進捗状況			
<ul style="list-style-type: none"> 戸田第一小学校改築工事については、西側校舎が完成した。 新曾小学校増築等工事については、給食調理場及び増築校舎が完成した。 芦原小学校増築工事については、入札不調により着工が後ろ倒しになったが、速やかに工事費用の再積算業務を行い、再度、入札を実施し、落札業者が決定した。 戸田南小学校増築工事設計業務については、児童増対応だけでなく、単独校調理場の設置、プールの民間活用による既存プールの解体や図書室の移設によるプレハブ校舎の解体を行うことによって校庭を可能な限り広く残すことをコンセプトとした基本計画を策定し、基本設計を行った。 				<ul style="list-style-type: none"> 戸田第一小学校改築工事については、東側校舎の解体、建築を行った。 新曾小学校増築等工事については、現北校舎を解体し、管理教室棟の建築に着手した。 芦原小学校増築工事については、議決後、契約を締結し、教室棟の増築に着手した。 戸田南小学校増築工事設計業務については、基本計画、基本設計に基づいて実施設計を行った。また、2024年度の着工に向けて工事費を予算化した。さらに、増築工事に先駆けてプールの解体工事に着手、完了した。 			
2024年度 進捗状況				2025年度 事業内容(案)			
<ul style="list-style-type: none"> 戸田第一小学校改築工事については、旧体育館等の解体、グラウンドの整備を行った。 新曾小学校増築等工事については、管理教室棟が完成し、新校舎全てが完成した。 芦原小学校増築工事については、新校舎である教室棟が完成した。 戸田南小学校増築工事については、入札中止により着工が後ろ倒しになったが、工事費用の再積算業務を行い、再度、入札を実施し、落札業者が決定した。 				<ul style="list-style-type: none"> 戸田南小学校増築工事については、議決後、契約を締結し、教室棟の増築に着手する。 			

05誰一人取り残さない教育

No.	事業名		担当部局		関連部局		
41	不登校の児童生徒が安心して通える校内サポートルームの設置		教育委員会事務局		こども健やか部		
評価指標		実施項目		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
サポートルームの設置		小学校12校にサポートルームを設置		➡			
		成果の検証及び運営の改善		➡			
達成予定年度	達成状況						
2022年度	達成						
2022年度 進捗状況				2023年度 進捗状況			
<ul style="list-style-type: none"> モデル校3校において、4月から校内サポートルーム「ぱれっとルーム」を設置し、各校にスクールサポーター（会計年度任用職員）を配置した。 その後、モデル校での成果を踏まえ、9月補正により、11月から残り9校においてもスクールサポーターの配置及び「ぱれっとルーム」の設置を行った。 専門的知見を有する有識者を委員とする「ぱれっとラボ」により、アンケート等を活用し、成果の検証を行った。 				<ul style="list-style-type: none"> 小学校全校にスクールサポーターを配置し、不登校傾向にある児童生徒や様々な理由により教室で過ごせない状況にある児童生徒の居場所として活用を図り、将来的な社会的な自立に向け支援を行った。 専門的知見を有する有識者を委員とする「ぱれっとラボ」により、アンケート等を活用し、成果の検証を実施した。 定期的にスクールサポーター研修会を行い、運営の改善を図った。 			
2024年度 進捗状況				2025年度 事業内容（案）			
<ul style="list-style-type: none"> 「ぱれっとルーム」の効果的な活用のため、「ぱれっとラボ」外部研究員が「ぱれっとルーム」を訪問し、指導助言いただいた。 各小学校の「ぱれっとルーム」利用児童、その保護者および教職員にアンケートを実施し、「ぱれっとラボ」外部研究員が分析を行い、効果検証等を行った。 戸田市総合的な不登校対策会議等の機会を通して、各校の不登校対策の中心を担う教職員に対して、資質・能力の向上を図るための研修を実施した。加えて、小・中学校の有機的な連携のため、情報交換等を実施した。 各中学校に「きyanばすルーム」を設置し、学校に来ずらさや、教室へ入りずらさを感じている生徒への支援を行った。 				<ul style="list-style-type: none"> 専門的知見を有する有識者を委員とする「ぱれっとラボ」により、アンケート等を活用し、効果検証を実施する。 戸田市総合的な不登校対策会議等の機会を通して、各校の不登校対策の中心を担う教職員に対して、資質・能力の向上を図るための研修を実施する。 全中学校の「きyanばすルーム」にきyanばすルームサポーターを配置し、不登校傾向にある生徒や様々な理由により教室で過ごせない状況にある生徒の居場所として活用を図るとともに、学習支援の場として活用を推進する。 			

05誰一人取り残さない教育

No.	事業名		担当部局		関連部局		
42	多様な学習機会確保のため全学校への特別支援学級の設置		教育委員会事務局				
評価指標	実施項目			2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
特別支援学級の全校設置	特別支援学級の設置に向けた芦原小学校増築工事			➡			
	特別支援学級未設置校に係る設置準備			➡			
達成予定年度	達成状況						
2024年度	達成						
2022年度 進捗状況				2023年度 進捗状況			
・芦原小学校増築工事については、入札不調により着工が後ろ倒しになったが、速やかに工事費用の再積算業務を行い、再度、入札を実施し、落札業者が決定した。				・芦原小学校増築工事については、契約締結を行い教室棟の増築に着手した。			
2024年度 進捗状況				2025年度 事業内容(案)			
・芦原小学校増築工事については、新校舎である教室棟が完成するとともに、特別支援学級の備品を整備した。当校の特別支援学級の準備が整ったことにより、特別支援学級の全校設置が完了した。							

05誰一人取り残さない教育

No.	事業名		担当部局		関連部局		
43	郷土博物館のリニューアルとアートミュージアム設置の検討		教育委員会事務局、市民生活部				
評価指標		実施項目		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
デジタル博物館の推進		収蔵資料等情報の一層のデジタル化、各種展示に関する動画コンテンツの充実		➡			
市民が美術に触れ合う機会の充実		郷土博物館における(仮称)アートミュージアムの設置		➡			
常設展示、企画系展示等の充実		常設展示音声案内(視覚障害者対応、多言語対応含む)等に関する研究		➡			
達成予定年度	達成状況						
2025年度	一部達成						
2022年度 進捗状況			2023年度 進捗状況				
<ul style="list-style-type: none"> 郷土博物館のリニューアルの一環として、常設展示において、音声ガイドアプリを用いた展示音声ガイド等の運用を開始した。 アートミュージアム設置の検討を進め、埼玉県立戸田かけはし高等特別支援学校との連携により、ロビー吹抜け空間を活用したアート作品展示を行った。加えて、図書館指定管理者との連携により、児童書の原画展を開催した。 収蔵品管理システム(収蔵資料データベース)における収蔵資料情報[資料写真等]の更新を行った。YouTube市公式動画チャンネル「戸田市TV」において、文化財企画展の展示開催案内動画の配信を行った。 市が所有している絵画作品について、現在の展示場所等活用状況の確認。 			<ul style="list-style-type: none"> 埼玉県立戸田かけはし高等特別支援学校等との連携によるアート作品展示を行った。 埼玉県立戸田翔陽高等学校写真部との連携による写真展を開催した。 図書館指定管理者との連携により、原画展などの展示を行った。 第29回企画展「戸田市所蔵絵画展」を開催し、市民等が美術に触れ合う機会の充実を図った。 「戸田市障がい者アート展」への会場提供等、展示開催への協力を行った。 文化財企画展「ここまで分かった!戸田市の埋蔵文化財最新情報展」のデジタル解説小冊子や、常設展示学習サポートについて、インターネットサイト、市HPでの公開を実施した。 市公式動画チャンネル「戸田市TV」において、下戸田さら獅子舞奉納舞の動画配信を行った。 音声ガイドアプリによる展示音声ガイド等の運用を継続して行った。 				
2024年度 進捗状況			2025年度 事業内容(案)				
<ul style="list-style-type: none"> 埼玉県立戸田かけはし高等特別支援学校1年との連携によるアート作品展示(年2回)を開催した。 埼玉県立戸田翔陽高等学校写真部との連携による写真展を開催した。 図書館指定管理者との連携により、原画展等の展示を行った。 企画展「戸田の昔ばなし原画展-池原昭治原画の世界-」及び関連事業を開催し、幅広い層がアートに触れ合う機会の充実を図った。 「戸田市障がい者アート展」への会場提供等、展示開催への協力を行った。 アートミュージアム設置の方向性に關し、戸田市立郷土博物館協議会において意見聴取を行った。 埋蔵文化財調査報告書のデジタル化とインターネットサイトでの公開を行った。 市指定文化財の紹介動画を作成し、市公式動画チャンネル「戸田市TV」での公開を行った。 戸田市出土人物埴輪の3Dデータを作成し、郷土博物館収蔵資料データベースでの公開を行った。 音声ガイドアプリによる展示音声ガイド等の運用を継続して行った。 			<ul style="list-style-type: none"> 近隣学校等との連携によるアート作品展示や、図書館指定管理者と連携した原画展等を継続して開催する。 「戸田市障がい者アート展」への会場提供等、展示開催への協力をう。 戸田市に関わりのあるアート作品を展示する機会を増やすなどアートミュージアム機能の充実を図るとともに、さらなる機能充実に向けた研究、検討を継続する。 音声ガイドアプリによる展示音声ガイド等対象資料の充実を図る。 				

05誰一人取り残さない教育

No.	事業名		担当部局		関連部局		
44	産官学民連携による市民大学のDX化やリカレント教育の推進		教育委員会事務局				
評価指標	実施項目			2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
市民大学講座におけるオンライン講座等の実施	生涯学習課や公民館での市民大学講座におけるオンライン・オンデマンド講座の実施			→			
市民大学アーカイブズの開設	「市民大学アーカイブズ」のコンテンツを新設し、いつでも・どこでも・誰でも学べる環境整備			→			
リカレント教育の推進	就労支援につながる講座を「リカレント講座」として設定、推進			→			
達成予定年度	達成状況						
2025年度	一部達成						
2022年度 進捗状況				2023年度 進捗状況			
<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習課で対面+オンデマンド形式のハイブリッド型講座を実施し、公民館においても、美笹公民館で試行的にハイブリッド型講座を実施した。 市HPで「市民大学アーカイブズ」を公開し、市民がいつでも・どこでも・誰でも学べる環境整備を行い、生涯学習環境の充実を図った。 美笹公民館で「リカレント講座」を2講座実施し、就労支援に寄与した。 				<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習課でのハイブリッド講座実施を定番化し、全公民館でハイブリッド型講座を実施した。また、ハイブリッド型講座が充実するよう府内各課に働きかけを行った。 図書館や彩湖自然学習センターの紹介動画や講座のダイジェスト版動画を追加し、市民大学アーカイブズの充実を図った。 関係機関との連携により、リカレント講座を全公民館で実施し、リカレント教育の取組を拡充した。 美笹公民館で戸田市商工会と連携したリカレント講座を実施した。 			
2024年度 進捗状況				2025年度 事業内容(案)			
<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習課でのハイブリッド講座実施を定番化し、全公民館でハイブリッド型講座を実施した。また、府内各課でのハイブリッド型講座が充実するよう府内各課に働きかけを行った。 公民館講座などのダイジェスト版の動画を作成・公開し、市民大学アーカイブズの充実を図った。 語学やライフプランニングなどのリカレントに関連した講座を実施し、リカレント教育の取組を拡充させた。 				<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習課でのハイブリッド講座実施を定番化し、全公民館でハイブリッド型講座を実施する。また、府内各課でのハイブリッド型講座が充実するよう推進する。 講座等の動画や紹介動画のコンテンツを作成・追加し、市民大学アーカイブズの充実を図る。 関係機関との連携により、リカレント講座を実施し、リカレント教育の取組を拡充する。 			

05誰一人取り残さない教育

No.	事業名		担当部局		関連部局		
45	図書館の居場所機能の充実やデジタル化の推進		教育委員会事務局				
評価指標	実施項目			2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
居場所機能の充実	Wi-Fi環境の充実			➡			
図書館利用手続きのデジタル化	市民や関係団体、民間企業等と協働して行う講座やイベント等の実施			➡			
	図書館システム更新による図書館利用手続きのデジタル化（貸出券有効期限更新、自習席座席予約等）			➡			
達成予定年度	達成状況	電子図書の継続的購入による電子図書館の拡充			➡		
2023年度	達成						
2022年度 進捗状況			2023年度 進捗状況				
<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル戦略室に依頼してWi-fiスポットを増設し、館内全域で利用可能となった。 ・福祉作業所、市内特別支援高校、商工会連合会と協働し、軽食販売やキッチンカー出店を行った。 ・図書館システム更新に向け、システムの機能要件の整理・調査を行い、仕様書作成等準備を実施した。 ・電子図書の継続的購入や読み放題パックの追加などにより電子図書館を拡充した。 			<ul style="list-style-type: none"> ・図書館開館40周年イベントとして、市民や関係団体、民間企業等と協働し11月3～5日に「40周年とよかん感謝祭」を実施した。 ・図書館システム更新によりマイナンバーカードが図書館の貸出券として利用できるようになったほか、利用登録などの図書館手続きやリクエストをwebから受付するなど、図書館利用手続きのデジタル化を進めた。なお、自習座席予約システムは、費用対効果の観点から除外してシステム構築を行った。 ・中央図書館1階ロビーを活用し、原画展や市内小中学校の児童・生徒の作品展示などを行った。 ・福祉作業所、商工会連合会と協働し、軽食販売やキッチンカー出店を行った。 				
2024年度 進捗状況			2025年度 事業内容（案）				
<ul style="list-style-type: none"> ・中央図書館1階ロビーを活用し、市内小中学校の児童・生徒の作品などの展示や複製原画展を行った。 ・福祉作業所による軽食販売を実施した。 ・おはなしボランティアと協働し、おはなし会を開催した。 ・自習席については、利用しやすいように、自習ゾーン、ワーキングゾーン等への区分けを実施した。 			<ul style="list-style-type: none"> ・中央図書館1階ロビーを活用し、市内小中学校の児童・生徒の作品などの展示を行う。 ・自習座席予約システムを導入する。 ・福祉作業所、商工会連合会と協働し、軽食販売やキッチンカー出店を行う。 ・託児サービスの実施回数を、週1回から週2回に増やす。 ・指定管理料に電子書籍購入費を含めることで、電子図書の継続的購入や電子雑誌の読み放題の追加などにより、電子図書館の更なる拡充を図る。 ・おはなしボランティアと協働し、新たにあかちゃんおはなし会を開催する。 				

06地域の誇りを高める

No.	事業名		担当部局		関連部局		
46	文化芸術・スポーツを推進する条例の制定と施策の推進		市民生活部				
評価指標	実施項目			2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
文化芸術を推進する条例の制定	他市事例等の研究、検討			➡			
スポーツを推進する条例の制定	文化芸術を推進する条例の制定			➡			
	スポーツを推進する条例の制定			➡			
達成予定年度	達成状況	条例に基づく文化芸術・スポーツの推進			➡		
2023年度	達成						
2022年度 進捗状況			2023年度 進捗状況				
<ul style="list-style-type: none"> 文化芸術を推進する条例については、関連法令等や他自治体の状況調査を行い、条例制定に向けた準備・検討を実施した。 スポーツを推進する条例については、関連法令等や他自治体の状況調査、戸田市スポーツ推進審議会での条例案の検討など、条例制定に向けた準備・検討を実施した。 			<ul style="list-style-type: none"> 文化芸術を推進する条例については、当初、2023年度中の作成・制定予定であったが、検討委員会を設置して内容を審議することとし、2024年度作成・制定へ計画を変更した。2023年度は関連法令等や他自治体の状況調査を行い、条例制定に向けた準備・検討を実施した。 スポーツを推進する条例については、戸田市スポーツ審議会での条例案の検討やパブリックコメントなどを実施して、条例を制定した。(令和6年4月1日施行) 				
2024年度 進捗状況			2025年度 事業内容(案)				
<ul style="list-style-type: none"> 文化芸術を推進する条例については、条例制定検討委員会を設置し、条例案の作成・検討を実施した。また、パブリックコメントなどを実施した上で、条例を制定した。(令和7年4月1日施行) 戸田市文化芸術推進条例制定記念のイベントに向け、合唱体験ワークショップを開催した。また、「戸田公園駅ストリートピアノプロジェクト」など、市民等による新たな取り組みを支援した。 スポーツ推進条例の制定を周知し、スポーツセンター再整備やボートのまちづくりコンソーシアム、トップリーグで活躍する市内スポーツチーム等の応援気運醸成などのスポーツ関連事業を継続的に実施する。 スポーツ推進条例に基づく、第3期戸田市スポーツ推進計画を策定し、第2期計画に引き続き、目標指標の進捗管理を行い、スポーツの推進を図る。 							

06地域の誇りを高める

No.	事業名		担当部局		関連部局		
47	スポーツ振興に資する戸田市スポーツセンター建て替えの検討		市民生活部		企画財政部		
評価指標	実施項目			2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
現状、ニーズの把握、調査等の実施	市民、スポーツ団体、議会等からの意見の整理、調査、協議等の実施			→			
有識者会議等の開催	スポーツセンターのあり方の方向性の検討			→			
達成予定年度	達成状況						
2025年度	一部達成						
2022年度 進捗状況		2023年度 進捗状況					
・スポーツセンターを取り巻く環境の変化や様々な意見や状況を踏まえ、来年度のスポーツセンター再整備方針策定業務に関する準備を進めた。		・公共施設等総合管理計画の改定内容との整合性を図りつつ、今後のスポーツセンターのあり方について複合的に検討していくため、調査・検討業務を実施した。					
2024年度 進捗状況		2025年度 事業内容(案)					
・2024年度と2025年度の2年間でスポーツセンター基本構想を策定するための検討委員会を設置し、4回の会議開催により、ニーズ調査や視察を実施し、基本構想について検討を行った。		・スポーツセンター基本構想を策定するための検討委員会を開催し、令和8年度中の策定を目指し検討をすすめる。					

06地域の誇りを高める

No.	事業名		担当部局		関連部局		
48	戸田市文化会館を活用した市民が誇れる音楽イベントの実施		市民生活部				
評価指標	実施項目			2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
音楽イベントの実施		文化事業補助金を活用した音楽祭の実施			→		
		文化会館と共催の音楽イベントの実施			→		
達成予定年度	達成状況						
2024年度	達成						
2022年度 進捗状況				2023年度 進捗状況			
<ul style="list-style-type: none"> 文化事業補助金を活用した戸田市音楽祭を実施した。 新たな取り組みとして、スタインウェイピアノ体験会イベントを実施した。 				<ul style="list-style-type: none"> 戸田市音楽祭において、市民が誇れる音楽イベントとして、著名人を招いたコンサートを開催した。また、市民が企画する小規模公演に対し助成金を支給する「あなた」が創るコンサート」を新たに実施した。7団体の応募があった。 			
2024年度 進捗状況				2025年度 事業内容(案)			
<ul style="list-style-type: none"> 戸田市音楽祭において、市民が誇れる音楽イベントとして、著名人を招いたコンサートを開催した。また、市民が企画する小規模公演に対し助成金を支給する「あなた」が創るコンサート」を継続して実施した。 文化会館との共催の音楽イベントについて、企画・検討し、条例制定記念イベントとしての市民参加型合唱公演の実施について決定した。(実施は2025年度) 				<ul style="list-style-type: none"> 戸田市音楽祭において、市民が誇れる音楽イベントとして、著名人を招いたコンサートを開催する。 市民が企画する小規模公演に対し助成金を支給する「あなた」が創るコンサート」を実施する。 文化芸術推進条例制定記念イベントとして、市民参加型合唱公演を実施する。 			

06地域の誇りを高める

No.	事業名		担当部局		関連部局			
49	地域活性化に向けた「ポートのまちづくりコンソーシアム」の設置		市民生活部					
評価指標		実施項目		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
コンソーシアムの設置		コンソーシアムの設置、参加者募集		→				
		情報発信、意見交換会等の実施		→				
達成予定年度	達成状況							
2023年度	達成							
2022年度 進捗状況			2023年度 進捗状況					
<p>・関係団体との調整や要綱案の検討をするなど、来年度のポートのまちづくりコンソーシアム設置に向けた準備・検討を実施した。</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・競技団体や県、地元町会など関係団体との調整を実施した上で、設置要綱を策定し、「ポートのまちづくりコンソーシアム」を設置した。 ・第一回コンソーシアムを令和6年3月に戸田公園管理事務所にて開催し、ポートのまちづくりに関する協議を行った。 ・協議においては、市民に対するポートの認知度向上やポートのまちづくりとして盛り上げる施策等について意見交換が行われた。 					
2024年度 進捗状況			2025年度 事業内容(案)					
<p>・5月、12月及び3月に会議を開催し、「ポートのまちイメージ定着に向けた取組」等についての意見交換、実現に向けた協議を行った。</p> <p>・ローイング競技に興味関心を持っていただくためのエルゴ体験会、SNSや市広報を活用した戸田ポートコース及びローイング競技についての周知、パリ五輪ローイング競技出場選手の激励、表彰式典の開催、競技大会開催日における地域清掃活動をコンソーシアム事業として実施した。</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・「ポートのまちづくりコンソーシアム」会議を継続して開催し、意見交換、実現に向けた協議により実施可能なものから、実現に向けた取組をすすめる。 ・エルゴ体験会、SNS等による戸田ポートコース等の周知、地域清掃活動などを継続実施するとともに、ポートのまち戸田を紹介するリーフレットや戸田市民クルー紹介チラシの制作及び配布を行う。 					

06地域の誇りを高める

No.	事業名		担当部局		関連部局						
50	著名人やアーティスト・スポーツチーム等との連携による魅力発信		市長公室		市民生活部						
評価指標	実施項目			2022年度	2023年度	2024年度	2025年度				
新たな「とだPR大使」の任命	戸田市にゆかりのある著名人等を調査し、「とだPR大使」に任命			→							
「とだPR大使」を活用した魅力発信	「とだPR大使」による広報紙での連載やイベントへの参加、各種メディアやSNSで戸田市の魅力を発信			→							
スポーツチーム等との連携	既存の市内イベントや新たな交流イベントによるスポーツチーム等と市民の交流機会創出			→							
達成予定年度	達成状況										
2025年度	達成										
2022年度 進捗状況				2023年度 進捗状況							
<ul style="list-style-type: none"> 新たな「とだPR大使」として、戸田市出身の現役プロサッカー選手、宇賀神友弥選手、長谷川唯選手を任命し、戸田ふるさと祭りのステージイベントにおいて任命式を開催した。 「とだPR大使」に戸田マラソンin彩湖2022のスタートーやステージイベントに出演いただき市の魅力発信に貢献していただいた。 戸田マラソンin彩湖2022においては、東京ヤクルトスワローズと連携し、マスコットキャラクター(つばみ)のイベント出演やプレゼント提供をいただき、大会を盛り上げた。 				<ul style="list-style-type: none"> FIFA女子ワールドカップに出場した「とだPR大使」長谷川唯選手の壮行会やパブリックビューイングなど、「とだPR大使」と連携し市民を巻き込んだイベントを開催した。 戸田マラソンin彩湖2023においては、東京ヤクルトスワローズと連携し、マスコットキャラクター(つばみ)のイベント出演やプレゼント提供をいただき、また、ヤクルトレビンズと連携し、選手にゲストランナーやトークイベントへ参加していただき、大会を盛り上げた。 戸田市に拠点を置くラグビーチーム「ヤクルトレビンズ」と連携事業の実施に向けた包括連携協定を締結した。 戸田市に拠点を置く女子ソフトボールチーム「戸田中央メディックス埼玉」と連携事業の実施に向けた包括連携協定を締結した。 							
2024年度 進捗状況				2025年度 事業内容(案)							
<ul style="list-style-type: none"> 新たな「とだPR大使」の任命に向けて、戸田市にゆかりのある著名人の調査を行った。 「とだPR大使」宇賀神友弥選手からサッカーボールを寄附していただき、保育園にプレゼントを行うイベントを実施した。 「とだPR大使」宇賀神友弥選手の現役引退を記念したブースを市役所2階ロビーに設置するとともに広報戸田市で特集し、PRした。 包括連携協定を締結した「戸田中央メディックス埼玉」や「ヤクルトレビンズ戸田」への応援施策を展開した。また、両チームに市民公開講座や駅頭啓発などの地域貢献活動、スポーツ競技の体験会の開催や戸田マラソンin彩湖2024におけるイベント出演、ゲストランナー参加などのご協力をいただき、市民との交流の機会を創出した。 				<ul style="list-style-type: none"> 新たな「とだPR大使」の任命に向けて、戸田市にゆかりのある著名人の調査を実施する。 「とだPR大使」それぞれの専門分野を生かした連携事業の実施やイベントへの参加による市の魅力向上に取り組む。 既存の市内イベントにスポーツチームや選手等に参加していただき、市民の交流機会の創出を図る。 							

06地域の誇りを高める

No.	事業名		担当部局		関連部局		
51	ふるさと納税を活用した地域の商品やサービスの魅力発信		環境経済部		市長公室		
評価指標		実施項目		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
ふるさと納税利用による寄附件数の増加	ふるさと納税取扱サイトの拡充			➡			
返礼品取扱事業者の増加	ふるさと納税活用についての調査研究			➡			
	専門事業者等との連携による返礼品充実			➡			
達成予定年度	達成状況	市内事業者への周知及び返礼品協力依頼		➡			
2025年度	達成	寄附者への返礼品PRの強化		➡			
2022年度 進捗状況			2023年度 進捗状況				
<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税取扱サイト拡充として、新たにふるさと納税取扱サイトである「ふるなび」「楽天ふるさと納税」での取扱を開始し、市内産品のPR強化及び寄附受付等に係るサービス向上を図った。 ・市内事業者への周知や返礼品充実に向けた協力をいただくため、事業者への個別訪問を行った。また、専門事業者と連携し、本制度を市内産品や自社PR等に活用いただくための事業者向け勉強会を実施した。 ・ふるさと納税を活用した地場産品や地域の魅力発信のための取組等を調査し、新規寄附者向けのPR方法だけでなく、これまでに寄附いただいた方との継続した関係づくりのための手法を検討した。 ・上述の取組により、協力事業者数や返礼品数が増加し、かつ寄附件数も増加した。 			<ul style="list-style-type: none"> ・国によるふるさと納税の運用や返礼品登録に係る基準を厳格化する制度改正が実施された中であったが、その改正を踏まえつつ、事業者訪問等の実施や事業者からの登録相談対応を行い、取扱事業者及び返礼品を拡充した。 ・上記の取組と併せ、返礼品を情報誌へ掲載する等のPRを実施した結果、本市への寄附件数及び寄附金額が増加した。 				
2024年度 進捗状況			2025年度 事業内容(案)				
<ul style="list-style-type: none"> ・現状委託している専門事業者(中間事業者)の業務範囲内で実施可能な寄附向上施策の洗い出しを行った上で、ポータルサイト内有償広告の配信や返礼品撮影会(7月、12月)及び画像のブラッシュアップ、返礼品事業者勉強会を実施した。 ・上記取組と併せて、返礼品のPR・プロモーションに特化した業務委託により、サイト内返礼品画像等のブラッシュアップやサイト内外におけるWEB広告の配信、寄附者向けパンフレットの製作・発送を行った。 ・ふるさと納税取扱サイト拡充として、「JALふるさと納税」「Yahoo!ふるさと納税」「Amazonふるさと納税」に加え、ふるさとチョイスパートナーサイト2サイトの計5サイトを追加した。 ・返礼品協力事業者との関係性構築にも務め、新規・追加を合わせ82品を追加した。 ・上記取組の結果、対前年比で寄附件数は約2.2倍、寄附金額は約3.7倍に増加した。 			<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税サイトにおけるポイント付与廃止等の制度改正の動向を踏まえ、適切な時期に広告配信を行うとともに、中間事業者やPR業務事業者と連携し、返礼品の撮影会や画像等のブラッシュアップ、広告運用、リピーター獲得に向けたパンフレットの送付等の取組を昨年度以上に規模を拡大し実施する。 ・既存返礼品事業者とも連携を取りつつ、新規事業者開拓に向けた情報発信や事業者訪問を積極的に実施し、協力事業者及び返礼品の拡充を図る。 				

06地域の誇りを高める

No.	事業名		担当部局		関連部局		
52	公民館や町会会館へのWi-Fi環境整備による多世代交流の推進		市民生活部		教育委員会事務局、健康福祉部		
評価指標		実施項目		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
町会会館等へのWi-Fi環境整備に係る補助金制定	無線LAN環境等の整備に係る補助金及び維持管理に係る補助金を制定し、制度概要等を各町会・自治会に周知			➡			
無線LAN環境整備	各町会・自治会の無線LAN環境整備の相談対応及び補助金交付			➡			
無線LAN環境を活用した多世代交流の推進	無線LAN環境を活用した多世代交流の推進			➡			
達成予定年度	達成状況						
2024年度	達成						
2022年度 進捗状況				2023年度 進捗状況			
<ul style="list-style-type: none"> 町会会館等へのWi-Fi環境整備に係る補助金として、2022年度から3年間の期間限定のデジタル環境整備補助金と、町会・自治会活動支援補助金を整備し、21町会・自治会の利用があった。 Wi-Fiを活用した町会・自治会での取り組みについて、町会連合会の会議で事例紹介を行った。 市内3か所の福祉センター（公民館）の貸室の一部にWi-Fi環境を整備するとともに、活用方法について調査・研究を実施した。 				<ul style="list-style-type: none"> 町会会館等へのWi-Fi環境整備に係る補助金を継続した（2024年度まで）。 町会連合会にて、Wi-Fi活用方法についての研修会を実施した。 各公民館において、オンデマンド講座やサークル活動紹介を実施した。 公民館と福祉センターの連携によるWi-Fiを活用した交流事業について検討を行った。 			
2024年度 進捗状況				2025年度 事業内容（案）			
<ul style="list-style-type: none"> 補助金を活用して、町会会館等へのWi-Fi環境整備を進め、約8割の町会において、整備が完了した。 町会・自治会がWi-Fiを活用した活動を実施できるよう、研修会や講座等を開催した。 各公民館において、オンデマンド講座を開催した。 公民館においてWi-Fiを活用し、ビッグバンドジャズオーケストラ演奏会のオンライン中継や市民大学講座のサテライト開催を行った。 				<ul style="list-style-type: none"> 市民活動団体との連携によるWi-Fiを活用した居場所事業を実施する。 各公民館において、オンデマンド講座を開催する。 公民館においてWi-Fiを活用した事業を実施する。 			

06地域の誇りを高める

No.	事業名		担当部局		関連部局			
53	子ども一日市長体験や市長ダイアログ(対話)の実施		市長公室					
評価指標	実施項目			2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
「子ども一日市長体験」開催	子ども一日市長体験や市長ダイアログ(対話)の企画・検討			➡				
「市長ダイアログ(対話)」開催	「子ども一日市長体験」開催				➡			
	「市長ダイアログ(対話)」開催				➡			
達成予定年度	達成状況							
2025年度	一部達成							
2022年度 進捗状況				2023年度 進捗状況				
<ul style="list-style-type: none"> 事業実施について検討。子ども一日市長体験は、子どもたちが市長の執務を模擬体験できるような事業とすること、市長ダイアログ(対話)は様々な市民や団体と意見交換できるような事業とすることとした。 2022年度はコロナ禍により、事業実施を見合わせた。 				<ul style="list-style-type: none"> 令和5年9月7日に子ども一日市長体験を実施した。 参加者の募集については、中学生社会体験チャレンジにより行った。 決裁や模擬施政方針発表の模擬体験を通じ、子どもたちに市政への関心を持ってもらい、地域の誇りを高めることができた。 				
2024年度 進捗状況				2025年度 事業内容(案)				
<ul style="list-style-type: none"> 子ども一日市長体験について、中学校社会体験チャレンジにより、令和7年1月31日に実施した。 昨年度に引き続き、模擬施政方針を行い、市政の重要性や仕組みについて理解を深めてもらうとともに、地域への誇りを育むことができた。 				<ul style="list-style-type: none"> 「市長ダイアログ(対話)」について、市民や各種団体等との意見交換の場を設け、地域課題や取り組みへの理解を深めるとともに市民と行政の距離を縮めることを目指す。 子ども一日市長体験については、引き続き中学生社会体験チャレンジの機会を活用するなど、引き続き様々な学校の生徒に機会を与えるよう実施する。 				

06地域の誇りを高める

No.	事業名		担当部局		関連部局		
54	地域担当職員制度の全市展開による地域活性化の推進		市民生活部				
評価指標	実施項目			2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
地域担当職員の選任	5地区全てにおいて地域担当職員制度の開始			➡			
	地域の実情や課題についての話し合いによる、地域の活性化推進			➡			
達成予定年度	達成状況						
2022年度	達成						
2022年度 進捗状況				2023年度 進捗状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・地域担当職員を市内5地区に選任し、任命式、勉強会を実施した。5月から8月にかけて、地域担当職員がそれぞれの地区と顔合わせし、活動を進めた。 ・情報共有するため、リーダー・サブリーダー会議の実施、ファイルサーバー上で活動状況をみられる仕組みを整えた。 				<ul style="list-style-type: none"> ・全地区に導入し、任期2年の最終年度となり、各地区でのイベントや会議に参加した。 ・地域の実情や課題について認識を深めるため、動画による活動報告を行った。 			
2024年度 進捗状況				2025年度 事業内容(案)			
<ul style="list-style-type: none"> ・活動を行うテーマについて、町会連合会と協議し設定した。 ・地域担当職員を任期2年として新たに市内5地区に選任し、各地区がテーマに基づき活動を行った。 ・活動に際し、情報共有を図るため、リーダー・サブリーダー会議を適宜実施した。 ・各地区の地域担当職員による中間活動報告を行った。 				<ul style="list-style-type: none"> ・任期2年の最終年度となることから、各地区との更なる信頼関係構築を図るとともに、設定テーマを進捗させる。 ・本制度のあり方の見直しを行う。 			

07環境と経済の好循環

No.	事業名		担当部局		関連部局		
55	SDGs推進企業を認証する「とだSDGsパートナー制度」の創設			環境経済部		企画財政部	
評価指標	実施項目			2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
認証制度の創設	制度の調査研究、設計、創設			➡			
	SDGs啓発のための事業者研修の開催			➡			
	SDGs推進企業を認証する「とだSDGsパートナー制度」の認証			➡			
達成予定年度	達成状況	事業者のニーズに合ったインセンティブの検討			➡		
2022年度	達成						
2022年度 進捗状況			2023年度 進捗状況				
<ul style="list-style-type: none"> ・企業向けのSDGsパートナー制度について先進市をはじめとした調査研究を行い、制度設計を行った。 ・令和4年12月1日に「とだSDGsパートナー制度」を創設し申請企業に対する認証を開始するとともに、同月12日に戸田市商工会、日本政策金融公庫及び埼玉県と連携し、キックオフセミナーを開催した。 ・制度周知を図るため、戸田市商工会と連携し各団体の理事会や会合の場において、パートナー制度の説明を行い、パートナー制度の普及促進を図った。 			<ul style="list-style-type: none"> ・パートナー認定した企業に対するインセンティブとして「見える化プレート」等の交付を実施し、市内事業者のSDGs活動をさらに推進した。 ・パートナー企業のSDGs宣言内容を市HPや戸田市商工祭などで積極的に外部公表し、事業者のSDGs活動の見える化をさらに推進した。 ・戸田市商工会と連携し、SDGs動画制作支援等のインセンティブを創設し、市公式YouTubeで公開するなど市内事業者のSDGs普及促進を図った。 				
2024年度 進捗状況			2025年度 事業内容(案)				
<ul style="list-style-type: none"> ・パートナー認定した企業に交付する「見える化プレート」により、市内事業者のSDGs活動をさらに推進した。 ・パートナー企業のSDGs宣言内容を市HPや広報戸田市などで積極的に外部公表し、事業者のSDGs活動の見える化をさらに推進した。 ・戸田市商工会と連携し、SDGs動画制作支援等により制作した動画を戸田市商工会HP等でも周知できるよう検討した。 			<ul style="list-style-type: none"> ・とだSDGsパートナー制度の認証事務を企画財政部に移管し、制度の対象を市内事業者に加えて市内活動団体等を含むように拡大することにより、SDGs活動の更なる促進を図る。 ・SDGsの啓発として、パートナー企業や包括連携事業者と連携した取組を実施予定である。 ・パートナー認定した企業に交付する「見える化プレート」により、市内事業者のSDGs活動をさらに推進する。 ・戸田市商工会と連携し、SDGs動画制作支援等により制作した動画を戸田市商工会HP等でも周知できるよう引き続き調整する。 				

07環境と経済の好循環

No.	事業名		担当部局		関連部局			
56	循環型社会に向けたプラごみや食品ロスの削減と3Rの推進		環境経済部					
評価指標		実施項目		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
戸田市推奨ごみ袋の導入		戸田市推奨ごみ袋の導入・利用促進		→				
戸田市版プラスチック・スマートアクションの策定		戸田市版プラスチック・スマートアクションの策定		→				
食品ロス削減推進計画の策定		市民のプラごみ削減アイデアコンテストの開催、企業連携によるプラごみ削減の実践		→				
達成予定年度	達成状況	食品ロス削減推進計画の策定		→				
2025年度	達成	食品ロス削減推進計画によるフードドライブの取組拡大		→				
2022年度 進捗状況			2023年度 進捗状況					
<ul style="list-style-type: none"> ・ポリエチレンの使用割合を抑えた推奨ごみ袋について、協力事業者との協定を締結し、推奨ごみ袋の贈呈式を実施した。市内スーパー、ドラッグストア等での販売や、町会へのごみ袋の試験配布により、ごみ袋の利用促進とプラごみ削減を図った。 ・プラスチック・スマートアクションの策定に向けて、他自治体のプランの研究を行い、プラごみ削減アイデアコンテストの開催も含めた次年度の予算措置を行った。 ・食品ロス削減のため、市内でのフードドライブの実施拠点の拡大の推進について、町会やまちづくり協議会への普及啓発を行うと共に、食品ロス削減推進計画について、蕨戸田衛生センター組合等と策定に向けた調整を行った。 			<ul style="list-style-type: none"> ・推奨ごみ袋の利用促進のため、町会自治会へのあっせんを行うとともに、物価高対策（暮らしトランスフォーメーション）において市民に広く配布した。 ・プラごみ削減アイデアコンテストを開催し、入賞アイデアや企業の取り組みを含めた戸田市版プラスチック・スマートアクションを策定した。 ・食品ロス削減推進計画について、2024年度に蕨戸田衛生センター組合及び蕨市と共に策定する一般廃棄物処理基本計画に包含するための検討や、サンプル調査を進めた。 ・市内でのフードドライブの取組拡大について、町会をはじめとした実施拠点への普及啓発を行い、企業から災害備蓄品などの提供があり、公民連携により民間企業がこども食堂に配布した。 					
2024年度 進捗状況			2025年度 事業内容（案）					
<ul style="list-style-type: none"> ・推奨ごみ袋の利用促進のため、町会自治会へのあっせんを行うとともに、周知啓発を行った。 ・戸田市版プラスチック・スマートアクションに掲出された事項を推進するため、市の事業やイベントでのプラスチック削減を働きかけた。 ・食品ロス削減推進計画について、蕨戸田衛生センター組合及び蕨市と共に策定した一般廃棄物処理基本計画に包含した。 ・フードドライブの取組拡大に向け、環境フェアにおいて普及啓発を行い、市民や企業からの食品提供を促すとともに、持ち寄られた食品をこども食堂に寄附した。 ・使い捨てプラスチック製品の使用抑制及びプラスチックごみ削減の推進のため、ウォータースタンド株式会社との協定締結により、市庁舎などにマイボトル型給水機を設置した。 			<ul style="list-style-type: none"> ・推奨ごみ袋の利用促進のため、町会自治会へのあっせんを行うとともに、周知啓発を行う。 ・戸田市版プラスチック・スマートアクションの取り組みを推進するため、市の事業やイベントでのプラスチックの削減を働きかける。 ・食品ロス削減推進計画に基づき、食品ロスの削減を推進するため、「食べ残し持ち帰り運動」により食べきれなかった食品の持ち帰りにドギーバッグの利用を市内飲食店に働きかける。 ・市内でのフードドライブの取組拡大に向け、イベントでのフードドライブの周知を行い、市民や企業からの食品提供を促すとともに、持ち寄られた食品をこども食堂に寄附する。 					

07環境と経済の好循環

No.	事業名		担当部局		関連部局		
57	2050年CO2実質排出ゼロに向けた「ゼロカーボンシティ宣言」表明		環境経済部				
評価指標	実施項目			2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
温室効果ガス排出量削減目標の変更	他自治体等動向調査・施策等研究			➡			
「ゼロカーボンシティ宣言」の表明	温室効果ガス排出量削減目標等の見直し及び策定			➡			
	「ゼロカーボンシティ宣言」表明				➡		
達成予定年度	達成状況	重点施策の実施					➡
2024年度	達成						
2022年度 進捗状況				2023年度 進捗状況			
<ul style="list-style-type: none"> 現行の環境基本計画の中間見直し(2025年度予定)を前倒して実施するため、「埼玉県地球温暖化対策実行計画」(2023年3月改定)や他自治体の計画を参考に、改定の方向性を検討した。 2023年度に温室効果ガス排出量削減目標の見直しや現行計画の改定を行うため、予算措置を行った。 関連企業との打合せを行い、公民連携等による重点施策実施の可能性を研究した。 				<ul style="list-style-type: none"> 2050年ゼロカーボンシティの実現を見据えた戸田市環境基本計画の改定を行い、温室効果ガス排出量削減目標を見直すとともに、重点施策を検討し、2024年度の予算措置を行った。 目標値の見直し、計画の改定、重点施策の検討に当たっては、環境審議会や策定委員会(課長級)などの検討組織にも内容を諮り、実施した。 重点施策の一つである美里町との森林整備等によるカーボンオフセット事業の実施にあたり、協定締結を行った。 年度末の計画の改定に合わせて、2050年ゼロカーボンシティの表明を行った。 			
2024年度 進捗状況				2025年度 事業内容(案)			
<ul style="list-style-type: none"> 一部公共施設において、蕨戸田衛生センターで発電した再生可能エネルギー電力の利用を開始した。 「戸田市公用車の電動車導入方針」を策定した。 公共施設等の太陽光発電設備等導入調査を実施した。 省エネ家電買換に関する補助金等を新設し、市民、事業者に対するサポート体制を充実させた。 美里町との森林整備によるカーボンオフセット及び植樹体験等バスツアーを実施した。 				<ul style="list-style-type: none"> 公共施設での再エネ利用をさらに拡充するため、ごみ発電以外の再エネも導入すべく、施設担当課との調整を開始する。 既存の補助金制度を統廃合し、「戸田市ゼロカーボン推進補助金」を新設する。事後申請とすることで市民等の利便性を向上し、需要に応じた交付を可能とすることで執行率を高める。 美里町における森林整備を拡大し、オフセット量を増加させるとともに、新たな整備箇所を用いて植樹体験等バスツアーを実施する。 			

07環境と経済の好循環

No.	事業名		担当部局		関連部局					
58	事業者のデジタル化支援や人材確保等ニーズに応じた施策の推進		環境経済部							
評価指標	実施項目			2022年度	2023年度	2024年度	2025年度			
事業者のデジタル化支援の推進	景気動向調査等による事業者ニーズおよび市内経済状況の把握			→						
業種別職種別企業説明会の充実	DX推進事業(伴走型支援・推進補助金)の開始			→						
	DX推進事業の運用による事業者のデジタル化支援			→						
達成予定年度	達成状況	外部専門家の知見を活用した事業者の幅広いニーズへの対応			→					
2025年度	達成	ハローワーク川口等と連携した人材確保支援			→					
2022年度 進捗状況			2023年度 進捗状況							
<ul style="list-style-type: none"> 市内景気動向調査を2回(7月、1月)実施し、市内経済状況の把握を行った。 景気動向を業種別に見やすくまとめた「TODA産業レポート」を作成した。 DX伴走型支援事業を開始した。 DX推進補助金を創設し、審査体制を整え運用を開始した。 介護施設の見学会を実施した。 ハローワークと連携し、就職氷河期世代向けの就職支援セミナーを実施した。 「保育のお仕事面接会&説明会」を開催した。 			<ul style="list-style-type: none"> 市内景気動向調査を2回(7月、1月)実施し、市内の経済状況の把握に努めた。 DX伴走型支援事業、推進補助金を継続し、外部専門家の知見を活用した事業者のデジタル化支援を行った。(伴走支援3社、補助金7件交付決定) 介護施設の見学会を共同で実施した(4回)。 保育人材確保のための説明会を開催した(1回)。 							
2024年度 進捗状況			2025年度 事業内容(案)							
<ul style="list-style-type: none"> 市内景気動向調査を7月に、また市内企業経営状況調査を3月に実施し、今後の経済戦略プランの改定を見据えた経済状況の把握を行った。 DX伴走型支援事業、推進補助金を拡大実施し、外部専門家の知見を活用した事業者のデジタル化支援を行った(伴走支援5社、補助金9件交付決定)。 介護施設の見学会を共同で、実施した(3回)。 シニア世代も含めた介護・医療就職面接会&説明会を開催した(1回)。 保育人材確保のための説明会を開催した(1回)。 			<ul style="list-style-type: none"> 景気動向調査等を実施し、市内の経済状況の把握に努める。 DX推進補助金を事業者がより活用しやすい形で実施し、専門機関と連携したDXセミナーの実施やDX事例の情報発信等によりデジタル化支援を行う。 介護施設の見学会を共同で実施する。 シニア世代も含めた企業説明会を開催する。 保育人材確保のための説明会を開催する。 ハローワークと連携し、就職支援セミナーを実施する。 							

07環境と経済の好循環

No.	事業名		担当部局		関連部局		
59	商工会との連携によるプレミアム商品券の発行の検討		環境経済部				
評価指標	実施項目			2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
プレミアム商品券の発行	商工会との調整及びプレミアム商品券制度の検討・設計			➡			
	商工会との連携によるプレミアム商品券の発行				➡		
	プレミアム商品券発行をとおしたフィードバック、持続可能な制度とするための検討					➡	
達成予定年度	達成状況	持続可能なプレミアム商品券発行事業の創設					➡
2023年度	達成						
2022年度 進捗状況			2023年度 進捗状況				
<ul style="list-style-type: none"> ・商工会とプレミアム商品券制度について調査検討、設計を行った。 ・継続可能なデジタル型のプレミアム商品券の実施を商工会と調整し、予算要求を行った。 ・商工会においてプレミアム商品券事業準備委員会を組成するよう調整し、オブザーバーとして参画した。 			<ul style="list-style-type: none"> ・商工会が実施主体となるプレミアム付電子商品券事業実行委員会を組成し、業者選定など準備業務を行った。 ・第1弾となるプレミアム付電子商品券事業「TODAPAY」を、9/18～翌1/31に実施した。(プレミアム率30%、25,000セット) ・2024年度の第2弾に向け、抽選申込等の準備、調整を実施した。 ・2024年3月8日より第2弾の抽選申込及び市役所市民課前スペースにおいて高齢者向けサポート窓口を開始した。 				
2024年度 進捗状況			2025年度 事業内容(案)				
<ul style="list-style-type: none"> ・プレミアム付電子商品券事業の第2弾(春実施)及び第3弾(秋実施)を商工会と連携して実施した。 ・商工会のプレミアム付電子商品券事業実行委員会と連携し、市民へ広く周知を行った。 ・プレミアム付電子商品券の販売の他、とだウェルネスマイレージ事業と連携したポイント付与事業を実施した。 			<ul style="list-style-type: none"> ・プレミアム付電子商品券事業の第4弾(春実施)、第5弾(秋実施)に向け、商工会と連携しながら実施する。 ・商工会のプレミアム付電子商品券事業実行委員会と連携し、市民へ広く周知を行う。 ・プレミアム付電子商品券の販売の他、他の事業と連携したポイント付与事業を実施する。 				

07環境と経済の好循環

No.	事業名		担当部局		関連部局						
60	公共事業の発注・施工時期の平準化による地元企業の受注機会確保		総務部								
評価指標	実施項目			2022年度	2023年度	2024年度	2025年度				
地元企業の受注機会確保の推進	発注時期の平準化の推進			→							
	地元企業への優先的発注の推進			→							
	地元企業が受注しやすい制度、契約方法の検討及び実施			→							
達成予定年度	達成状況										
2025年度	達成										
2022年度 進捗状況				2023年度 進捗状況							
<ul style="list-style-type: none"> 債務負担行為の積極的な活用等により、施工時期の平準化を推進した。 地元企業の優先発注及び複数年契約の入札を実施した。 地域要件を市内、準市内とする工事入札においては、実績要件を緩和し、原則として、企業実績、配置する技術者の実績を求めないこととして実施した。 地域要件の拡大について、入札案件に応じて、細かく要件設定を行い、市内業者の受注機会確保を推進した。 現場代理人の常駐規定緩和により、市発注工事と県発注工事を兼務可能とするよう、要綱改正を行った。 				<ul style="list-style-type: none"> 債務負担行為の積極的な活用等により、施工時期の平準化を推進した。 地元企業の優先発注及び複数年契約の入札を実施した。 地域要件を市内、準市内とする工事入札においては、実績要件を緩和し、原則として、企業実績、配置する技術者の実績を求めないこととして実施した。 地域要件の拡大について、入札案件に応じて、細かく要件設定を行い、市内業者の受注機会確保を推進した。 建設工事における配置技術者の兼任要件の緩和を行い、技術者数が十分でない市内業者における受注機会の確保を図った。 							
2024年度 進捗状況				2025年度 事業内容(案)							
<ul style="list-style-type: none"> 債務負担行為の積極的な活用等により、施工時期の平準化を推進した。 地元企業の優先発注及び複数年契約の入札を実施した。 地域要件を市内、準市内とする工事入札においては、実績要件を緩和し、原則として、企業実績、配置する技術者の実績を求めないこととして実施した。 地域要件の拡大について、入札案件に応じて、細かく要件設定を行い、市内業者の受注機会確保を推進した。 建設工事における配置技術者の兼任要件の緩和を行い、技術者数が十分でない市内業者における受注機会の確保を図った。 建設業者の労働環境向上のため、週休2日制工事実施要領を策定し、週休2日を確保した工事の発注を推進した。 				<ul style="list-style-type: none"> 債務負担行為の積極的な活用等により、施工時期の平準化を推進する。 地元企業の優先発注及び複数年契約の入札を実施する。 競争性を確保しつつ、実情に即した入札参加資格要件の設定により、地元企業の受注機会の確保を図る。 地元企業の受注機会確保に資する制度の導入及び構築を引き続き検討していく。 							

07環境と経済の好循環

No.	事業名		担当部局		関連部局		
61	人と動物の共生を推進する条例の制定と動物愛護施策の推進		環境経済部				
評価指標	実施項目			2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
人と動物の共生を推進する条例の制定	他自治体等の調査・施策の研究			➡			
飼い主のいない猫の不妊・去勢手術補助金制度の見直し	条例案検討、パブリックコメント			➡			
	人と動物の共生を推進する条例の制定			➡			
達成予定年度	達成状況	飼い主のいない猫の不妊・去勢手術補助金制度の見直しと改定			➡		
2023年度	達成	条例に基づき、地域猫の不妊・去勢手術補助金制度などの活用による動物愛護の推進			➡		
2022年度 進捗状況			2023年度 進捗状況				
<ul style="list-style-type: none"> 人と動物との共生社会の推進に関する条例について、他自治体の条例内容や施策の研究を行い、条例(案)を作成し、パブリック・コメントを実施した。 飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費補助金について、これまでの申請実績をふまえたうえで、補助金額の拡大や手続きの簡素化を含めた補助金要綱の改正を行い、2023年度から施行することとした。 			<ul style="list-style-type: none"> 人と動物との共生社会の推進に関する条例を6月議会に上程、公布日に施行し、動物愛護の精神とペットの適正飼養の普及啓発を行う。 飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費補助金について、新しい制度の周知・啓発を図り活用していただくことにより、動物愛護の推進と地域の困りごとの解決を図る。 				
2024年度 進捗状況			2025年度 事業内容(案)				
<ul style="list-style-type: none"> 2023年度に施行済みの条例の理念が広まるよう、広報やHPで動物愛護の精神とペットの適正飼養の普及啓発を行った。 ペットではないが、飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費補助金の実施を通じて、動物愛護の推進と地域の困りごとの解決に引き続き取り組んだ。 			<ul style="list-style-type: none"> ペットを所有していない市民や犬や猫以外の動物に対しふれあいの場を提供する移動動物園を開催し、動物愛護の醸成に取り組む。 飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費補助金の実施を通じて、動物愛護の推進と地域の困りごとの解決に引き続き取り組む。 				

07環境と経済の好循環

No.	事業名		担当部局		関連部局		
62	「市の鳥」制定や新たな里地保全の推進による生物多様性確保の推進		環境経済部				
評価指標		実施項目		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
「市の鳥」制定		候補種の中から最も票を集めた鳥を「市の鳥」とする市民アンケートの実施、制定及び周知		➡			
里地の設置箇所数		新たな里地を市民と共に発掘し、自然再生に向けた保全活動を実施		➡			
達成予定年度	達成状況						
2023年度	一部達成						
2022年度 進捗状況				2023年度 進捗状況			
<ul style="list-style-type: none"> 「市の鳥」制定については、戸田市に関心を持つすべての方を対象にアンケートを実施し、候補種10種のうち最も多くの票を集めた「カワセミ」を「市の鳥」として制定した。また、制定以後には、市ホームページやSNS等による周知、カワセミに焦点を当てた緑化研修会の開催、モチーフ作品の募集、カワセミマップづくりの実施、啓発品グッズの作成を行った。 里地の設置候補地として、彩湖・道満グリーンパークを選定し、指定管理者と調整を図った。 				<ul style="list-style-type: none"> 昨年度制定した「市の鳥カワセミ」を市ホームページやSNS等で周知したほか、カワセミモチーフ作品の募集・展示、LINEを活用したカワセミ探しイベントを行い、認知向上が図られた。 里地の設置について、先行自治体の調査・研究を進めた結果、市の中心を拠点に緑を守り育てる活動を市内各所の公園に波及させていく方針とした。 			
2024年度 進捗状況				2025年度 事業内容(案)			
<ul style="list-style-type: none"> 「市の鳥カワセミ」をはじめ、市の花であるサクラソウ等について、市ホームページやSNS等で周知し、身近な自然への関心向上を図った。 保存樹木等をいかした緑を守り育てる拠点となる(仮称)里地公園の整備に向けて、土地の寄附に係る手続きを完了し、コンセプトを整理した。 				<ul style="list-style-type: none"> 市の鳥をはじめ、市の花、木などについて、関連キャラクターなどを更に活用しながら、身近な自然への関心や取組参加を向上させていく。 保存樹木等をいかした緑を守り育てる拠点となる(仮称)里地公園の整備に向けて、コンセプトを整理しながら設計を実施していく。 			

07環境と経済の好循環

No.	事業名		担当部局		関連部局						
63	「サクラソウプロジェクト」等の花と緑を守り育てる施策の推進		環境経済部								
評価指標	実施項目			2022年度	2023年度	2024年度	2025年度				
サクラソウの普及活動件数	サクラソウ苗・グッズの配布、催し開催等の普及活動の実施			➡							
サクラソウ栽培の安定化	荒川流域原産のサクラソウの栽培方法を研究し、市内各所で見られるよう公園等での栽培実施			➡							
達成予定年度	達成状況										
2025年度	達成										
2022年度 進捗状況				2023年度 進捗状況							
<ul style="list-style-type: none"> ・サクラソウの普及活動については、市内公共施設での展示と「さくらそう祭り」において、園芸種を配布することで、知名度の向上に繋がる啓発活動を行った。 ・サクラソウ栽培の安定化については、栽培が難しいサクラソウの試験的な栽培として、後谷公園に苗の植え付けを行った。 				<ul style="list-style-type: none"> ・市内公共施設での展示や「さくらそう祭り」等の催しを実施した。また、市内保育園への園芸種の拡充配布、荒川流域産の固有のサクラソウを市内小中学校で展示する等、「市の花」サクラソウが身近に感じられるような普及啓発を図った。 ・園芸種のサクラソウを市内のいくつかの公園に植え付け、栽培方法や栽培環境について、考察を行った。 							
2024年度 進捗状況				2025年度 事業内容(案)							
<ul style="list-style-type: none"> ・市内公共施設での展示や「さくらそう祭り」等の催しを実施する他、園芸種、啓発グッズ等の配布を拡充する等、「市の花」サクラソウが身近に感じられるよう、普及啓発を図った。 ・サクラソウ栽培の安定化については、栽培が難しいサクラソウの更なる試験的な栽培実施など、効果的な栽培方法を研究していくため、複数の公園等を選定し、現地での植え付けを行った。 				<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、市内公共施設での展示や「さくらそう祭り」等の催しを実施する他、園芸種、啓発グッズ等を拡充し、サクラソウが身近に感じられるよう普及するとともに、関連キャラクターを更に活用し、幅広い年代に対しサクラソウへの関心を広めていく。 ・サクラソウ栽培の安定化については、引き続き複数の公園を選定し、栽培が可能な環境や必要な保全方法を研究していく。 							

08豊かな住環境づくり

No.	事業名		担当部局		関連部局		
64	「戸田市バイシクルシティ推進プラン」の策定と自転車まちづくりの推進			都市整備部		環境経済部	
評価指標	実施項目			2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
「戸田市バイシクルシティ推進プラン」の策定	「戸田市バイシクルシティ推進プラン」の策定			→			
自転車通行空間整備の整備延長(3.24km)	自転車が安心して通行できる自転車通行空間整備の推進			→			
シェアサイクルポート設置数(60箇所)	公共施設及び民間企業との連携による商業施設等へのシェアサイクルポートの設置促進			→			
達成予定年度	達成状況	市内商業と地域の活性化を目的としたサイクリングロードマップの作成			→		
2025年度	達成						
2022年度 進捗状況			2023年度 進捗状況				
<ul style="list-style-type: none"> 「戸田市バイシクルシティ推進プラン」の策定に向けて自転車利用に関するアンケートを実施し、利用実態や現状の課題等を把握した。 シェアサイクルポートについては、JR3駅周辺や公園、公共施設などに設置を進め、市内のポート数は48箇所となった。 サイクリングロードマップの作成に向けて、関連部局と掲載店舗やルート、配布形態などの検討を行った。 自転車通行空間の整備を0.5km実施した。 			<ul style="list-style-type: none"> 策定委員会を開催し、委員会での意見等を踏まえ、「戸田市バイシクルシティ推進プラン」を策定した。 シェアサイクルポートをJR3駅周辺や公園、公共施設などに設置を進め、市内のポート数は公有地、民有地合わせて66箇所となった。 関係部局と連携し、戸田市サイクリングマップ(TODA CYCLING MAP)を完成させた。 自転車通行空間の整備を1.34km実施した。 				
2024年度 進捗状況			2025年度 事業内容(案)				
<ul style="list-style-type: none"> 戸田市バイシクルシティ推進プランの推進に向けて、令和7年1月に推進委員会を開催し、施策の取組状況の把握や目標の達成状況の進捗管理を行った。 シェアサイクルポートをJR3駅周辺や公園、公共施設などに設置を進め、市内のポート数は令和7年3月末時点で公有地、民有地合わせて85箇所となった。 関係部局や掲載店舗と連携し、戸田市サイクリングマップ(TODA CYCLING MAP)を配布した。 自転車通行空間の整備を1.02km実施した。 			<ul style="list-style-type: none"> バイシクルシティ推進プランの推進に向けて、推進委員会を開催し、施策の取組状況の把握や目標の達成状況の進捗管理を行う。 シェアサイクルの普及促進と利便性向上に向けて、シェアサイクルポート数の増設を進める。 サイクリングマップを配布し、市民のサイクリング機会の創出と、自転車による地域活性化を図っていく。 自転車通行空間の整備を、0.52km実施する。累計整備延長3.38kmとなる。 				

08豊かな住環境づくり

No.	事業名		担当部局		関連部局		
65	バリアフリー基本構想による市内3駅周辺のバリアフリー化の推進		都市整備部				
評価指標	実施項目			2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
特定事業計画の作成率 100%	戸田市バリアフリー基本構想で設定した特定事業計画の作成			➡			
特定事業の着手率=(完了+継続+実施中)÷全体事業数 47%	戸田市バリアフリー基本構想で設定した特定事業計画の進捗管理			➡			
バリアフリーマップの改善	バリアフリーマップの操作性の向上、掲載情報の充実等			➡			
達成予定年度	達成状況						
2025年度	達成						
2022年度 進捗状況				2023年度 進捗状況			
<ul style="list-style-type: none"> 戸田市バリアフリー基本構想で設定した特定事業計画については、全て作成することができた。 2021年度末における特定事業の着手率は、38.9%であった。目標である47%を達成できるよう関係事業者との連携を密に行っていく。 バリアフリーマップの操作性向上のため、関係課と課題を共有し、解決策の検討を行った。また、提供するバリアフリー情報の見直しを行い、掲載情報の充実を図った。 				<ul style="list-style-type: none"> 特定事業計画の進捗状況について、関連事業者に照会し、取りまとめを行った。 2022年度末における特定事業の着手率は、41.4%であった。目標である47%を達成できるよう関係事業者との連携を密に行っていく。 既存のバリアフリーマップで対応が難しい音声読み上げや、施設設備の情報検索について、市ホームページを活用し、操作性の向上を図った。 			
2024年度 進捗状況				2025年度 事業内容(案)			
<ul style="list-style-type: none"> 特定事業計画の進捗状況について、関連事業者に照会し、取りまとめを行った。 2023年度末における特定事業の着手率は45.0%であった。目標である47%を達成できるよう関係事業者との連携を密に行っていく。 特定事業として位置付けされている事業進捗に合わせ、バリアフリー情報を更新し、市ホームページで公開した。 				<ul style="list-style-type: none"> 特定事業計画の進捗状況について、関連事業者に照会し、取りまとめを行う。 2026年度からの戸田市バリアフリー基本構想(後期期間)の開始に向け、推進協議会委員とまち歩きを実施した上で、特定事業計画の見直しを行う。 いいとだマップ(統合型地理情報システム)の更改にあたり、バリアフリーマップの機能向上を図る。 			

08豊かな住環境づくり

No.	事業名		担当部局		関連部局		
66	新曽土地区画整理事業の効率的な推進と北戸田駅西口駅前の整備		都市整備部		企画財政部		
評価指標	実施項目			2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
北戸田駅西口駅前交通広場の完成	北戸田駅西口駅前整備実施による市民の憩いの場の創出						
調整池整備手法の抜本的な見直し	現行の調整池計画見直しに係る関係者協議（河川、下水道、公園、県、隣接市等）						
道路の整備延長	整備済み施設を活用した調整池の再配置及び水路の再検討						
達成予定年度	達成状況	調整池計画の策定（池の構造検討、概算工事費の算定等）					
2025年度	一部達成	物件移転の計画的な実施による道路整備の推進					
2022年度 進捗状況			2023年度 進捗状況				
<ul style="list-style-type: none"> 北戸田駅西口駅前交通広場及び電線共同溝の設計を実施した。なお、市民ワークショップについては、令和5年3月15日に実施。 調整池計画の見直しに向けた調査について部内PTを活用しつつ、関係者協議を実施した。 物件移転を順次おこない道路整備を推進した。 			<ul style="list-style-type: none"> 北戸田駅西口駅前の電線類地中化工事に着手した。 2号調整池の構造形式を決定し、工事発注に向けた準備を行った。 調整池計画見直し業務に着手し、整備済み施設を活用した調整池の再配置及び水路の再検討を進めている。(2か年業務) 計画的な物件移転の実施により道路整備を推進した。 				
2024年度 進捗状況			2025年度 事業内容（案）				
<ul style="list-style-type: none"> 北戸田駅西口駅前の電線類地中化工事（2か年工事）を実施するとともに、交通広場整備工事に着手した。 2号調整池築造工事に着手した。 調整池計画見直し業務を進め、整備箇所等を決定し、土地区画整理事業の事業計画変更の準備作業を進めた。 計画的な物件移転の実施により道路及び造成工事を推進した。 			<ul style="list-style-type: none"> 北戸田駅西口駅前整備に関する造成工事を引き続き実施する。 引き続き、2号調整池築造工事を実施する。(3か年工事) 調整池計画見直しの結果を踏まえ、新曽第一土地区画整理事業の事業計画変更業務に着手する。(3か年業務) 計画的な物件移転の実施により道路及び造成工事を推進する。 				

08豊かな住環境づくり

No.	事業名		担当部局		関連部局						
67	彩湖・道満グリーンパークの大規模リニューアルによるにぎわい創出		環境経済部								
評価指標		実施項目		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度				
彩湖・道満GPリニューアル方針の策定		専門家等の意見を踏まえた大規模リニューアル方針の策定		→							
既存公園施設の新たな利活用件数		有料公園施設の平日稼働を高める活用、公園内未利用地の利活用		→							
公園隣接箇所の利活用件数		公園敷地に隣接する彩湖湖面周りなどの利活用		→							
達成予定年度	達成状況										
2025年度	達成										
2022年度 進捗状況				2023年度 進捗状況							
<ul style="list-style-type: none"> ・彩湖・道満GP方針の策定のため、同公園隣接の未利用地及び国河川浄化施設を利活用する可能性を検討し、方針(素案)策定の行程をまとめた。 ・既存公園施設の新たな利活用を図る社会実験を実施し、有料公園施設の平日稼働を高める社会実験として、テニスコートの商業的活用を1件実施した。なお、公園内未利用地の利活用を図る社会実験は未実施となった。 ・公園敷地に隣接する彩湖湖面周りなどの利活用については、社会実験の公募が契機となり、利活用を希望する事業者があり、事業者視点でキャンピングのニーズがあることを把握した。 				<ul style="list-style-type: none"> ・彩湖・道満GPの魅力向上を図るため、彩湖の湖面周りや彩湖自然学習センター周辺も含めたエリア拡張を目指し、国等の施設管理者と利活用に関する協議・調整を行い、事業計画を検討した。 ・彩湖・道満GPに賑わいをもたらす新たな活用アイデアを募集し、指定管理者である戸田市水と緑の公社のコーディネートのもと、計4件の社会実験を実施し、日常では体験できないコンテンツの提供を図った。 ・指定管理者である戸田市水と緑の公社は、彩湖の湖面周りや彩湖自然学習センター周辺のエリアを活かした新たなソフト事業の取組を検討した。 							
2024年度 進捗状況				2025年度 事業内容(案)							
<ul style="list-style-type: none"> ・彩湖・道満GPの彩湖の湖面周りや彩湖自然学習センター周辺を含めたエリアの一体的な魅力向上を目指し、荒川上流河川事務所と協議し、一部については河川占用許可の上、公園エリアの拡張を行うなど、水辺の拠点づくりの推進を図った。 ・指定管理者である戸田市水と緑の公社は、彩湖の湖面周りや彩湖自然学習センター周辺のエリアを活かし、クリーンアップ、インフラ見学ツアー、水上サイクリング体験の3つのイベントを開催した。また、ハード面での魅力向上についても検討を行い、日本財団の助成事業「渚の交番プロジェクト」に参画した。 				<ul style="list-style-type: none"> ・彩湖・道満GPの彩湖の湖面周りや彩湖自然学習センター周辺を含めたエリアの一体的な魅力向上を目指し、引き続き、荒川上流河川事務所と協議しながら、公園エリアの拡張や夜間利用を可能とすることなど、水辺の拠点づくりの推進を図る。 ・指定管理者である戸田市水と緑の公社は、彩湖の湖面周りや彩湖自然学習センター周辺のエリアを活かしたハード面での魅力向上についても、引き続き、検討を行い、「渚の交番」の開設を目指していく。 							

08豊かな住環境づくり

No.	事業名		担当部局		関連部局		
68	子どもが歩いて行ける場所にボール遊びができる拠点の設置		環境経済部		こども健やか部、教育委員会事務局、市民生活部		
評価指標	実施項目			2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
ボール遊びができる拠点の設置箇所数	ボール遊びができる拠点の設置			→			
達成予定年度	達成状況						
2025年度	達成						
2022年度 進捗状況				2023年度 進捗状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・ボール遊びができる拠点の設置を目指したものではないが、公園リニューアル計画に基づく、モデル公園リニューアル設計を喜沢2丁目児童遊園地（下戸田地区）にて実施したところ、地域の方々とのワークショップの中で、高齢者にはグランドゴルフができる、子どもにはボール遊びができる公園にリニューアルする設計がまとまった。 ・「遊び場開放」の市内全小学校平日実施に向けて、遊び場事業見直し連絡調整会議を設置し、現状の課題整理と実施案の作成を行った。 				<ul style="list-style-type: none"> ・喜沢2丁目児童遊園地（下戸田地区）のリニューアル工事を実施するため、予算化を図った。 ・新田口公園（上戸田地区）でボール遊びができる空間づくりを実施するため、予算化を図った。 ・遊び場開放事業見直し連絡調整会議を実施し、令和5年6月から市内全小学校での「遊び場開放」平日実施を開始した。 			
2024年度 進捗状況				2025年度 事業内容（案）			
<ul style="list-style-type: none"> ・喜沢2丁目児童遊園地（下戸田地区）と新田口公園（上戸田地区）において、防球ネットで囲まれたボール遊びができる空間をモデル的に整備した。 ・防球ネットで囲まれたボール遊びができる空間の利用方法について、該当する町会との調整を図った。 ・番匠免公園（美女木地区）において、ボール遊びができる空間づくりを整備するため、予算化を図った。 ・平日も含めた遊び場開放事業を継続的に実施した。 				<ul style="list-style-type: none"> ・番匠免公園（美女木地区）において、防球ネットで囲まれたボール遊びができる空間をモデル的に整備する。 ・防球ネットで囲まれたボール遊びができる空間の利用方法について、該当する町会との調整を図る。 ・圃中公園（笹目地区）において、ボール遊びができる空間づくりを整備するため、予算化を図る。 ・平日も含めた遊び場開放事業を継続的に実施する。 			

08豊かな住環境づくり

No.	事業名	担当部局	関連部局							
69	市民ニーズを踏まえた公園リニューアル計画の推進	環境経済部								
評価指標		実施項目	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度				
モデル公園の整備件数		モデル公園の設計・工事の実施	→							
市内公園を利活用する主体者の発掘		公園を利活用する主体者の発掘に向けた社会実験の継続と定着化するスキームの構築	→							
公園の賑わい情報の発信		広報、HPやソーシャルメディアを活用した公園リニューアルのPR推進	→							
達成予定年度	達成状況									
2025年度	達成									
2022年度 進捗状況				2023年度 進捗状況						
<ul style="list-style-type: none"> ・モデル公園の設計を1件（累計2件）、モデル公園リニューアル工事の予算化を1件実施した。 ・3つのテーマの社会実験の公募により、合計16の団体から提案を受け催しを開催した。社会実験の成果として、公園管理者である市が、利活用を図る主体者の思いを受けとめ、公共空間で表現したい催しに公益性を広めるコーディネートを施したところ、地域に受け入れられる大小様々な賑わいが生まれた。この成果から、利活用の定着化には、主体者の活動が利用者等に受け入れられるwin-winな関係構築が重要であることが判った。また、北部公園野球場の閉場期間の使用を民間事業者に認め、民間事業者が主体となり、市内の野球連盟、少年野球連盟、ソフトボール協会、地元町会の理解を得て、活用を図った。 ・市並びに公園指定管理者がSNS等を活用して、公園を使った催しがあることを発信した。 				<ul style="list-style-type: none"> ・モデル公園のリニューアル工事（上戸田地区）の実施、モデル公園のワークショップ・設計（美女木地区）の実施、モデル公園のリニューアル工事（下戸田地区）の予算化を図った。 ・社会実験「その日は○○できる公園」では、合計15の団体から提案を受け催しを開催し、約12,000人が参加した。社会実験の成果として、公園管理者である市が、利活用を図る主体者の思いを受けとめ、公共空間で表現したい催しに公益性を広めるコーディネートを施したところ、地域に受け入れられる大小様々な賑わいが生まれた。地域に受け入れられる催しは、賑わいを創出することに加え、市の施策推進や地域課題の解決への糸口を秘めていることが判った。 ・市並びに公園指定管理者がSNS等を活用して、公園を使った催しがあることを発信した。 						
2024年度 進捗状況				2025年度 事業内容（案）						
<ul style="list-style-type: none"> ・モデル公園のリニューアル工事（下戸田地区）の実施、モデル公園のワークショップ・設計（篠目地区）の実施、モデル公園のリニューアル工事（美女木地区）の予算化を図った。 ・これまでの社会実験の結果を踏まえ、試行的に策定した都市公園行為許可基準に基づき、公園活用を推進した結果、持続的な公園の賑わい創出につながった。 ・市並びに公園指定管理者がSNS等を活用して、公園を使った催しがあることを発信するとともに、市において更なる公園活用につながるアイデアを広く募集した。 				<ul style="list-style-type: none"> ・モデル公園のリニューアル工事（美女木地区）の実施、【仮称】里地公園の設計の実施、モデル公園のリニューアル工事（篠目地区）の予算化を図る。 ・引き続き、試行的に策定した都市公園行為許可基準に基づき、公園活用を推進し、持続的な公園活用及び都市公園行為許可基準の本格的な策定に向けた検討を行う。 ・市並びに公園指定管理者がSNS等を活用して、公園を使った催しがあることを積極的に発信するとともに、市において更なる公園活用につながるアイデアを広く募集する。 						

08豊かな住環境づくり

No.	事業名		担当部局		関連部局						
70	上戸田川・さくら川や水路の着実な整備と水辺再生の推進		水安全部								
評価指標	実施項目			2022年度	2023年度	2024年度	2025年度				
上戸田川河道整備率 13%→20%	上戸田川の河道整備(市役所南通りまでの延長約60mの整備)			→							
さくら川護岸改修率 46%→61%	さくら川の護岸改修(背水区間をはじめとした延長約480mの整備)			→							
達成予定年度	達成状況										
2025年度	達成										
2022年度 進捗状況				2023年度 進捗状況							
<ul style="list-style-type: none"> 上戸田川の河道整備(約38m)は、令和4年度から令和5年度にかけての継続工事で実施。完了すれば整備率は約17%となる。 さくら川の護岸改修は、その1工事(約80m)とその2工事(約49m)を令和5年度への繰越工事で実施。完了すれば整備率は約53%となる。 				<ul style="list-style-type: none"> 上戸田川の河道整備は、令和4年度から令和5年度にかけての継続工事(約38m)が完成し、整備率は約17%となった。また、令和5年度から令和6年度にかけての継続工事で、約30mの整備を実施中。 さくら川の護岸改修は、令和4年度の繰越工事であるその1工事(約80m)とその2工事(約49m)が完成し、整備率は約53%となった。また、令和5年度から令和6年度にかけての継続工事でその1(約50m)、その2(約46m)の整備を実施中。 							
2024年度 進捗状況				2025年度 事業内容(案)							
<ul style="list-style-type: none"> 上戸田川の河道整備は、令和5年度から令和6年度にかけての継続工事で約30mが完成し、整備率は約20%となった。 さくら川の護岸改修は、令和5年度から令和6年度にかけての継続工事でその1(約50m)、その2(約46m)の整備が完成し、整備率は約55%となった。また、令和6年度の工事としては約60mを令和7年度へ繰越を行い令和7年7月に完成し、整備率は約57%となった。 				<ul style="list-style-type: none"> 上戸田川の河道整備は、堤防の嵩上げ整備を約200mの整備を実施する。 さくら川の護岸改修は、令和6年度から令和7年度にかけての継続工事(約60m)、令和7年度の工事としてその1(約32m)、その2(約40m)、その3(約65m)の整備を実施する。 							

08豊かな住環境づくり

No.	事業名		担当部局		関連部局		
71	彩湖自然学習センターを拠点とした新たな水辺環境エコツアーコの創設		教育委員会事務局		環境経済部		
評価指標	実施項目			2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
水辺環境エコツアーコの創設	市の鳥に関する野鳥観察ツアーや、カヌーを活用したエコツアーコ等の検討・実施			→			
	荒川上流河川事務所等と調整・検討した新たな体験ツアーコの実施			→			
	民間企業等と協働して行う講座やイベント等の実施及びイベント等のセンターPRの促進			→			
達成予定年度	達成状況						
2023年度	達成						
2022年度 進捗状況				2023年度 進捗状況			
<ul style="list-style-type: none"> 10月1日に市の鳥がカワセミに決定したことに伴い、11月にカワセミについて学ぶ野鳥観察会を実施した。また、カヌーを活用したエコツアーコについて、カヌーを使用した野鳥観察会の実施に向けた検討を行った。 荒川上流河川事務所と調整した新たな体験ツアーコとして、初めて彩湖にて戸田での伝統漁法を学ぶ投網体験を実施した。 4月に水と緑の公社主催のさくらそう祭りへの参加のほか、市内公共施設でのパネル展を拡大して実施し、更なる彩湖自然学習センターのPRを促進した。 				<ul style="list-style-type: none"> カヌーを活用した野鳥観察会を2回実施した。 4月に水と緑の公社主催のさくらそう祭りへの参加のほか、市内公共施設でのパネル展を拡大して実施し、更なる彩湖自然学習センターのPRを促進した。 			
2024年度 進捗状況				2025年度 事業内容(案)			
<ul style="list-style-type: none"> 彩湖自然学習センター主催講座において、民間企業等の協働を含め、講座の検討・実施を図った。 4月に水と緑の公社主催のさくらそう祭りへの参加のほか、市内公共施設でのパネル展を引き続き実施し、実施に伴い民間企業の市内店舗を活用した彩湖自然学習センターのPRを実施した。 				<ul style="list-style-type: none"> 彩湖自然学習センター主催講座において、民間企業等の協働を含め、講座の検討・実施を図る。 4月に水と緑の公社主催のさくらそう祭りへの参加のほか、市内公共施設でのパネル展を引き続き実施し、イオン北戸田でワークショップとともにパネル展を実施していく等、引き続き民間企業等との連携を図りながら彩湖自然学習センターのPRを実施する。 			

08豊かな住環境づくり

No.	事業名		担当部局		関連部局		
72	荒川や市内河川空間のオープン化による水辺のにぎわい創出		環境経済部		水安全部		
評価指標	実施項目			2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
河川空間を利活用する主体者の発掘	市内河川を利活用する主体者の発掘に向けた社会実験の継続と定着化するスキームの構築			➡			
達成予定年度	達成状況						
2025年度	達成						
2022年度 進捗状況				2023年度 進捗状況			
<ul style="list-style-type: none"> 河川区域内にある公園を含め、新たな利活用を図る社会実験を公募したが、提案がなく実施に至らなかった。 ・笹目川とことん活用連絡会（事務局：戸田市河川課）により、清掃イベント「笹目川 Let'sPick Up！」と利活用イベント「2022笹目川秋フェスタ」が開催された。 				<ul style="list-style-type: none"> ・河川区域内にある公園エリア外の未利用地の活用を目指していく中で、社会実験「その日は〇〇できる公園」でアイデアを募集したところ、荒川親水公園においては、防災意識の向上にも資するソロキャンプの催しやスポーツ振興にも資するディスクゴルフの催しが開催され、河川敷の活用が図られた。 ・笹目川とことん活用連絡会（事務局：戸田市河川課）により、清掃イベント「笹目川 Let'sPick Up！」と利活用イベント「2023笹目川秋フェスタ」が開催された。 			
2024年度 進捗状況				2025年度 事業内容（案）			
<ul style="list-style-type: none"> 荒川運動公園について、利用状況や他市事例等を調査するとともに、新たな利活用を目指した検討を行った。また、荒川運動公園での撮影について、4件の問い合わせがあり、そのうち2件の撮影が行われた。 ・荒川河川敷の利活用については、既存の荒川将来像計画の見直しを実施した。 ・笹目川とことん活用連絡会（事務局：戸田市河川課）により、清掃イベント「笹目川 Let'sPick Up！」を開催した。 				<ul style="list-style-type: none"> ・河川区域内にある公園や未利用地について、新たな利活用を目指して、河川管理者と協議しながら、検討していく。 ・笹目川とことん活用連絡会の活動を継続して実施する。 			

09未来志向の行政

No.	事業名		担当部局		関連部局		
73	原則すべての行政手続きをスマートフォンで完結させるデジタル化		企画財政部				
評価指標		実施項目		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
行政手続きのデジタル化		ライフイベントに応じた電子申請の構築・運用開始		➡			
		LINE申請機能の構築・運用開始		➡			
		スマートフォンで完結される申請を拡充するとともにLINE等による電子申請を拡充			➡		
達成予定年度	達成状況						
2025年度	達成						
2022年度 進捗状況				2023年度 進捗状況			
<ul style="list-style-type: none"> <ライフイベントに応じた電子申請の構築・運用> 故人や遺族の状況に応じて、必要な手続を抽出し、申請書等の作成補助、関係所属・関係機関案内等のサービスを行う「おくやみコーナー」を開始した。 <LINE申請機能の構築・運用開始> 戸田市公式LINEによる「子育て・教育等の市政関連情報の配信」、「産前産後支援ヘルプサービス等の諸手続きの申請」、「公園・道路等において、不具合・損傷状況等の住民からの通報」サービスを開始した。 				<ul style="list-style-type: none"> 窓口職員が聞き取りにより申請書を作成することで、利用者の記入負担軽減を図る「書かない窓口」サービスを市民課他にて開始した。 戸田市公式LINEによる「粗大ごみ収集申し込み」サービスを開始した。 			
2024年度 進捗状況				2025年度 事業内容(案)			
<ul style="list-style-type: none"> オンライン申請手続きシステムについて、用途に応じた利用方法の整理を実施した。 市民税・県民税の申告会場の混雑緩和及び待ち時間短縮のため、申告受付予約を開始した。 不妊検査・不妊治療・妊婦助成事業(助成券再交付申請も含む)・未熟児養育医療申請の来所予約を開始した。 				<ul style="list-style-type: none"> オンライン申請可能なシステム(LINE、スマート申請、マイナポータル)の環境が構築された為、本システムを活用し、オンラインで完結できる申請手続きを整理し、拡充を図る。 			

09未来志向の行政

No.	事業名		担当部局		関連部局		
74	原則すべての使用料や手数料の支払いをキャッシュレス化		企画財政部				
評価指標		実施項目		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
庁内収納のキャッシュレス化		キャッシュレス対応のPOSレジや小型端末の導入により庁内収納のキャッシュレス対応		➡			
公共施設のキャッシュレス化		キャッシュレス対応のPOSレジや小型端末の導入により公共施設のキャッシュレス対応			➡		
達成予定年度	達成状況						
2025年度	達成						
2022年度 進捗状況				2023年度 進捗状況			
<ul style="list-style-type: none"> 証明書交付手数料等の支払いにおいて、本庁舎（市民課、市民税課、固定資産税課、収納推進課）、美笹支所、戸田公園駅前出張所及び東部連絡所にて、従来のレジスターからPOSレジスターへ入れ替え、キャッシュレス決済端末を導入した。また、市民医療センターは、既に開始しているキャッシュレス決済（クレジットカード）に加え、キャッシュレス決済端末（QRコード）単体を導入した。キャッシュレス決済の利用率は約11%となっている。 				<ul style="list-style-type: none"> 一時保育料、学童保育料、ごみ収集手数料等の支払いにおいて、本庁舎（こども家庭支援室、保育幼稚園課、児童青少年課、文化スポーツ課、環境課、市民課）及び庁外拠点（保育園、学童保育室等）でのキャッシュレス決済端末を導入した。 スポーツ施設予約システム及び公共施設予約システムの更改に合わせて、施設利用料の支払いにおいて、予約システムでのキャッシュレス決済対応及び、施設利用窓口のキャッシュレス端末を導入した。 			
2024年度 進捗状況				2025年度 事業内容（案）			
<ul style="list-style-type: none"> 各施設に導入したキャッシュレス決済端末の安定稼働を図った。 学童保育室が一室増加（芦原小学校）するため、キャッシュレス対応の小型端末の導入検討を実施した。 				<ul style="list-style-type: none"> 学童保育室が一室増加（芦原小学校）したため、キャッシュレス対応の小型端末を導入し、2025年6月から運用を開始する。 予約入金機のキャッシュレス対応を行うと共に、必要に応じ、キャッシュレス対応の小型端末の導入による、公共施設のキャッシュレス対応の拡張を検討する。 			

09未来志向の行政

No.	事業名		担当部局		関連部局		
75	AI・RPA導入等の徹底的なDXによる改革とデータ駆動行政の推進		企画財政部		全ての部局		
評価指標	実施項目			2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
AI・RPA等を導入した事業数	AI・RPA等を活用した情報システムの導入やEBPMによる行政施策の推進			→			
達成予定年度	達成状況						
2025年度	達成						
2022年度 進捗状況				2023年度 進捗状況			
<ul style="list-style-type: none"> AIを活用した総合案内サービス及びRPAを活用した共通基盤システムが導入済みとなっている。2022年度は固定資産税における航空写真AI解析システムを導入した。 デジタル庁の「こどもに関する各種データの連携による支援実証事業」に参画し、不登校等の困難を抱える子供の早期発見・支援等に繋げることを目的としたデータ整備及び部局を横断したデータ連携における課題等の整理・検証を行った。 				<ul style="list-style-type: none"> こども家庭庁における「こどもデータ連携実証事業」に参加し、教育総合データベースを構築した。また、データ分析を実施するとともに、ダッシュボードの活用を開始した。 自治体における業務改革を目的として、「ChatGPTに関する調査研究事業」を開始し、調査研究の成果物として「自治体におけるChatGPT等の生成AI活用ガイド」にて、生成AIの有効性や留意事項の整備を実施した。その結果、職員の文書作成や文書要約等において一定の効果が見込まれることから、「ChatGPT for LGWAN 自治体AI zevo」の導入を実施した。 			
2024年度 進捗状況				2025年度 事業内容(案)			
<ul style="list-style-type: none"> 教育総合データベースの搭載データ及び分析結果をもとに、児童生徒へのよりよい支援の在り方について検討した。 開発の知識がなくても、簡単に業務システムの作成が可能な「ノーコードツール」を導入し、各課に適した業務システムを原課職員自ら作成できる環境を整備し、庁内の業務改善を推進した。 庁内コミュニケーション促進を目的として「ビジネスチャット」を導入した。 				<ul style="list-style-type: none"> RPAを導入し、テキストデータをシステムに自動入力できる仕組みを整備する。 AI-OCRを導入し、紙からテキストデータの作成を自動化し、RPAやインポート処理ができる仕組みを整備する。 各課職員向けにDXツールの研修を実施し、自部署の業務を自らの手でBPRできるよう人材育成を行う。 			

09未来志向の行政

No.	事業名		担当部局		関連部局		
76	公民連携によるまちづくり実践フィールド「(仮)とだラボ」の設置		企画財政部				
評価指標	実施項目			2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
(仮)とだラボの設置	公民連携の現状分析・課題整理、先進事例の調査・研究、(仮)とだラボのコンセプト検討			➡			
	(仮)とだラボの設置			➡			
	(仮)とだラボを活用した公民連携の取組の推進				➡		
達成予定年度	達成状況						
2022年度	達成						
2022年度 進捗状況				2023年度 進捗状況			
<ul style="list-style-type: none"> 2022年10月に、これまでの「公民連携ファーム」を「まちづくり実践フィールド とだラボ」としてバージョンアップを図った。市ホームページ内に市の統計情報や行政計画を取りまとめたラボラトリースペースを設置し、市への事業提案を検討している事業者等が、市の現状分析を行うことができる環境を整備した。また、同ホームページにおいて、事業者等から市への事業提案も案内している。 				<ul style="list-style-type: none"> 事業者等が最新データにより、戸田市の現状を把握し、事業提案できるようするため、2022年度に新設したラボラトリースペースの掲載データを更新した。 具体的な行政課題に対する民間企業等からの提案を受け付けるテーマ型提案を2件募集し、連携事業を実施した。 			
2024年度 進捗状況				2025年度 事業内容(案)			
<ul style="list-style-type: none"> 事業者等が最新データにより、戸田市の現状を把握し、事業提案できるようするため、ラボラトリースペースの掲載データを更新する。 具体的な行政課題に対する民間企業等からの提案を受け付けるテーマ型提案について、1件連携事業を実施した。 				<ul style="list-style-type: none"> 事業者等が最新データにより、戸田市の現状を把握し、事業提案できるようするため、ラボラトリースペースの掲載データを更新する。 具体的な行政課題に対する民間企業等からの提案を受け付けるテーマ型提案について、行政改革の観点から課題となっている案件について、引き続き民間事業者とのマッチングを図る。 			

09未来志向の行政

No.	事業名		担当部局		関連部局		
77	新たな社会課題解決手法のコレクティブ・インパクトやSIB導入の検討		企画財政部				
評価指標		実施項目		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
コレクティブ・インパクト、SIBの導入環境の整備		先進事例の調査・研究、導入に向けた課題整理・仕組みづくり		➡			
		事業部局へのコレクティブ・インパクト、SIBの導入			➡		
		コレクティブ・インパクト、SIBの活用手法やメリットの周知による導入の機運醸成				➡	
達成予定年度	達成状況						
2023年度	達成						
2022年度 進捗状況				2023年度 進捗状況			
<p>・社会課題に対する新たな解決手法として、成果連動型民間委託契約方式(PFS)と、PFSの仕組みに民間からの外部資金を取り入れたソーシャル・インパクト・ボンド(SIB)について調査研究を行い、PFSの導入可能性を検討することとした。</p>				<p>・指定管理者により運営している市内公共施設施設のうち、2025年度に選定替えを迎える1施設について、次期契約時にPFSの仕組みを導入できるか、その可能性について民間事業者による調査を実施し、導入の可能性があるとの結論を得た。</p> <p>・本調査結果を踏まえ、施設管理課において、次期指定管理者の公募においてPFSの仕組みを導入していく。</p>			
2024年度 進捗状況				2025年度 事業内容(案)			
<p>・施設管理課が次期指定管理者の公募事務を行うにあたり、PFSの仕組みを取り入れた公募を進められるよう施設管理課と連携して取り組んで実施した。</p>				<p>・PFSの仕組みを取り入れた指定管理業務について、導入後の進捗確認を行い、実施初年度の結果に基づく新たな課題等について施設管理課と共有、確認を行う。</p>			

09未来志向の行政

No.	事業名		担当部局		関連部局						
78	「戸田市SDGs共創基金」の活用による市民活動・NPO活動の活性化		市民生活部								
評価指標		実施項目		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度				
基金活用の運用開始		市民活動団体等が実施するSDGs共創基金の対象となる事業の選定		→							
		選定された事業の実施及び基金の活用		→							
達成予定年度	達成状況										
2023年度	達成										
2022年度 進捗状況				2023年度 進捗状況							
<ul style="list-style-type: none"> ・2022年度の軽自動車税種別割10%を基金として積立て、基金の充当先を3大プロジェクトに資するもの、SDGsに資するもの、共創のまちづくり補助金とすることとした。 				<ul style="list-style-type: none"> ・軽自動車税種別割の10%を継続して基金として積立てた。 ・共創のまちづくり補助金、子どもの居場所づくり、シニア活躍、防災事業などに基金を充当した。 ・次年度の充当先事業として、子ども応援、防災、環境などの事業を選定し、予算計上を行った。 							
2024年度 進捗状況				2025年度 事業内容(案)							
<ul style="list-style-type: none"> ・軽自動車税種別割の10%を継続して基金として積立てた。 ・共創のまちづくり補助金、子どもの居場所づくり、防災事業などに基金を充当した。 ・次年度の充当先事業として、子ども応援、文化芸術推進、環境などの事業を選定し、予算計上を行った。 				<ul style="list-style-type: none"> ・軽自動車税種別割の10%を継続して基金として積立てる。 ・基金を充当する事業について、進捗状況を把握し、年度内に基金を充当する。 ・次年度の充当先事業及び充当額を決定する。 							

09未来志向の行政

No.	事業名		担当部局		関連部局				
評価指標		実施項目		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度		
一人一改善運動の取組件数		全庁業務量調査による業務量の見える化、客観的データに基づく課題分析		→					
業務棚卸しの実施件数		業務改善を先行して実践する事業（モデル事業）の選定、実践		→					
		全庁業務量調査を活用した職員の主体的改善運動を促進する持続可能な仕組みづくり		→					
達成予定年度	達成状況	分析結果や先行事例などを活用した業務棚卸しの推進		→					
2025年度	達成	一人一改善運動に係る全庁的な枠組みの設計・実践		→					
2022年度 進捗状況				2023年度 進捗状況					
<ul style="list-style-type: none"> 業務棚卸しについては、一部の部署を除き各担当を対象とした業務量調査を実施し、既存業務の見える化及び業務改善に係る基礎資料となるデータを完成させた。当該データを用いた既存業務の分析結果等に基づき、試行的に業務改善の検討を実施した。 職員提案制度については、「だれでも」「簡単に」提出できる日常の改善を募集するひとりカイゼン部門を設けるとともに、提案内容を職員ポータルの既存機能を使い、全庁共有できる環境を整備した。（提案数460件） 				<ul style="list-style-type: none"> 2022年度に実施した業務量調査の結果データについて、各所属において2023年度版に更新及び精査を行い、業務改善に活用した。 業務改善の一層の浸透を図るため、全所属対象のeラーニングによる研修と集合形式の研修を実施した。また、他市の業務手順を閲覧できる環境の整備や、業務改善のモデル事業を選定し、民間事業者のノウハウを活用した伴走型の支援を行い、業務改善を図った。 職員提案制度については、引き続きひとりカイゼンを中心に改善風土の定着を図った。（提案数402件） 					
2024年度 進捗状況				2025年度 事業内容（案）					
<ul style="list-style-type: none"> 2022年度、2023年度に実施した業務量調査の結果データについて、各所属において業務改善に活用するとともに、キントーン等を利用した改善が可能な部分がないか検討を行った。 職員提案制度については、改善風土の定着を図るため、引き続きひとりカイゼン部門の募集を行い、提案内容を全庁共有した（提案数350件） 				<ul style="list-style-type: none"> 2022年度、2023年度に実施した業務量調査の結果データを用いて、改善すべき業務を検討し、改善を図る。 業務改善の一層の浸透を図るため、職位別研修に業務改善に関する事項を追加することで、職員が自発的に業務改善に取り組む土壌を養成する。 職員提案制度については、ひとりカイゼン部門を継続募集し、職員の業務改善のきっかけとなるよう働きかける。 					

09未来志向の行政

No.	事業名		担当部局		関連部局		
80	公共施設等総合管理計画と公共施設再編プランの見直し		企画財政部				
評価指標		実施項目		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
公共施設等総合管理計画と公共施設再編プランの改訂		公共施設等総合管理計画と公共施設再編プランの現状・考え方の整理		➡			
		有識者を含めた外部委員会の設置、公共施設等総合管理計画と公共施設再編プランの改訂		➡			
達成予定年度	達成状況						
2023年度	達成						
2022年度 進捗状況				2023年度 進捗状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・総務省と地方公共団体金融機関の共同事業である「地方公共団体の経営・財務マネジメント強化事業」のアドバイザー派遣を活用し、考え方の整理を行った。 ・計画改訂に当たり、外部有識者等の視点を取り入れるため、戸田市公共施設等総合管理計画等外部検討委員会を設置し、委員会を開催した。 ・計画の改訂概要を作成し、公共施設等再編推進委員会及び本部会議に諮り、府内合意形成を図った。 				<ul style="list-style-type: none"> ・前年度に引き続き、「地方公共団体の経営・財務マネジメント強化事業」を活用した検討や外部検討委員会での意見を踏まえ、公共施設等総合管理計画等の改訂素案を作成した。 ・パブリック・コメントを実施し、その結果を踏まえて公共施設等再編推進委員会及び本部会議にて改訂原案を決定し、議会への報告を経て、公共施設等総合管理計画等の改訂を行った。 ・公共施設等総合管理計画等の改訂に併せて、公共施設の再編及び保全をより一体的に推進していくため、公共施設再編プラン及び公共施設中長期保全計画を廃止し、新たに「公共施設マネジメントアクションプラン」を策定した。 			
2024年度 進捗状況				2025年度 事業内容(案)			
<ul style="list-style-type: none"> ・改訂後の公共施設等総合管理計画等における基本方針に基づき、公共施設等の総合的かつ計画的な管理を行った。 ・「公共施設マネジメントアクションプラン」に沿って個別施設の保全等を計画的に進めるとともに、個々の事業の進捗に合わせ、次年度以降の事業を見直し、公共施設等マネジメント推進本部会議に諮り、プランを更新した。 				<ul style="list-style-type: none"> ・改訂後の公共施設等総合管理計画等における基本方針に基づき、公共施設等の総合的かつ計画的な管理を実施する。 ・「公共施設マネジメントアクションプラン」に沿って個別施設の再編及び保全を計画的に進める。個々の事業の進捗に合わせ、次年度以降の事業を見直し、公共施設等マネジメント推進委員会及び本部会議に諮り、プランの更新を行う。 			

09未来志向の行政

No.	事業名		担当部局		関連部局		
81	市出資法人の統合・連携・活用に関する方針の策定		企画財政部				
評価指標	実施項目			2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
出資法人の統合等に関する方針の策定	現状分析、先進自治体視察			→			
	庁内関係課を交えた課題整理・あり方等の方向性の検討			→			
	(仮)外郭団体のあり方検討委員会の設置、方針の策定				→		
達成予定年度	達成状況						
2025年度	達成						
2022年度 進捗状況				2023年度 進捗状況			
<ul style="list-style-type: none"> 外郭団体の見直しに係る手法等について、先進自治体3団体に対して、書面又は電話によるヒアリングを実施した。 また、本市の外郭団体の各所管課に対し、外郭団体が抱える課題や、より良い連携関係、今後目指すべき方向性等について、書面及び対面によるヒアリングを実施した。 				<ul style="list-style-type: none"> 2022年度に市の所管課に聞き取った質問項目について取りまとめるとともに、外郭団体側からも同様に聞き取りを行い、課題等を把握、整理し、今後の外郭団体のあり方を検討するための基礎資料を整理した。 			
2024年度 進捗状況				2025年度 事業内容(案)			
<ul style="list-style-type: none"> 2023年度に整理した基礎資料をもとに、現在の関与事項の精査及び今後の外郭団体の連携のあり方等の整理を行った。 方針の名称を「戸田市外郭団体の活性化等に関する方針」とした上で方針素案を策定し、同案の内容について庁内関係課及び外郭団体と調整を行った。 				<ul style="list-style-type: none"> 外郭団体の活性化等に関する方針を策定する。 新たな方針の下、外郭団体の活性化等に係る取組について、庁内関係課及び外郭団体と調整を行う。 			